

## 目次

1 令和3年度朝日自然塾プログラムの実施結果について	1
2 令和4年度朝日自然塾プログラムの策定について	6

### <別紙>

○ 別紙1-1 令和3年度朝日自然塾プログラム	8
○ 別紙1-2 令和4年度朝日自然塾プログラム	9
○ 別紙2 準備段階のチェック表、イベント安全確認チェック表【下見等】	10
○ 別紙3 カッチャバ湿原【開催告知】	14
○ 別紙4 カッチャバ湿原【事前案内・タイムスケジュール・当日資料】	17
○ 別紙5 カッチャバ湿原【アンケート結果・HP掲載資料】	28
○ 別紙6 みんなで歩こうタキタロウへの道【タイムスケジュール】	31
○ 別紙7 みんなで歩こうタキタロウへの道【配置表・HP掲載資料】	33
○ 別紙8 プロが教えるイワナ釣り【開催告知】	36
○ 別紙9 プロが教えるイワナ釣り【事前案内・タイムスケジュール・当日資料】	40
○ 別紙10 プロが教えるイワナ釣り【アンケート結果・HP掲載資料】	64
○ 別紙11 めのう&かんじき【開催告知】	67
○ 別紙12 めのう&かんじき【事前案内・タイムスケジュール・当日資料】	69
○ 別紙13 めのう&かんじき【アンケート結果・HP掲載資料】	111

### <別添>

○ 別添1 朝日自然塾 みんなで歩こうタキタロウへの道	115
○ 別添2 「森林整備の事前学習」 あさひ小学校5年生	122
○ 別添3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート	130
【カッチャバ湿原】【みんなで歩こうタキタロウへの道】【プロが教えるイワナ釣り】【めのう&かんじき】	
○ 別添4 朝日自然塾 実施プログラム 参加者集計表【H18～R3(現時点)】	134

# 1 令和3年度朝日自然塾プログラムの実施結果について

## (1) 募集方法

- ① 年間計画（別紙1-1）
- ② 開催告知（各プログラム毎に作成）（別紙3及び8）
- ③ 朝日庄内森林生態系保全センターホームページの開催告知（別紙3及び8）

## (2) 令和3年度の実施状況

### ① 実施したプログラム

#### ⅰ カッチャバ湿原のトンボ観察&大井沢で一日昆虫博士(N01)

開催日	令和3年6月19日（土）実施
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	6組15人
講師・スタッフ	講師 秋山宏幸氏
取組状況	5月28日 募集開始（学校関係、新聞社及びHP）。 6月10日 事前確認（下見）を行った。 6月19日 参加者6組15名で実施した。  新型コロナウイルス感染症対策として、参加者全員の体調を「新型コロナウイルス感染症拡大のためのチェックシート(別添3)」により確認した。
チラシ配布先	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校（各教育委員会に管内小学校への配布を依頼） ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者（リピーター）

7 参加者への事前案内（別紙4）

ⅰ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表（別紙4）

ⅱ 新型コロナウイルス感染症チェック表（別添3）

ⅲ 実施結果ホームページ掲載（別紙5）

ⅳ 参加者アンケート

アンケートの集計結果は別紙5のとおり

ⅴ 講師・スタッフの意見

- ・子供の関心を高めるために、多様な生き物に触れる時間を設ける。

ii みんなで歩こうタキタロウへの道(N02)

開催日	令和3年7月8日(木)実施
開催場所等	鶴岡市 泡滝ダム～大鳥池
参加者	鶴岡市立あさひ小学校5年生児童23名、教職員等6名
講師・スタッフ	<p>(出羽三山を守る会) (山形県山岳連盟)</p> <p>長南 厚・佐久間憲 菅原和明・難波 庄内森林管理署3名  生・加藤史子・佐藤 賢一・渡部美 朝日センター3名  淳・高橋宣裕 智・田辺孝一</p> <p style="text-align: right;">合計13名</p>
取組状況	<p>令和3年7月8日(木)実施  *あさひ小学校では、本大鳥池登山と大鳥地区の森林生態系保護地域で行う森林整備活動とを併せて「大鳥自然教室」と称し、森林環境教育として一体のものとして捉え、1泊2日にて実施している。</p> <p>5月27日 あさひ小学校担当者(教頭先生)と電話にて打ち合わせを行った。  6月15日 大鳥登山のルートについて、事前確認(下見)を行った。  6月21日 あさひ小学校担当者と大鳥池登山と森林整備活動について、事前打ち合わせを行った。  6月23日 大鳥池登山と森林整備活動について、対象のあさひ小学校5年生に対し事前学習を行った。大鳥池登山では、大鳥池の自然環境、タキタロウ伝説、登山の留意点を話をした(別添1)。併せて、森林整備活動について、日本(鶴岡市)の森林、森林の働き、森林の整備等の話をした(別添2)。  6月29日 大鳥登山のルートについて、あさひ小学校担当者(校長先生及び担任)と共に、事前確認(下見)を行った。  7月6日 大鳥登山のルートについて、最終確認及び資材搬入を行った。  7月8日 あさひ小学校5年生児童23名、教職員等6名、スタッフ13名計42名で実施。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、参加者全員の体調を「新型コロナウイルス感染症拡大のためのチェックシート(別添3)」により確認した。あさひ小学校では、2台のバスを借り上げ、移動中の密を回避した。</p> <p>長南氏より子供の登山に当たっての留意事項等をいただいた。</p>
チラシ配布先	—

ア 参加者への事前案内(学校行事のため該当しない)

イ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表(別紙6)

ウ 新型コロナウイルス感染症チェック表(別添3)

エ 実施結果ホームページ掲載(別紙7)

オ 参加者感想(提出なし)

カ 講師・スタッフの意見

- ・例年下山まで時間のかかる児童が出るので、行動時間等は余裕を持って実施すること。
- ・登山時の装備、服装等については、事前学習時にも学校に伝えること。
- ・出発時間については、令和3年度と同じ時間に設定する。

iii プロが教えるイワナ釣り (N03)

開催日	令和3年7月22日(木・祝)実施														
開催場所	鶴岡市大鳥 東大鳥川・タキタロウ館														
参加者	募集人員20名(予定) 参加者10組25名														
講師・スタッフ	<table border="0"> <tr> <td>講師</td> <td>スタッフ</td> </tr> <tr> <td>鈴木正(山形県溪流釣り協議会)</td> <td>長南均(鶴岡市朝日庁舎)</td> </tr> <tr> <td>長岡博志(山形県溪流釣り協議会)</td> <td>斉藤友香(鶴岡市朝日庁舎)</td> </tr> <tr> <td>渡辺和春(山形県溪流釣り協議会)</td> <td>斎藤康介(鶴岡市朝日庁舎)</td> </tr> <tr> <td>齋藤徹(山形県溪流釣り協議会)</td> <td>庄内森林管理署 6名</td> </tr> <tr> <td>長岡博志(山形県溪流釣り協議会)</td> <td>朝日センター 3名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計17名</td> </tr> </table>	講師	スタッフ	鈴木正(山形県溪流釣り協議会)	長南均(鶴岡市朝日庁舎)	長岡博志(山形県溪流釣り協議会)	斉藤友香(鶴岡市朝日庁舎)	渡辺和春(山形県溪流釣り協議会)	斎藤康介(鶴岡市朝日庁舎)	齋藤徹(山形県溪流釣り協議会)	庄内森林管理署 6名	長岡博志(山形県溪流釣り協議会)	朝日センター 3名		合計17名
講師	スタッフ														
鈴木正(山形県溪流釣り協議会)	長南均(鶴岡市朝日庁舎)														
長岡博志(山形県溪流釣り協議会)	斉藤友香(鶴岡市朝日庁舎)														
渡辺和春(山形県溪流釣り協議会)	斎藤康介(鶴岡市朝日庁舎)														
齋藤徹(山形県溪流釣り協議会)	庄内森林管理署 6名														
長岡博志(山形県溪流釣り協議会)	朝日センター 3名														
	合計17名														
取組状況	<p>○6月28日 各教育委員会等にチラシを配布及び朝日庄内森林管理局朝日庄内森林生態系保全センターHPに参加者募集を掲載。</p> <p>○7月2日 応募者多数につき募集終了をホームページへ掲載。</p> <p>○7月17日 講師とセンター職員で、タキタロウ館・東大鳥川において打ち合わせと事前踏査を行った。</p> <p>○7月22日(木・祝)現地集合にて参加者25名、講師スタッフ17名、合計42名により実施。</p> <p>例年は鶴岡市朝日庁舎より送迎バスの提供を受けていたが、今年度も2年度同様に、新型コロナウイルス感染症のリスク軽減のため、現地集合で開催した。 暑さ対策について、次回の検討項目とする。</p> <p>新型コロナ感染症対策として、参加者全員の体調を「新型コロナウイルス感染症拡大のためのチェックシート(別添3)」により確認した。</p>														
チラシ(別紙8)配布	<p>配布先</p> <p>○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校(各教育委員会に管内小学校への配布を依頼)</p> <p>○鶴岡市朝日庁舎</p> <p>○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家</p> <p>○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社</p> <p>○朝日自然塾過去参加者(リピーター)</p> <p>配布日 6月28日</p> <p>6月28日に募集開始、7月2日には募集終了。</p>														

7 参加者への事前案内(別紙9)

イ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表(別紙9)

ウ 安全確認チェック表(添付なし)

エ 新型コロナウイルス感染症チェック表(別添3)

オ 実施結果ホームページ掲載(別紙10)

カ 参加者アンケート

アンケートの集計結果は別紙10のとおり

キ 講師・スタッフの意見

・荒天時の撤収体制の確認ー 雷発生・増水を予測し早期撤収等



Ⅴ かんじきトレッキング&めのおアクセサリーづくり(N05)

開催日	令和3年3月6日(土)開催 *参考として令和2年度分を記載
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	参加者6組14名
講師・スタッフ	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 西川町大井沢区 西川町役場 東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター
取組状況	令和3年2月9日 博物館関係者と打ち合わせ 令和3年2月17日 スノーモービル関係者へ圧雪作業のお知らせ 令和3年2月26日 博物館関係者と打ち合わせ 令和3年3月1日 保険関係の手続きを行った 令和3年3月6日 6組14名の参加者で実施
チラシ配布先	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校(各教育委員会に管内小学校への配布を依頼) ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者(リピーター)

ア 参加者への事前案内(別紙12)

イ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表(別紙12)

ウ 安全確認チェック表(添付なし)

エ 新型コロナウイルス感染症チェック表(別添3)

オ 実施結果ホームページ掲載(別紙13)

カ 参加者アンケート

アンケートの集計結果は別紙13のとおり

キ 講師・スタッフの意見

- ・荒天時の撤収体制の確認ー悪天候時の中止の判断及び早期撤収等
- ・コロナウイルス感染状況によっては中止する

## ② 今後開催予定のプログラム

### かんじきトレッキング&めのうアクセサリーづくり (N05)

開催日	令和4年3月5日(土) 開催予定
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	募集人員20名予定
講師・スタッフ	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 西川町大井沢区 西川町役場 東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター
取組状況	—
チラシ配布先(予定)	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校(各教育委員会に管内小学校への配布を依頼) ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者(リピーター)

## ③ 中止したプログラム

### Ⅳ 森に入って森の営みを探そう (N04)

開催日	令和3年9月予定 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
開催場所	小国町 置賜森林管理署 森林生態系保全地域内の原生的な広葉樹林
参加者	基督教独立学園高等学校 生徒(森林学選択 等)
講師・スタッフ	講師：小国の自然を守る会 助川 暢氏を計画
取組状況	[学校側の要望を踏まえ、森林調査の時間を減らし、自然観察(樹木観察、野鳥観察等)の時間を増やし、助川氏のお話等の時間を取り、森林の営みを知る視点を提示するプログラムに改訂する予定であった。]
チラシ配布先	—
備考	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し中止しました。

## 2 令和4年度朝日自然塾プログラムの策定について

### (1) 令和4年度朝日自然塾実施にあたっての基本的な考え方

朝日自然塾は、平成18年度から朝日自然塾連絡協議会構成団体の協力を得ながら、朝日山地森林生態系保護地域の豊かな動植物の生息する環境を、後世に保全・継承するための人材育成の取り組みの一つとして実施しています。

国民のニーズを踏まえ、関係機関と連携し、効果的な取り組みを進めてまいりたいと考えております。

#### ①プログラムについて

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、1つのプログラムが中止を余儀なくされましたが、3年度内に予定していたスケジュールについては3月開催予定のプログラムを除き、実施しました。実施できたものも、開催時期の変更、現地集合への変更及び募集人数の縮小等、小さくない影響がありました。そのような中でも、実施することのできたプログラムは多くの応募をいただき、概ね高い評価をいただいたところです。

4年度の実施については感染症の状況次第ではありますが、各プログラムの実施時期、開催場所、内容等について検討を願います。

なお、基本的な感染症への対応として、各首長の指示に従い、特に鶴岡市、西川町の施設を使用する際には、施設管理者の指示により使用の可否を判断することになり、使用できない場合は、全時間野外で活動することは困難であることから、社会の趨勢上中止せざるを得ないと考えております。

#### ②講師・スタッフについて

各構成団体と東北森林管理局が協力し、各プログラムの実施に必要な講師・スタッフの確保に努めます。

#### ③安全対策等について

参加者（あさひ小学校を除く）は事前に傷害保険に加入し、全プログラムにおいて各構成団体の協力を得ながら、今後も東北森林管理局が講師・スタッフを含め、安全対策を講じます（巡視員である講師・スタッフは東北森林管理局によりボランティア保険に加入）。

また、「イベント安全確認チェック表（下見表）」及び「準備段階のチェック表」を、事前打ち合わせ、事前踏査時に活用し、安全対策に取り組んでまいります。

イベント当日は、タイムスケジュール・配置表及びパンフレット等により、各自の役割分担、雨天・荒天時の対応について、講師・スタッフの意思統一を図ります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、各プログラムの中止、延期及び縮小等、臨機応変の対応をしてまいります。

#### ④参加募集について

来年度の実施に当たっては、3年度同様、西村山地域及び鶴岡地域の小中学校行事の聴き取りを各教育委員会等に行い、それを参考にしううえで、開催日時を決定したいと考えております。また、引き続き、各教育委員会を通じたチラシ等の配布、リピーターへの通知などを実施し、積極的な情報発信に努めてまいります。

#### ⑤パンフレットについて

当日配布のパンフレット（大鳥池登山を除く）については、各プログラムの実施内容に即したのものとなるよう、必要な修正を行います。

自然や森林に対する興味、関心が高まるよう改訂を加えていきます。

今後も「朝日自然塾」の実施にあたっては、これまで同様各構成団体等をはじめとした、地域の皆様のご理解ご協力を得ながら取り組んでまいります。

(2)令和4年度朝日自然塾プログラム案

タイトル	対象者	プログラム及び内容等	実施時期	実施場所等	募集人員数・参加者数	備考 補記事項
1 カッチャハ運廊のトンボ観察と 大井沢で一日昆虫博士	募集 募集	・トンボや水生昆虫の観察 ・昆虫博士の珍しい昆虫 ・大井沢自然博物館見学 ・昆虫観察のルールとマナー	6月中旬頃	・西川町大井沢カッチャハ運廊 ・西川町自然と匠の伝承館/大井沢自然博物館	親子等20名	少人数の場合(20名未満)観察 保険料が値上がりした場合は、 人数によっては参加費に差額が ある旨、告知する必要がある(他 プログラムも同様)。
2 みんながでまごうタキタロウへの道	あそび小学校 児童	・森の動植物と朝日山地を学ぶ ・水溜りの大切さを学ぶ ・ふるさとの山を守るルールとマナー	7月上旬	・静岡市大島池端ダム(駐車場)～大島池	5年生児童数	参加児童の登山中の安全をより 一層確保するための対策につい て出発時間、装備等について検 討。
3 アロが教えるイワナ釣り	募集	・みんなに教えたい岩魚の話 ・深淵釣のルールとマナー ・川釣り入門、体験 ・イワナの繁殖生態	7月中旬頃	静岡市大島東大島川及びタキタロウ館	親子等25名	例年、静岡市朝日庁舎およびア ロの提供を受けているが、2年後 及び3年後は、施設使用が困難 なため環境組合としたり、 4年度についても、同様の対応 で計画する。
4 森に入って森の営みを探そう	高麗教団立学園 高等学校 生徒	・広葉樹の太木が作る森で調査をします ・森林に生育する植物を知ります ・木の大さご等を測ります ・フナ林の営みを探ります	9月下旬 (学校と協議 して決定)	小国町 廣瀬森林管理署 ・森林生態系保全地域内の原生的な広葉樹林(朝日山 地モニタリング調査箇所)	希望生徒数	プログラムを平成30年度は華 林調査主体であったが、関係生 体に改訂する。 なお、令和2年及び3年度はコ ロナウイルス感染症拡大の影響 により中止した。
5 かんじきトッキングを めぐるアークセササリーツクイ	募集	・かんじきの歴史と歩き方 ・大井沢に伝わるかんじき動物が居るの ・昆虫の観察 ・昆虫のおもしろい話 ・ぞりばべり ・めぐるアークセササリーツクイ体験	3月上旬	・西川町自然と匠の伝承館/大井沢自然博物館 ・カッチャハ運廊周辺の森林	親子等20名	



# 令和3年度 朝日自然塾プログラム

朝日自然塾連絡協議会

## 1 カッチャバ湿原の昆虫観察 & 大井沢で一日昆虫博士

- ◇日時: 令和3年6月19日(土)
- ◇場所: 西川町大井沢
- ◇募集人員: 小中学生の親子等20人
- ◇参加費: 700円(入館料・保険料等)
- ◇内容
  - ・トンボや水性昆虫の観察
  - ・昆虫博士の珍しい標本
  - ・大井沢自然博物館見学
  - ・昆虫観察のルールとマナー



## 2 みんなで歩こう タキタロウへの道

- ◇日時: 令和3年7月8日(木)
- ◇場所: 鶴岡市大鳥池等
- ◇参加者: あさひ小学校5年生
- ◇内容
  - ・大鳥池タキタロウ伝説とは
  - ・森の動植物と朝日山地を学ぼう
  - ・水資源の大切さを学ぼう
  - ・ふるさとの山を守るルールとマナー



## 3 フロコが教えるイワナ釣り ~ 東大鳥川でイワナ釣りに挑戦

- ◇日時: 令和3年7月22日(木・祝)
- ◇場所: 鶴岡市大鳥 東大鳥川
- ◇募集人員: 小中学生の親子等25人
- ◇参加費: 700円(入館料・保険料等)
- ◇内容
  - ・みんなに教えたい岩魚の話
  - ・溪流釣りのルールとマナー
  - ・川釣り入門・体験
  - ・イワナの塩焼き体験



## 4 森に入って

### 森の営みを探そう



- ◇日時: 令和3年9月下旬
- ◇場所: 小国町針生平
- ◇参加者: 基督教独立学園高等学校
- ◇内容
  - ◎広葉樹の大木が作る森で観察・調査をします。
  - ・森林に生育する植物を知ります
  - ・木の大きさ等を測ります
  - ・ブナ林の営みを探ります

## 5 かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり

- ◇日時: 令和4年3月5日(土)
- ◇場所: 西川町大井沢
- ◇募集人員: 小中学生の親子等20人
- ◇参加費: 2,000円(入館料・めのうアクセサリーづくり体験料等)



- ◇内容
  - ・かんじきの履き方と歩き方
  - ・大井沢にはどんな動物がいるの
  - ・冬芽の観察
  - ・昆虫のおもしろい話
  - ・そりすべり
  - ・めのうアクセサリーづくり体験

### 朝日自然塾連絡協議会

出羽三山の自然を守る会 山形県溪流釣り協議会 山形県山岳連盟  
 西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 鶴岡市朝日庁舎 西川町大井沢区  
 山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会 小国の自然を守る会  
 東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター (事務局)

### お問い合わせ先

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字養合3

TEL:0235-58-1730 ○ FAX:0235-58-1731

E-mail: t\_syounai\_f@maff.go.jp

※ プログラム1, 3, 5の参加者を募集します

申込みは住所・氏名・連絡先等を朝日庄内森林生態系保全センターあてにお知らせ下さい。  
 日時等は変更となることがあります。その際は随時、当センターホームページにてお知らせいたします。



# 令和4年度 朝日自然塾7 聆 礼

## 朝日自然塾連絡協議会

### 1 カッチャバ湿原の昆虫観察 & 大井沢で一日昆虫博士



- ◇日時: 令和4年6月中旬
- ◇場所: 西川町大井沢
- ◇募集人員: 小中学生の親子等20人
- ◇参加費: 700円(入館料・保険料等)
- ◇内容
  - ・トンボや水性昆虫の観察
  - ・昆虫博士の珍しい標本
  - ・大井沢自然博物館見学
  - ・昆虫観察のルールとマナー

### 2 みんなで歩こう タキタロウへの道



- ◇日時: 令和4年7月上旬
- ◇場所: 鶴岡市大鳥池等
- ◇参加者: あさひ小学校5年生
- ◇内容
  - ・大鳥池タキタロウ伝説とは
  - ・森の動植物と朝日山地を学ぼう
  - ・水資源の大切さを学ぼう
  - ・ふるさとの山を守るルールとマナー

### 3 フロカ教えるイワナ釣り ~ 東大鳥川でイワナ釣りに挑戦



- ◇日時: 令和4年7月中旬
- ◇場所: 鶴岡市大鳥 東大鳥川
- ◇募集人員: 小中学生の親子等25人
- ◇参加費: 900円(入館料・保険料等)
- ◇内容
  - ・みんなに教えたい岩魚の話
  - ・溪流釣りのルールとマナー
  - ・川釣り入門・体験
  - ・イワナの塩焼き体験

### 4 森に入って 森の営みを探そう



- ◇日時: 令和4年9月下旬
- ◇場所: 小国町針生平
- ◇参加者: 基督教独立学園高等学校
- ◇内容
  - ◎広葉樹の大木が作る森で調査をします。
  - ・森林に生育する植物を知ります
  - ・木の大きさ等を測ります
  - ・ブナ林の営みを探ります

### 5 かんじきトッキング& めのうでアクセサリーづくり



- ◇日時: 令和5年3月上旬
- ◇場所: 西川町大井沢
- ◇募集人員: 小中学生の親子等20人
- ◇参加費: 2,000円(入館料・め のう アクセサリーづくり体験料等)
- ◇内容
  - ・かんじきの履き方と歩き方
  - ・大井沢にはどんな動物がいるの
  - ・冬芽の観察
  - ・昆虫のおもしろい話
  - ・そりすべり
  - ・め のう アクセサリーづくり体験

#### 朝日自然塾連絡協議会

出羽三山の自然を守る会 山形県溪流釣り協議会 山形県山岳連盟  
 西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 鶴岡市朝日庁舎 西川町大井沢区  
 山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会 小国の自然を守る会  
 東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター (事務局)

#### お問い合わせ先

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3  
 ○ TEL:0235-58-1730 ○ FAX:0235-58-1731  
 ○ E-mail: t\_syounai\_f@maff.go.jp

※ プログラム1, 3, 5の参加者を募集します

申込みは住所・氏名・連絡先等を朝日庄内森林生態系保全センターあてにお知らせ下さい。日時等は変更となることがあります。その際は随時、当センターホームページにてお知らせいたします。

カッパバ湿厚

(案)

## イベント安全確認チェック表 (下見等)

朝日庄内森林生態系保全センター

6/10 下見打合 チェックポイントと対策	
<b>作業地、通路歩行及び滑落危険箇所等の安全確認</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	足場の悪いところ → 倒木、石、根などつまづきやすいところや、穴、崖、滑りやすいところなどを確認し、テープ等の目印を付けて近寄らないか、注意喚起する。危険な場合は除去するなどの対策をとる。
<input checked="" type="checkbox"/>	通路などの障害物 → ササや小枝は、はねて目に当たりやすいので見つけたら除去して通路の端の方に寄せる。
<input checked="" type="checkbox"/>	活動範囲の設定 → 作業区域、散策コース、見渡せる範囲、声が届く範囲など活動エリアをみんなで確認する。
<input type="checkbox"/>	
<b>枯れ枝など危険箇所の安全確認</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	枯れ木 → 頭上の枝の落下する場所があるので近寄らない。特にスギの枯れ枝は高所から落ちてくるので注意する。
<input checked="" type="checkbox"/>	倒木 → 危険な場合は近寄らないか、事前に切っておく(大木は専門家に依頼)。
<input type="checkbox"/>	目の高さ突き出た枝 → 森を歩くときは、前の人の払いのけた枝が目をつく場合があるので注意するよう促す。特に危険な場合には管理者の了解を得て除去する。
<input type="checkbox"/>	
<b>蜂、マムシ、毒草等の確認及び注意喚起のための表示等</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	かぶれる植物(ヤマウルシ、ツタウルシ、ヌルデなど) → 日の当たるところに生えていることが多い。危険な場合は除去又は目印のテープ表示で注意喚起する。 ツタウルシあり
<input type="checkbox"/>	有毒植物(トリカブト、マムシグサなど) → 実物を見せて注意を促す。
<input type="checkbox"/>	とげ植物(サルトリイバラ、モミジイチゴ、イラクサなど) → 危険な場合は除去又は実物を見せて注意を促す。
<input checked="" type="checkbox"/>	へび → 道路、日当たりの良いブロックの上、岩の間の倒木の陰や藪にひそんでいるので表示をして近寄らないか、下草刈りをして潜みにくい環境に変える。同じ場所にいることがあるので注意する。
<input checked="" type="checkbox"/>	蜂の巣 → ブーン・カチカチ音がすれば蜂が飛び回っています。巣が近くに無いか注意。巣があった場合は危険なので近づかないように表示するか、業者等に除去を依頼する。
<input type="checkbox"/>	ケムシ → 春から夏にかけて、食樹となるバラ、サクラ、カエデ、ツバキなどにつきやすい。目印を付けたりして注意を促す。
<input type="checkbox"/>	
<b>森の活動時に最低限必要な持ち物と服装</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	指導者の持ち物 → 救急セット、笛、熊鈴、蜂スプレー、活動に必要な準備物
<input checked="" type="checkbox"/>	参加者の持ち物 → 水筒、タオル(虫刺され防止兼用)、カッパ(上下別タイプ)、ビニール袋(拾い物など)、筆記用具、着替え
<input checked="" type="checkbox"/>	服装 → 長袖、長ズボン、帽子、軍手、長靴(紫外線、注意生物対応、ケガ防止、日射病から体を守る)。
<input type="checkbox"/>	
<b>活動フィールドにおけるその他確認</b>	
<input type="checkbox"/>	休憩・水分補給タイミング・場所の確認(暑いときは30分に1回程度休憩し水分補給、飲み過ぎ腹痛に注意)。
<input type="checkbox"/>	

※参考文献 「森からひろがる どんぐりの森活動プログラム集 一小学校中学校での環境学習に向けて」上越市

(案)

# 準備段階のチェック表

朝日庄内森林生態系保全センター

6/10 下見・打合 チェックポイント	
<input checked="" type="checkbox"/>	プログラムの目的・日程をスタッフ全員で確認しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	各アクティビティ（活動・行動）のリスクの大きさをスタッフ全員が把握しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	地図及び現場で活動範囲を確認しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	リスクの多い場所をスタッフ全員が把握しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	参加者についての必要な事前情報（体調・服装・持病など）をスタッフ全員で共有しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	天候・気象状況の予報を確認しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	スタッフ間の役割分担を確認しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急時の行動のリハーサルを行いましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	衛星携帯電話の通信状況を確認をしましたか。 携帯使用可 <input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	救急薬品の携行を確認しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	必要な用具・装備品の最終確認をしましたか。
<input checked="" type="checkbox"/>	スタッフの体調・健康状態を確認しましたか。

※参考文献

「自然とのふれあい活動における安全対策マニュアル策定調査報告書」平成18年3月

特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会



(案)

# イベント安全確認チェック表 (下見等)

朝日庄内森林生態系保全センター

977071の道	チェックポイントと対策	6/15, 6/29 下見
<b>作業地、通路歩行及び滑落危険箇所等の安全確認</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 足場の悪いところ → 倒木、石、根などつまづきやすいところや、穴、崖、滑りやすいところなどを確認し、テープ等の目印を付けて近寄らないか、注意喚起する。危険な場合は除去するなどの対策をとる。		
<input checked="" type="checkbox"/> 通路などの障害物 → ササや小枝は、はねて目に当たりやすいので見つけたら除去して通路の端の方に寄せる。		
<input checked="" type="checkbox"/> 活動範囲の設定 → 作業区域、散策コース、見渡せる範囲、声が届く範囲など活動エリアをみんなで確認する。		
<input type="checkbox"/>		
<b>枯れ枝など危険箇所の安全確認</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 枯れ木 → 頭上の枝の落下する場所があるので近寄らない。特にスギの枯れ枝は高所から落ちてくるので注意する。		
<input checked="" type="checkbox"/> 倒木 → 危険な場合は近寄らないか、事前に切っておく(大木は専門家に依頼)。 <i>倒木は注意</i>		
<input checked="" type="checkbox"/> 目の高さに突き出た枝 → 森を歩くときは、前の人の払いのけた枝が目をつく場合があるので注意するよう促す。特に危険な場合には管理者の了解を得て除去する。		
<input type="checkbox"/>		
<b>蜂、マムシ、毒草等の確認及び注意喚起のための表示等</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> かぶれる植物(ヤマウルシ、ツタウルシ、ヌルデなど) → 日の当たるところに生えていることが多い。危険な場合は除去又は目印のテープ表示で注意喚起する。 <i>ツタウルシ、ヤマウルシ(特にツタウルシ) 蜂も注意</i>		
<input checked="" type="checkbox"/> 有毒植物(トリカブト、マムシグサなど) → 実物を見せて注意を促す。		
<input type="checkbox"/> とげ植物(サルトリイバラ、モミジイチゴ、イラクサなど) → 危険な場合は除去又は実物を見せて注意を促す。		
<input checked="" type="checkbox"/> ヘビ → 道路、日当たりの良いブロックの上、岩の間の倒木の陰や藪にひそんでいるので表示をして近寄らないか、下草刈りをして潜みにくい環境に変える。同じ場所にいることがあるので注意する。		
<input checked="" type="checkbox"/> 蜂の巣 → ブーン・カチカチ音がすれば蜂が飛び回っています。巣が近くに無いか注意。巣があった場合は危険なので近づかないように表示するか、業者等に除去を依頼する。 <i>蜂も注意</i>		
<input checked="" type="checkbox"/> ケムシ → 春から夏にかけて、食樹となるバラ、サクラ、カエデ、ツバキなどにつきやすい。目印を付けたりして注意を促す。		
<input type="checkbox"/>		
<b>森の活動時に最低限必要な持ち物と服装</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 指導者の持ち物 → 救急セット、笛、熊鈴、蜂スプレー、活動に必要な準備物		
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者の持ち物 → 水筒、タオル(虫刺され防止兼用)、カップ(上下別タイプ)、ビニール袋(拾い物など)、筆記用具、着替え		
<input checked="" type="checkbox"/> 服装 → 長袖、長ズボン、帽子、軍手、長靴(紫外線、注意生物対応、ケガ防止、日射病から体を守る)。 <i>事前学習にて注意喚起</i>		
<input type="checkbox"/>		
<b>活動フィールドにおけるその他確認</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 休憩・水分補給タイミング・場所の確認(暑いときは30分に1回程度休憩し水分補給、飲み過ぎ腹痛に注意)。		
<input type="checkbox"/>		

※参考文献 「森からひろがる どんぐりの森活動プログラム集 -小学校中学校での環境学習に向けて-」上越市

(案)

## 準備段階のチェック表

朝日庄内森林生態系保全センター

7キョウへの道	チェックポイント	6/15, 6/29 下見
<input checked="" type="checkbox"/>	プログラムの目的・日程をスタッフ全員で確認しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	各アクティビティ(活動・行動)のリスクの大きさをスタッフ全員が把握しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	地図及び現場で活動範囲を確認しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	リスクの多い場所をスタッフ全員が把握しましたか。	沢の崩壊部(代で補修してあり)
<input checked="" type="checkbox"/>	参加者についての必要な事前情報(体調・服装・持病など)をスタッフ全員で共有しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	天候・気象状況の予報を確認しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	スタッフ間の役割分担を確認しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急時の行動のリハーサルを行いましたか。	6/29 小笠原と下見
<input checked="" type="checkbox"/>	衛星携帯電話の通信状況を確認をしましたか。	大崩壊はO.K. 沖崎清水は不通
<input checked="" type="checkbox"/>	救急薬品の携行を確認しましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	必要な用具・装備品の最終確認をしましたか。	
<input checked="" type="checkbox"/>	スタッフの体調・健康状態を確認しましたか。	

※参考文献

「自然とのふれあい活動における安全対策マニュアル策定調査報告書」平成18年3月

特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会

令和3年5月28日

令和3年度朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」のお知らせ

東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター所長

軽暑の候、皆さまにはご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和3年度朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」を、別紙「参加者募集」により、令和3年6月19日(土)に実施いたします。

別紙「申込用紙」に必要事項を記載して、令和3年6月9日(水)までにFAX等にてお申し込みください(先着順(20名)・定員になり次第締め切らせていただきます)。

職員・スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者: 自然再生指導官 赤澤 友光

## カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士

いつ	令和3年6月19日(土) 9時30分～
どこで	西川町大井沢「自然と匠の伝承館」 山形県西村山郡西川町大字大井沢4110 電話：0237-76-2112
募集人数 申し込み	小中学生の親子等、一般の方20名(先着順) 朝日庄内森林生態系保全センター 電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731 Eメール tomomitsu_akasawa260@maff.go.jp (担当：赤澤)
締め切り	令和3年6月9日(水) 17時まで (先着順・定員になり次第締め切らせていただきます。)
参加費	1人 700円(障害保険料、入館料等) (参加費は参加人数により変更となる場合があります。)
持ち物	長靴、雨合羽、軍手、帽子、タオル、着替え、(虫取り網、虫かご)、飲み物、昼食 (近隣に飲食店、コンビニ等はありません)、筆記用具



### ○感染症対策のお願い

- ・当日、発熱や咳等がある場合は参加を見合わせてください。
- ・受付時に検温、健康状態の聴き取りをさせていただきます。
- ・感染予防のため、マスクを着用して参加してください。
- ・プログラム中も随時、手洗いや備付けの消毒液により手指の消毒を行うよう心がけてください。

### プログラムの内容

- 9:30 開会式「自然と匠の伝承館」
  - 10:00 ・カッチャバ湿原の昆虫観察
    - ・野鳥や植物観察
    - ・カッチャバ湿原散策
  - 12:00 昼食
  - 13:00 ・標本観察と昆虫のおもしろい話
    - ・大井沢自然博物館観察
  - 14:30 まとめ・閉会式
- ※荒天時は屋内のみのプログラムに変更する場合があります。

### 朝日自然塾 構成団体

山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会  
小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会  
山形県内水面漁業協同組合連合会、山形県獺友会  
西川町大井沢区、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館  
鶴岡市朝日庁舎、東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)



- ※当日のスナップ写真を資料等に使用させていただく場合がございます。
- ※新型コロナウイルス感染症について、実施日の2週間前程度に西川町で感染者が発生した際は中止とする場合があります。著しい荒天時も中止とする場合があります。実施時も天候等によりプログラムを変更する場合があります。



## カッチャバ湿原の生き物たち

カッチャバ湿原にはいろいろな生き物たちが棲んでいます。  
当日はどんな生き物たちに出会えるかな？




---

## 参加申込書 (このまま送信して下さい)

FAX送付先 朝日庄内森林生態系保全センター 赤澤 あて

FAX:0235-58-1731

朝日自然塾(カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士)の参加を申し込みます。

(ふりがな) 氏 名	住 所	生年月日 (保険用)	学 年	代表者の電話番号 (日中につながる連絡先)
男	〒			
女				
男				
女				
男				
女				

※ 参加者は先着20名とさせていただきます。応募いただいた方には受付の可否等の確認を含めご連絡をさせていただきます。

また、まれにFAX等で送信された文字が潰れているなどして判読できず、当方から連絡ができない場合があります。申込期限を過ぎても当方から受付の可否の連絡が無い場合、お手数をおかけしますが、当センターまで連絡をいただきますようお願いいたします。

令和3年6月11日

令和3年度朝日自然塾

「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」

参加者の皆さんへ

朝日庄内森林生態系保全センター所長

このたびは、令和3年度朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」にご応募いただきありがとうございます。

実施に当たり、下記のとおりご留意いただきたい事項を連絡いたしますので、よろしく願いいたします。6月19日（土）西川町自然と匠の伝承館・自然博物館にてお待ちしております。

記

- 1 開催日は6月19日（土）です。  
集合時間・場所は、9時30分開会式開始（受付は9時15分より）  
「西川町自然と匠の伝承館・自然博物館」です。  
山形県西村山郡西川町大字大井沢4110  
電話：0237-76-2112
- 2 持ち物は、長靴、雨合羽、軍手、帽子、タオル、着替え、（虫取り網、虫かご、）飲み物、昼食です。（近隣に飲食店、コンビニ等はありません。）  
湿原での活動となり、足下が悪いので、長靴や着替えを忘れずにお持ちください。
- 3 参加費は一人700円です。当日受付にてお支払い願います。
- 4 悪天候などへの対応  
（1）小雨等の場合は予定どおり行います。ただし、開会後に天候が急変した場合は自然と匠の伝承館に移動し、室内中心のプログラムに変更する場合があります。

(2) 前日までの天気予報で暴風雨等により、安全な活動や車両の運転に支障をきたすおそれがあると判断される場合は中止することとし、6月18日(金)午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大について、西川町に感染者が発生するなど、感染状況が悪化した場合には、直前であっても中止する場合があります。その場合は6月18日(金)午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

5 感染対策のため、マスクを着用し、発熱や咳等があり体調が思わしくない場合は参加を見合わせるようにしてください。また、受付時に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート」記入の協力をお願いいたします(検温と過去2週間の状況等)。

6 急な事由などでキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡をお願いいたします。

前日6月18日(金)午後5時までは、

0235-58-1730(朝日センター事務所)

当日6月19日(土)は、

090-5778-3831

7 その他不明な点等については、以下にお問い合わせください。

朝日庄内森林生態系保全センター 担当：赤澤 友光

電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731

# 令和3年度朝日自然塾 「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」 (案) (晴天時)

日時 令和3年6月19日(土) 9:00~14:45  
 場所 西川町自然と匠の伝承館集合・解散  
 参加人数 11名  
 参加費 一人700円(入館料・傷害保険料含む)  
 ※スタッフは9時集合(センター8時発)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当					備考		
				西川町自然と匠の伝承館・自然博物館	講師	朝日庄内森林生態系保全センター	赤澤	三上			
9:00	伝承館	・打合せ	・打合せ							・センター準備品 ・無線機：4 ・救急薬品：1	
		・参加車両誘導 ・受付	・参加車両誘導 ・受付			▲					
9:30		・開会式	・主催者挨拶 ・館長挨拶 ・講師・スタッフ紹介			●				注意事項含む	
9:45		・移動									
10:00	カッチャバ湿原	・カッチャバ湿原散策	・カッチャバ湿原の昆虫観察 ・カッチャバ湿原の野鳥や植物を観察			●				庄内署職員(宮崎、対馬、竹内、菅原)は車両誘導、受付等では適宜補助に当たる。	
						●					
12:00	伝承館	・昼食									
13:00		・標本観察と昆虫のおもしろい話	・昆虫の生態等を学習			●				秋山氏以外は誘導等	
14:30		・閉会式	・講評・まとめ							・記念撮影	
		・自然博物館見学	・地域の自然を学習	道直、説明等をお願いする							

※打ち合わせは、全体の流れと各スタッフの担当内容を確認。  
 ※イベントは小雨決行。但し、開会後、天候が急変した場合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。  
 ※前日の天気予報で、暴風雨等、移動や活動の安全に支障を来す恐れがあると判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。  
 ※●は主査、▲は副査を表す。



令和3年度第1回朝日自然塾



カッチャバ湿原の昆虫観察  
& 大井沢で一日昆虫博士

令和3年6月19日(土)

西川町大井沢地内カッチャバ湿原

西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館



朝日自然塾連絡協議会

山形県溪流釣り協議会 山形県内水面漁業協同組合連合会  
鶴岡市朝日庁舎 山形県山岳連盟 出羽三山の自然を守る会  
小国の自然を守る会 山形県猟友会  
西川町大井沢区 西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館  
東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

# フ ロ グ ラ ム

- 9 : 3 0 自然と匠の伝承館において開会式  
(スタッフ紹介・行程・注意事項等  
説明)
- 9 : 4 5 カッチャバ湿原へ移動
- 1 0 : 0 0 カッチャバ湿原  
・ 昆虫観察  
・ 野鳥や植物観察  
・ カッチャバ湿原を散策
- 1 1 : 4 0 自然と匠の伝承館へ移動
- 1 2 : 0 0 昼食 (自然と匠の伝承館)
- 1 3 : 0 0 標本のかんさつと昆虫のお話
- 1 4 : 3 0 閉会式・記念写真撮影

閉会式・記念写真撮影終了後は  
大井沢自然博物館を見学し、現地解散

## 注意事項—みなさんに守ってほしいこと

- (1) 虫を捕ることが目的ではありません。数が少ないものや、飼うことがむづかしいものは観察後に逃がしてあげましょう。
- (2) 活動場所は沼や湿地、しげみなどがあり、安全な場所ばかりではありません。スタッフの言うことを守ってください。
- (3) 網をむやみに振り回したり、他の人に向けて振りますと危ないのでやめましょう。
- (4) ごみは各自持ち帰りましょう。
- (5) 捕ってはいけない場所での昆虫採集はやめましょう。
- (6) もしも身体の調子が悪くなったり、けがをしたときは、すぐに周りのスタッフに声をかけてください。



## カッチャバ湿原で見られるかもしれない昆虫

### ハッチョウトンボ (トンボ科)

分布 ぶんぶ 本州・四国・九州 ほんしゅう しこく きゅうしゅう

大きさ おお

腹長 はらちよう 10mm～14mm

後ばね あと 13mm～15mm



特徴など とくちよう

日本一小さなトンボです。

愛知県八丁畷で初めて採集されたことにちなんでこの名がつけられました。

日本国内の分布は局所的なうえ、生息地が開発されるなどしたため、その数を大きく減らしています。山形県では準絶滅危惧種に指定されています。

### エゾイトトンボ (イトトンボ科)

分布 ぶんぶ 北海道・本州北部 (東北・上信越地方など) ほっかいどうほんしゅうほくぶとうほくじょうしんえつちほう

大きさ 30～40mm

特徴など さんちかんれいちししようしつげんせいそく 山地や寒冷地の池沼や湿原に生息しています。

成虫は6月から7月ころ現れます。



か こ かんきつ ようす  
過去の観察の様子



カッチャバ湿原を散策すると、いろいろな生き物たちがお互  
いに関わりも持ちながら生きていく姿を見ることができます。



## 大井沢自然博物館

自然博物館は、昭和26年の大井沢小中学校の自然研究が始まりとなり、小中学生と地域が作り上げた手作りの博物館です。

朝日連峰をはじめ大井沢を中心とした貴重な動植物の標本が展示されています。

### 展示コーナー

#### 植物

大井沢博物館や月山・朝日連峰で見られる四季の植物を紹介しています。

#### 哺乳類

大井沢を中心に生息する哺乳類26種のはく製標本を展示しています。ツキノワグマやカモシカのような大型動物からホンドオコジヨ、ヤマネのような小動物までそろっています。

#### 魚類

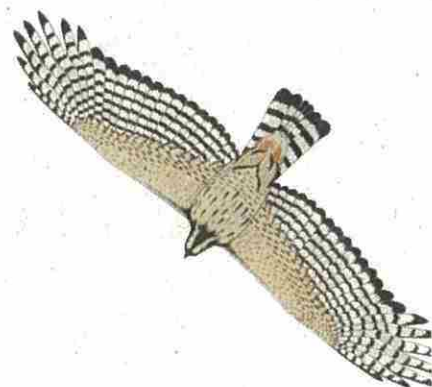
月山・朝日連峰を源とする寒河江川やその上流に位置する大井沢は、昔から豊かな水を育む森が、多くの魚たちの営みを支えてきた上流地域となっています。

大井沢博物館では、寒河江川上流や寒河江ダム（月山湖）に生息する魚類標本や川をテーマとした様々な活動を見ることが出来ます。博物館内には、昭和40年代の石膏法による体長55センチのイワナのはく製が展示されています。

#### 鳥類

大井沢周辺にはミソサザイのような小型の鳥から、ワシやタカなどの大型の鳥まで生息しています。

博物館内には昭和30年代から地域の人々が収集してきた約115種のはく製標本を展示しております。特に猛禽類に関しては、県内トップレベルの充実ぶりで、イヌワシとクマタカの剥製がそろっています。



## 自然と匠の伝承館

自然と匠の伝承館は、農山村の生活文化や伝承技術を伝承する体験型の生涯学習施設です。巧人の工房見学のほか、予約に応じ、メノウ細工、月山和紙、土鈴絵付け、草木染、こけし絵付けなどが体験できます。

### 月山和紙

出羽三山信仰で賑わった江戸時代より月山和紙づくりが始まりました。明治時代には200戸以上が冬期間の貴重な現金収入源として紙漉を行っていましたが、現在は、僅か数人が月山和紙を引き継いでいます。草花を入れて漉くこともできます。きれいで楽しい作品を作ってみてください。



### 土鈴絵付け

土鈴は、古代より伝わる土を固め焼いて作った鈴で、音色は素朴な音がします。干支を描いてある鈴もご用意しておりますが、自分でオリジナルの絵を描いて楽しむことができます。

### メノウ細工

月山メノウは、ブナの原生林を源とする朝日山麓の根子沢上流で発見されました。土地の人達は昔からこの石を飾り石として床の間や玄関先に飾っていました。特に大井沢は赤褐色をした品質の良いジャスパーがとれます。体験では、地球がつくった石の切断から研磨して自分だけのオリジナルの作品が作れます。





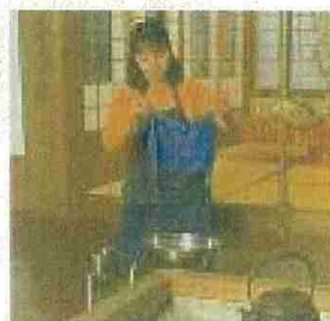
### こけし絵付け

大井沢の木地業は明治32年に、志田五郎八氏が集落の振興のために、秋田県川連より木地職人を招いて始めました。はめ込み中央胴細菊くずし胴模様の大正時代の復元こけしは“菊麻呂こけし”として親しまれています。個性あふれる「こけし絵付け」にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。



### 草木染め

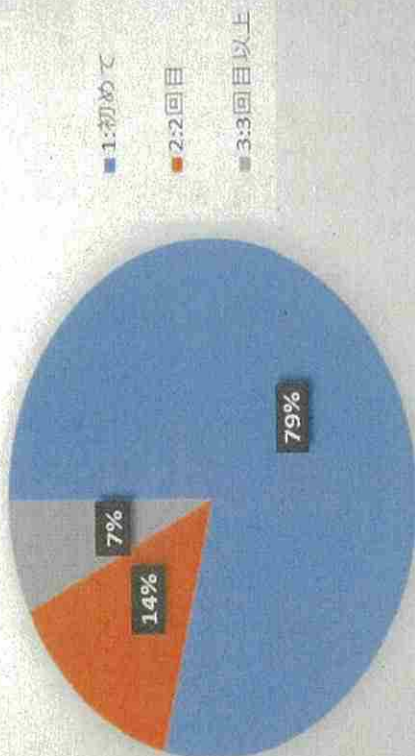
紅花・藍・紫根・茜などの植物染料のほとんどが漢方薬です。布を染めるという事は生命力のあふれた植物のエネルギーを布に移し、身を守るといふ自然とともに生きた先人の知恵だったようです。四季折々の植物により本来の意味を考えながら、健康的で楽しい草木染めの体験ができます。簡単な絞りから、縫い絞り、板締め絞りなどが体験できます。



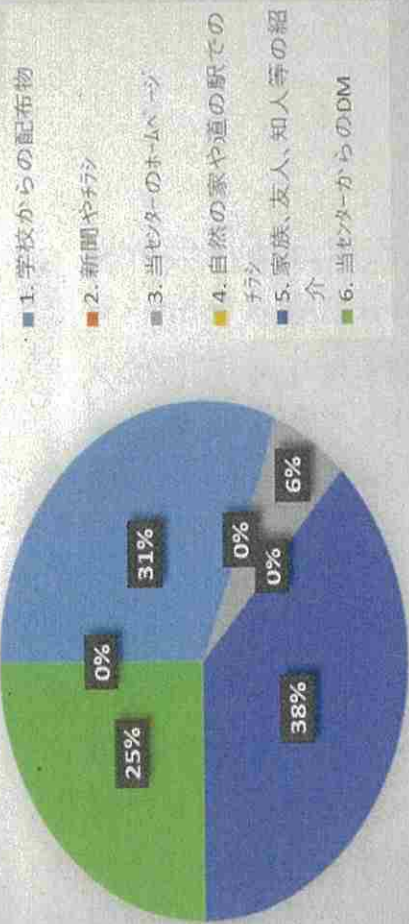


# 令和3年度 カッチャバ湿原アンケート結果

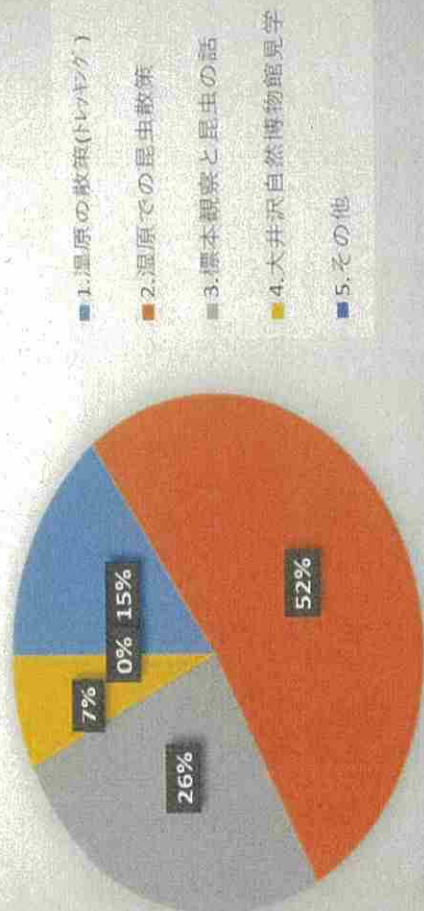
Q1.何回目の参加ですか？



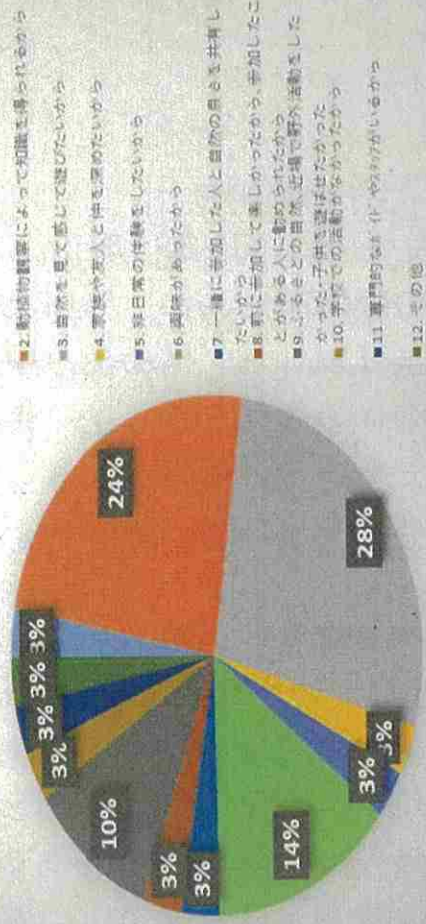
Q2.今回の自然塾をどのようにして知りましたか？



Q3.何を楽しみに来ましたか？

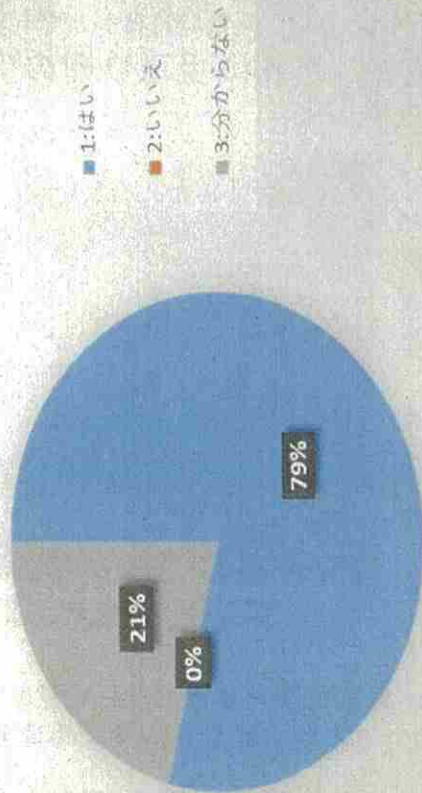


Q4.どうして来たくなくなりましたか？



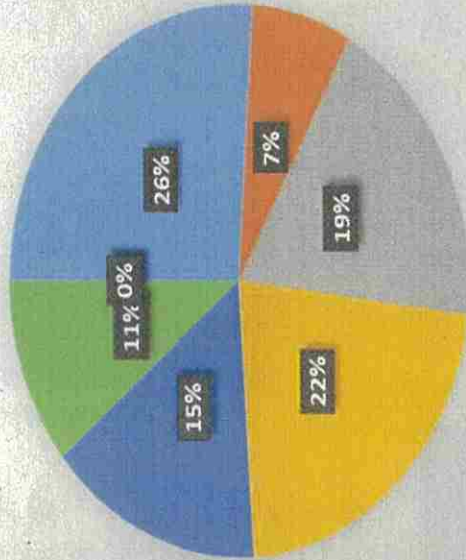


Q5. また、イベントに参加したいですか？



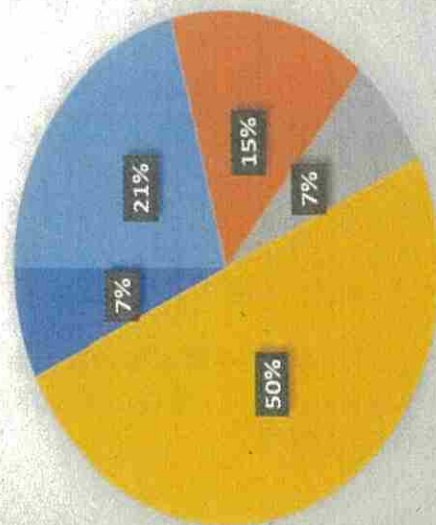
Q6. 参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？

- 1. 身近な自然や生き物を大切にしようと思った
- 2. Q3やQ4の期待通りだった
- 3. 生き物のことや環境問題など色々知りたくなった
- 4. 他のイベントにも参加したくなった-朝日自然塾の他の活動
- 5. 他のイベントにも参加したくなった-自然の中での体験一般
- 6. 母来(これから)自然を守る活動や仕事をしなくなった
- 7. 今までよりも自然に出かけようと思った・子供を遊ばせようと思った
- 8. その他



Q7. イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください

- 1. クイズやゲームの要素を入れてほしい
- 2. 料理体験とか食事体験をしたい
- 3. もっと詳しい話を聞きたい
- 4. 生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい
- 5. 違う7/10の私を入れて欲しい





# カッチャバ湿原の昆虫観察 & 大井沢で一日昆虫博士

令和3年度朝日自然塾(※)が6月19日(土)に、西川町大井沢区にて、西川町大井沢支所、西川町自然と匠の伝承館・自然博物館、庄内森林管理署の協力を得て開催されました。当日はしとしとと雨の降る、あいにくの天気でしたが、親子を中心に6組15人、天気に負けない、元気いっぱいの参加をいただきました。



昆虫の標本に身を乗り出す



湿原で水生昆虫を探す

まず講師による、標本観察と昆虫のおもしろいお話を聴きました。さらに、標本だけでなく講師の方が飼育している生きた昆虫も登場。これにはお子さんたちも大喜びでした。

その後、いよいよ湿原へ。

外はあいにくの雨降りでしたが、雨合羽と長靴、それに虫取り網の完全装備で出かけました。

湿原の沼では、クロゲンゴロウ、コオイムシ、各種のヤゴ、産卵中のモリアオガエルなど、雨降りにもかかわらず、さまざまな水辺の生き物たちを観察することができました。

心配された天気の中、終了時間が来ても、なかなか帰りたがらないお子さんもいるなど、元気いっぱいに里山の自然を楽しんでいただけたようです。

参加いただいた皆さん、雨の中、ほんとうにお疲れさまでした！



雨の中、お疲れさまでした

(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター



## 7月8日(木) 活動プログラム(晴天プログラム)

時刻	活動	活動内容	準備	担当
6:30	昇降口前に集合完了 朝の会	○登校した人から「しおり・筆記具」「あめ」を班ごと取る。途中乗車の人の分は、班長または副班長が持っておく。 ① 朝のあいさつ(心美)司会(晴) ② 校長先生のお話 ③ 出発のあいさつ(陽姫)	○「しおり・筆記具」 ○登山あめ(登山人数分) ○カメラ(先生各1) ○救急セット(先生各1)	○前日、班ごとに集める(担任) ○前日、袋づめ(児童・担任) ○カメラ準備・充電3台(担任) ○写真(校長・田村・菅原) ※阿部写真館さんも同行 ○救急セット準備(菅原) ○バス乗車(1号車:田村) (2号車:菅原) ○緊急車(校長)
6:40	学校出発	○バス乗車(2つに分かれて) 1号車…途中乗車児童、3班 2号車…1班・4班・5班・6班	○途中乗車:10名	
7:30	トイレ休憩	○タキタロウ会館で、トイレ休憩。		
8:30	泡滝着	○朝日自然塾スタッフと合流。 ◎登山出発式(進行 田村先生) ① 児童代表の言葉(優之介) ② 指導者の先生の紹介(田村先生) ・班ごとに紹介、児童あいさつ ③ 校長先生のお話 ④ 保全センター所長さんのお話 ⑤ 登山の注意、準備運動(長南さん)	○担当はトランシーバーを携帯する。	
	登山開始	○班ごとに登山開始(1班~6班) チームみんなで助け合って登りきろう!		○登山中の児童の健康観察。体調不良の場合は「緊急時対応」に従う。(各班担当職員)
12:00	大鳥池到着 休憩、昼食	○到着した班から児童の健康状態確認、報告(学校職員または担当職員から担任へ) ○班ごとに休憩、トイレに行く。 ○班ごとに昼食、片付け(食事係) ○山頂の小屋の清掃(トイレや床の泥落とし) ○下山開始前に集合写真		○大鳥池山頂でのマナー ・誰にでもあいさつ ・大声を出さない。 ・施設は、きれいに使う。 ・帰りに清掃をする。チェックする。(田村・菅原)
13:00	下山開始	○班ごとに下山開始(1班~6班)		
16:30	泡滝着	◎朝日自然塾のみなさんにお礼 ・児童あいさつ(花帆)		
16:40	バスで移動			
17:20	自然の家着 入所式 荷物整理	○荷物を持って体育館に整列(班長) ◎入所式(別頁) ○シーツと枕カバーを班の人数分、食堂前に取りに来る。(清掃係)	部屋割り ・男子 2階 けやき ・女子 2階 ふな	○状況により、着替えを優先。 ○食堂前で確認する。 ○蚊取りマットを借りる。
18:00	夕食(食堂)	○布団のしき方の確認(田村先生) ○食事あいさつ「いただきます」(桜子) 「ごちそうさまでした」(舞) ○ペットボトルを洗って出す。		○キャンプファイヤー準備:原田・田村 ○マシュマロ、割りばし:担任
18:40	キャンプファイヤー 談話室で円くなって	○終わった班から点検を受けて、キャンプファイヤーへ(食事係) ○道具・材料準備(キャンプファイヤー委員)		○シャンプー、リンス、ボディークリームを風呂場にセット。(原田・田村)
19:30	入浴準備、入浴 ※20:30までは入浴可	○男子:(1~3班)⇒(4~6班) 女子:(1~2班)⇒(3~4班)⇒(5~6班)	入浴グッズ ・着替え下着、運動着、タオル、バスタオル、よごれもの入れ袋	○入浴指導 男子 原田 女子 田村 ・体を洗ってから湯船に入る。 ・湯船にタオルを入れない。 ・体をふいて脱衣場へ上がる。
20:00	班会(談話室)	○集合、班ごとにまるくなる。(班長) ○ふり返りと翌日の予定確認(班長) 健康観察、菅原先生に報告(健康係) ○自分の布団をしく。歯みがき。	○入浴後、タオル、バスタオルを干す。 班会 しおり 筆記用具	○児童の入浴後指導、班会指導(担任)
20:30	就寝準備	~ゆっくり おやすみなさい~		○布団しき、歯みがき指導 男子 原田 女子 田村
21:00	就寝	○「おやすみ」後は声を出さないこと。 ○翌朝6:00まで起き出さないこと。 ○トイレに行く人は自分で行く。(何人も一緒に行かないこと) ※1つの部屋に何人も寝ることになります。 ゆっくり寝たい人のために、なかなか寝付けない人も気をつけて静かにしましょう。		○就寝指導、確認 男子 原田 女子 田村 ○先生方交代で入浴 ○翌日の打ち合わせ 22:00

7月9日(金) 活動プログラム(晴天プログラム)

時刻	活動	活動内容	準備	担当
6:00	起床・洗面	○着替え、洗面、布団をかたづけ。 ○シーツやまくらカバーをたたんで、食堂前の箱に入れる。(清掃係) ○部屋の片づけ	○運動着の長袖長ズボンのままでOK。下着だけ替えてもよい。	○布団かたづけ指導 男子 原田 女子 田村 ○シーツ確認 田村
6:45	朝の会(体育館)	○班ごと体育館に整列(班長) ○健康観察(健康係、田村先生に報告) ◎進行(晴) ①朝のあいさつ(真鈴) ②代表の言葉(美嘉) ③連絡(田村先生)		
7:00	朝食(食堂)	○食事あいさつ「いただきます」(運真) 「ごちそうさまでした」(愁介) ○班ごとにテーブル片づけ、確認して担任の先生に報告。(食事係) ○空のペットボトルに麦茶をつめてもらう。	○空のペットボトル1本	
7:30	歯みがき 部屋片づけ、荷物整理 森林保全活動準備、 休憩	○森林保全活動の準備をしてから、静かに休憩。	○森林保全活動準備 ・しおり、筆記用具、 ペットボトル(お茶) ・運動着の長袖長ズボン ・首にタオルをまく。 帽子をかぶる。 ・長靴をはく。	
8:30	バス出発 (自然の家発)			
9:00	森林保全活動	(進行 田村先生) ○保全活動の先生にあいさつ(唯人) ◎保全活動の先生のお話 ○活動後の感想発表(まお) ○保全活動の先生にお礼(莉子)		
11:00	バス出発			
11:30	自然の家に到着 昼食	○班員、先生の昼食を受け取る。(食事係) ○食事あいさつ「いただきます」(樹里) 「ごちそうさまでした」(文瑠) ○食後、準備をしてから休憩。		○昼食は、屋外の涼しい場所で。 雨天の場合は食堂。
12:20	自然の家玄関に集合	○班ごと集合、整列。(班長)		
12:30	グリーンアドベンチャー	○移動し、グリーンアドベンチャー。 (自然の家の先生) ○自然の家の先生にあいさつ(裕真) ○注意をよく聞いて安全に参加する。 ○自然の家の先生にお礼のあいさつ(美優)	○グリーンアドベンチャー準備 ・薄手の長袖 ・長ズボン ・ぼうし ・長ぐつ	○3グループでの活動 先頭:自然の家職員 真ん中:田村・菅原 最後尾:自然の家職員
14:00	自然の家へ移動 自然の家着	○着替え、荷物整理(すぐ帰れるようにまとめる) ○まとめた荷物は体育館に班ごとに並べる。	○荷物は登山リュックと 着替え用バッグの2つ にまとめる。	○着替え・荷物整理指導 男子 菅原 女子 田村
14:30	奉仕活動	◎清掃分担(別頁) (終了後、清掃係が確認して担当の先生に報告)		○清掃確認(担当の先生)
15:15	退所式	◎退所式(別頁)	○玄関を出る時に内ズックを入れる	
15:30	自然の家発		○途中下車:10名	○バス乗車(1号車:田村)
16:10	学校着、解散	○「ただいま」のあいさつ(睦希) ○「さようなら」(さやか)	○家の人に迎えに来てもらって下校。	(2号車:菅原) ○緊急車(校長)

# 令和3年度 大鳥池登山参加者 班編成

(班リーダーは前方、サブリーダーは後方、救護係は児童の間に入るようにする)

	児 童 (◎班長)						朝日自然塾・スタッフ ☆は9日(金)の場合			教職員
	◎渡部 凧	井上 愁介	渡部 さやか	鈴木 まお	長南 厚	三上 和馬	班リーダー	班サブリーダー	班サブリーダー	救 護
1班	◎渡部 凧	井上 愁介	渡部 さやか	鈴木 まお	長南 厚	三上 和馬				田村 梓 ※無線機
2班	◎五十嵐 優之介	長南 遥真	難波 花帆	阿部 真鈴	佐久間 憲生 ☆佐藤 淳	佐藤 淳 ※無線機	加藤 史子			※無線機
3班	◎渋谷 美嘉	齋藤 桜子	北橋 睦希		高橋 宣裕 ☆中嶋 一	小林 未知子 ※衛星携帯				小澤 敏一 校長先生 ※衛星携帯
4班	◎遠藤 伊吹	渡部 文瑠	上野 美優	左藤 心美	菅原 和明	武内 治樹 ※無線機	阿部 弘			※無線機
5班	◎中村 円	安達 舞	五十嵐 唯人	左藤 陽姫	難波 賢一	菅原 悠希	佐藤 雅秀			菅原 さおり ※無線機
6班	◎渡部 晴	長谷川 樹里	渡部 莉子	難波 裕貴	田辺 孝一	渡部 美智	中嶋 一 ☆赤澤 友光 (8日はフリー)			工藤 勝喜 ※無線機



# みんなで歩こう タキタロウへの道

令和3年度朝日自然塾(※1)は鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室の一環として、5年生児童23名、教職員等6名、朝日自然塾連絡協議会の出羽三山の自然を守る会・山形県山岳連盟、庄内森林管理署等13名の総勢42名で、7月8日(木)に泡滝ダムから大鳥池まで登山を実施しました。



さあ、出発～！

足下の悪い沢を通過したり、揺れる吊り橋にドキドキしたり、岩から流れ出る清水に喉を潤したりしながら、みんなそろって伝説のタキタロウ(※2)が棲むという大鳥池に到着しました。

梅雨時期で心配された天気でしたが、児童たちの元気に雨雲も吹き飛ばされたのか、次第に青空が見えてきました。

これから、岩場や大小の沢などのいくつもの難所を、お互い励まし合って越えていき、大鳥池を目指します。



足下の悪い沢を通過



揺れる吊橋を慎重に渡る

目的地の大鳥池で楽しくお昼ご飯を食べたら、来た道を引き返して下山です。山を下るときは、登るとき以上に慎重に下っていきます。

バスの待つ泡滝ダムに戻ってきたときには、さすがにみんなお疲れの様子でした。

今日のこの一日で、自然の楽しさ、厳しさ、そしてその働きなど、普段の教室では学べないことを、感じ取ってくれたらと思います。



(※1) 朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

(※2) タキタロウ：大鳥池に生息していると言われる体長2～3mの巨大魚。

東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター

おまけーコース中に咲いていた花たちです。



タマガワホトトギス



エゾノヨツバムグラ



オカトラノオ



オオバミゾホオズキ



コシジシモツケ



ショウキラン



令和 3 年 6 月 2 8 日

令和 3 年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター 所長

梅雨の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和 3 年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」を、別紙「参加者募集」により、令和 3 年 7 月 2 2 日（木・祝）に実施いたします。

別紙「申込用紙」に必要事項を記載して、令和 3 年 7 月 1 2 日（月）17 時までに F A X 等にてお申し込みください（先着順（20 名）・定員になり次第締め切らせていただきます）。

職員・スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者：自然再生指導官 赤澤 友光

# 朝日自然塾

## フロが教えるイワナ釣り

### 参加者募集

いつ  
どこで  
集合

令和3年7月22日(祝) 8時15分～  
鶴岡市大鳥 東大鳥川とタキタロウ館  
8時00分までに「タキタロウ館」  
鶴岡市大鳥字高岡55-8 (電話:0235-55-2452)  
(現地集合となりますのでご注意ください。)

参加対象  
申し込み

小中学生の親子等、一般の方**20名まで(先着順)**

朝日庄内森林生態系保全センター

(問い合わせ) 電話:0235-58-1730 FAX:0235-58-1731

Eメール tomomitsu\_akasawa260@maff.go.jp (担当:赤澤)

締め切り

令和3年7月12日(月) 17時まで

(先着順・定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費  
持ち物

1人 800円 (タキタロウ館利用料、障害保険料。参加人数により変更となる場合があります。)

帽子、長袖、長ズボン、タオル、長靴、着替え(川に入るのでぬれたときの履き替え運動靴も)、雨合羽、飲み物、昼食、釣り竿(持っていない方は仕掛け含む一式を、事務局で準備いたします。)、エサの持ち込みは自由です。なお、リール及びフライの使用はご遠慮願います。



### ○感染症対策のお願い

- ・当日、発熱や咳等がある場合は参加を見合わせてください。
- ・感染予防のため、マスクを着用して参加してください。
- ・受付時に検温・健康状態の聴き取りをさせていただきます。
- ・プログラム中も随時、手洗いや備付けの消毒液により手指の消毒を行うよう心がけてください。

### プログラムの内容

- 8:15 開会式(スタッフ紹介、注意事項等の説明)
- 8:25 ・竿と仕掛け、餌の付け方  
・イワナの居場所、流し方、アタリの合わせ方  
・川でのルールとマナー  
・溪流釣り体験(東大鳥川)  
・釣り堀体験(タキタロウ館)
- 12:00 昼食(イワナの塩焼き)
- 13:00 ・イワナのさばき方体験  
・イワナのおもしろい話、イワナと森林の関係  
・毛針づくり体験
- 14:30 閉会式(その後現地解散)

### 朝日自然塾 構成団体

山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会  
小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会  
山形県内水面漁業協同組合連合会、山形県猟友会  
西川町大井沢区、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館  
鶴岡市朝日庁舎、東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)



※当日のスナップ写真を資料等に使用させていただく場合がございます。



東大鳥川・タキタロウ館にて、今年はどんな体験が待っているかな？



## 参加申込書 (このまま送信して下さい)

FAX送付先

朝日庄内森林生態系保全センター 赤澤 あて

FAX: 0235-58-1731

朝日自然塾（イワナ釣り）の参加を申し込みます。

釣り竿の借用 希望 あり なし

(どちらかを○で囲んで下さい)

(ふりがな)  
氏 名

住 所

生年月日  
(保険用)

学 年

代表者の電話番号  
(日中につながる連絡先)

男 子

女

男

女

男

女

※ 参加者は先着20名とさせていただきます。応募いただいた方には受付の可否等の確認を含めご連絡をさせていただきます。

令和3年7月2日

令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」募集終了のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター所長

梅雨の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和3年6月28日に当HPにてお知らせをしました令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」については、短い周知期間にもかかわらず、多くの申込をいただき、ありがとうございました。

「プロが教えるイワナ釣り」は募集人数に達したため、募集を終了させていただきます。

今回応募をしたにもかかわらず参加いただけなかった方々には、心よりお詫び申し上げます。

今年度の今後の朝日自然塾のイベントについては、新型コロナウイルス感染状況当を踏まえつつ、順次当センターHP等にてお知らせしてまいります。

職員・スタッフ一同、今後も皆さまのご参加を心よりお待ちしておりますので、引き続き「朝日自然塾」をよろしく願いたします。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者：自然再生指導官 赤澤 友光

令和3年7月16日

令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」  
参加者の皆さんへ

朝日庄内森林生態系保全センター 所長

このたびは、令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」にご応募いただきありがとうございます。

実施に当たり、下記のとおりご留意いただきたい事項を連絡いたしますので、よろしく願いいたします。7月22日（木・祝）タキタロウ館前にてお待ちしております。

#### 記

- 1 開催日は7月22日（木・祝）です。  
集合時間・場所は、8時15分開会式開始（受付は8時00分より）  
タキタロウ館前です。  
鶴岡市大鳥字高岡55-8  
電話：0235-55-2452  
駐車場は奥の方から駐車するようお願いいたします。
- 2 持ち物は、帽子、タオル、長袖シャツ、長ズボン、長靴（濡れたときの履き替えもお持ちになることをお勧めします）、雨合羽、飲み物、昼食です。  
（釣り竿（事前に希望された方）とエサは事務局で準備しますが持参しても結構です。）  
なお、釣り堀では当方で用意した釣り竿をご使用いただきます。
- 3 参加費は一人600円です。当日受付にてお支払い願います。
- 4 悪天候などへの対応  
（1）小雨の場合は予定どおり行います。ただし、開会後に天候が急変した場合はタキタロウ館に移動し、室内中心のプログラムに変更する場合があります。



あります。

(2) 前日までの天気予報で大雨・強風等により、安全な活動や車両の運転に支障をきたすおそれがあると判断される場合は中止することとし、7月21日(水)午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

5 感染予防対策のため、当日は検温をし、その結果を受付時に担当者にお知らせください。また、マスクを着用し、発熱や咳等があり体調が思わしくない場合は参加を見合わせるようにしてください。

6 急な事由などでキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡をお願いいたします。

前日7月21日(水)午後5時までは、

0235-58-1730 (朝日センター事務所)

当日7月22日(木・祝)は、

090-5778-3831

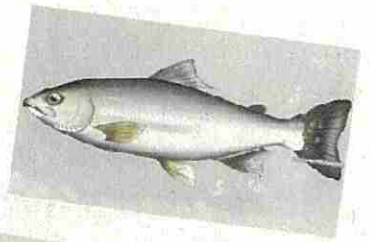
7 その他不明な点等については、以下にお問い合わせください。

朝日庄内森林生態系保全センター 担当：赤澤 友光

電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731

令和3年度朝日自然塾

# プロが教えるイワナ釣り



令和3年7月22日(祝・木)

鶴岡市大鳥 東大鳥川・タキタロウ館



## 朝日自然塾連絡協議会

山形県溪流釣り協議会 山形県内水面漁業協同組合連合会 鶴岡市朝日庁舎 山形県山岳連盟 出羽三山の自然を守る会 小国の自然を守る会 山形県猟友会 西川町大井沢区 西川町自然と匠の伝承館大井沢自然博物館 東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

# プログラム

8 : 1 5 タキタロウ館に集合、開会式

8 : 2 5 <sup>けいりゅうつ</sup> 溪流釣り体験 <sup>たいけん</sup>

- ・ 4班に分かれて釣りを開始します
- ・ <sup>こうし</sup>講師が仕掛け作り、えさの付け方、<sup>さお</sup>竿の振り方、魚のいるポイントなどを教えてくれます。
- ・ 溪流釣りのルールとマナー、<sup>きけん</sup>危険の<sup>ぼうし</sup>防止について学びます。

1 0 : 3 0 イワナ釣り体験

- ・ タキタロウ館の<sup>つりぼり</sup>釣り堀でイwanaとニジマス釣りを楽しみます。

\* 釣り上げるイwanaとニジマスの数は、合わせて一人5匹までとさせていただきます。

1 2 : 0 0 昼食 イwanaの<sup>しおやき</sup>塩焼きをみんなでいただきます。

1 3 : 0 0 午後は適宜班に分かれて行動します。

## ○イwana・ニジマスのさばき方体験

- ・ 午前中に釣り上げた魚の上手なさばき方を教えてもらいます

○ <sup>けぼり</sup>毛鉤作り体験 ・ 講師が毛鉤の作り方を教えてくれます

○ フライフィッシング体験 ・ フライフィッシングの仕方

○ 自由行動 ・ 別料金ですが釣り堀で釣りをしても OK



## 13:50 イワナに関するっておきの話

- ・<sup>けいけんほうふ</sup>経験豊富な講師がイワナについてのいろいろなお話をしてくれ  
ます。

## 14:30 <sup>へいかいしき</sup>閉会式 <sup>きねんしゃしん</sup>みんなで記念写真を撮ります。

## もちもの <sup>ふくそう</sup>持ち物・服装

\*川の中を歩きますので、<sup>ぬ</sup>濡れることを想定し、<sup>そうてい</sup>準備して下さい。

<sup>ねっちゅうしょうたいさく</sup>熱中症対策もお願いします。

- 帽子
- 飲み物
- 長袖・長ズボン
- 昼食
- 着替え・タオル
- 軍手—魚をさばく時に使います
- 長靴・運動靴
- クーラーボックス(お魚お持ち帰り用)
- 雨合羽
- 新聞紙(お魚お持ち帰り用)
- 虫除けスプレー等
- ポリ袋(お魚お持ち帰り用、ゴミ袋)

(○釣<sup>つり</sup>竿<sup>ざお</sup>—当センターで釣り竿・仕掛<sup>しかけ</sup>け一式貸し出ししますのでなくても大丈夫で  
す。持参しても結構です。)

## ちゅういじこう 注意事項

- ① はだしで川に入るのは、<sup>たいへんきけん</sup>大変危険です。必ず<sup>ながぐつ</sup>長靴等を着用して下さい。
- ② 危険を避けるため釣り場の区域を定めて行いますので、講師の指示に従って下さい。
- ③ イワナはとても用心深い魚です。音を立てたり<sup>ひとかけ</sup>人影をみせると釣るのが大変<sup>むずか</sup>難しくなります。周りの人も釣れなくなります。<sup>しず</sup>静かに<sup>しんちょう</sup>慎重に<sup>こうどう</sup>行動しましょう。
- ④ 釣れるポイントとなかなか釣れないポイントがあります。釣れたら釣っていない人にポイント<sup>ゆず</sup>を譲って下さい。
- ⑤ 溪流釣り<sup>しゅうりょう</sup>終了・集合<sup>しゅうごう</sup>の<sup>あいず</sup>合図はスタッフがホイッスル等でお知らせします。

## 釣りのルールとマナー

(山形県内水面漁業協同組合連合会)

### (1) ルール

<sup>しげんほご</sup>資源保護等の目的のため、それぞれの<sup>ぎょじょう</sup>漁場でルールが定められており<sup>ばつそく</sup>罰則もあります。以下は一般的なルールです。

- ① <sup>ゆうぎしょう</sup>遊漁証の交付が必要です。
- ② <sup>さいほきんしきかん</sup>採捕禁止期間が設けられています。

魚の種類により期間は異なりますが、ヤマメ・イワナ・ヒメマスは10月1日～翌年3月31日までです。なおサケは1年中採捕禁止になっています。



③ <sup>ぜんちようせいげん</sup> 全長制限

一定の大きさ以下のものは採捕禁止です。釣れた場合は逃がしてあげましょう。ヤマメ・イワナ・ヒメマス・ニジマスは15cmです。

④ <sup>がいらいぎよ いしよく きんし</sup> 外来魚の移植の禁止。

オオクチバス、ブルーギル等の<sup>とくていがいらいせいぶつ</sup>特定外来生物を他の<sup>かわ ぬま みずうみ</sup>川や沼、湖に移すことは禁止されています。(釣ること自体は<sup>きせい</sup>規制されていません。)

⑤ その他

<sup>きんりようく</sup>禁漁区が設定されていたり、<sup>あみ</sup>網などの<sup>ぎよく</sup>漁具や<sup>ぎよほう</sup>漁法が制限、禁止されています。

(2) 釣りのマナー

① 釣りの仕掛けや空き缶などのゴミは持ち帰りましょう。

② <sup>ていぼう</sup>堤防や<sup>どて</sup>土手を壊さない。

③ 小さな魚が釣れたら、川に返してあげましょう。

④ 良く釣れる場所を<sup>ひとりじめ</sup>独り占めしたり、割り込みしないようにしましょう。

# よく釣れる溪流釣りの仕方

講師の皆さんが直接お知らせします。

**\*安全に釣るために、絶対に守ること**

- ① エサのを見つけ方と付け方
- ② イワナの<sup>いぼしよ</sup>居場所
- ③ 溪流釣りの竿と仕掛けの作り方
- ④ エサの流し方
- ⑤ 魚信と合わせ方

## イワナについて

### イワナの<sup>せいたい</sup>生態と<sup>せいそくぼしよ</sup>生息場所

- ① イワナは北半球に生息し、日本では北海道と本州に生息しています。日本は世界のイワナの生息地の南限になります。
- ② \*<sup>こうかい</sup>降海型と<sup>りくふう</sup>陸封型
  - サケの仲間には、幼魚時代を淡水で過ごし、成長とともに降海し、産卵のために再び育った川に戻って来ます。 — 降海型 サクラマス / アマス
  - 中には一生淡水で過ごすものもいます。 — 陸封型 ヤマメ / (エゾ)イワナ
  - 陸封型のイワナも氷河時代は海と河川を行き来する降海型だったが、<sup>ひょうがき</sup>氷河期が終わり<sup>きこう</sup>気候の<sup>おんだんか</sup>温暖化により水温の低い河川の上流部に留まるようになったと言われています。各地・各河川で陸封されたイワナが<sup>いでんてき</sup>遺伝的な交流のないまま、独

自に進化し、<sup>あしゆ</sup>亜種や<sup>ちいきへんい</sup>地域変異が生まれてきたと考えられます。

- ③ イワナの<sup>じゆみょう</sup>寿命は5～6年（ヤマメは2～3年程度）。オスは1才、メスは2才で<sup>せいじゆく</sup>成熟し年1回<sup>はんしゆく</sup>繁殖します。イワナの<sup>さんらん</sup>産卵期は10～11月で紅葉のピークの頃です。春に卵からふ化します。
- ④ <sup>ちぎよ</sup>稚魚、<sup>ようぎよ</sup>幼魚は水中や水面を流れてくる<sup>すいせいこんちゆう</sup>水生昆虫を食べ、成長するに従って<sup>りくせい</sup>陸生<sup>こんちゆう</sup>昆虫を好んで食べるようになります。大きくなるとカエル、ネズミ、へビ、幼魚などもたべます。
- ⑤ 餌を食べるための「なわばり」を作ります。なわばりの場所を争ってよくケンカをします。イワナよりヤマメの方がケンカが強いので、同じ場所いるとヤマメの方がエサの多い所に「なわばり」を作ります。
- ⑥ <sup>すいおん</sup>水温の低いところに住んでいて、水温と同じ<sup>たいおん</sup>体温になります。
- 水温の低い冬はあまり活動しないのでエサもあまり食べません。
- 水温の高い夏は体温も高くなり、エサも豊富で、活発にエサを食べます。

## イワナの<sup>しゆるい</sup>種類・<sup>なまえ</sup>名前と分類(サケ科)

### サケ科

#### サケ属

○サケ

○**サクラマス\***ヤマメ(<sup>あしゆ</sup>亜種サツキマス\*アマゴ、ビワマス)

○**ニジマス**

○その他の種(カラフトマス、ベニザケ、ギンザケ、マスノスケ)



イワナ属 - 在来の種は2種群に分けられ、イワナと呼ばれているものは4亜種に分類されています。

○オショロコマ(亜種ミヤベイワナ)

○いわゆるイワナ(4亜種)

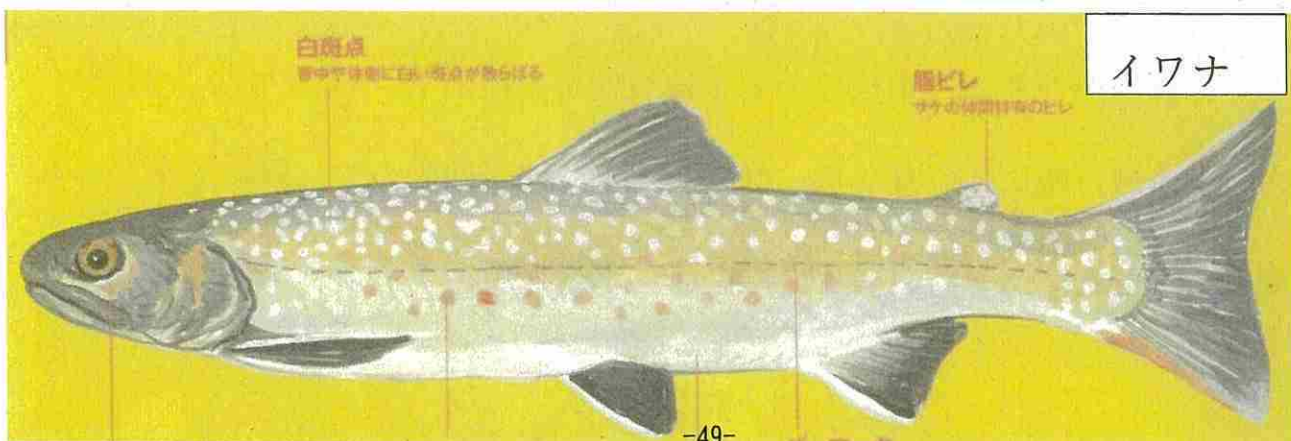
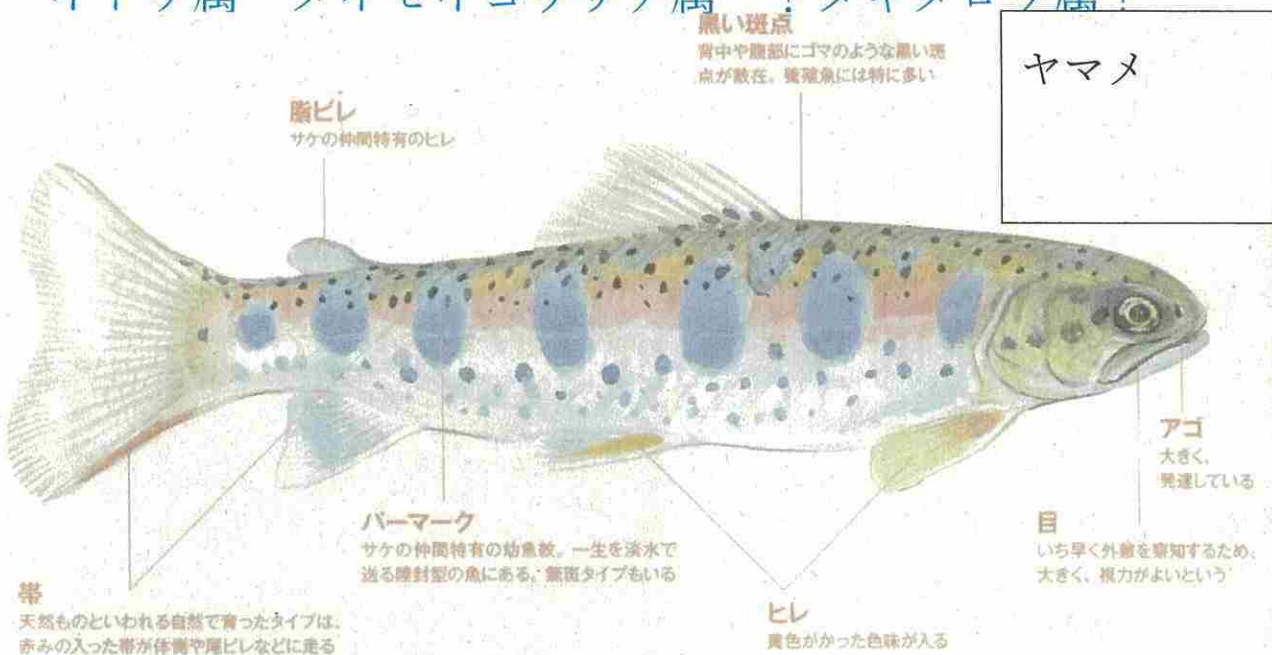
・イワナ\*アメマス (地方名:エゾイワナ、イワナ混称)

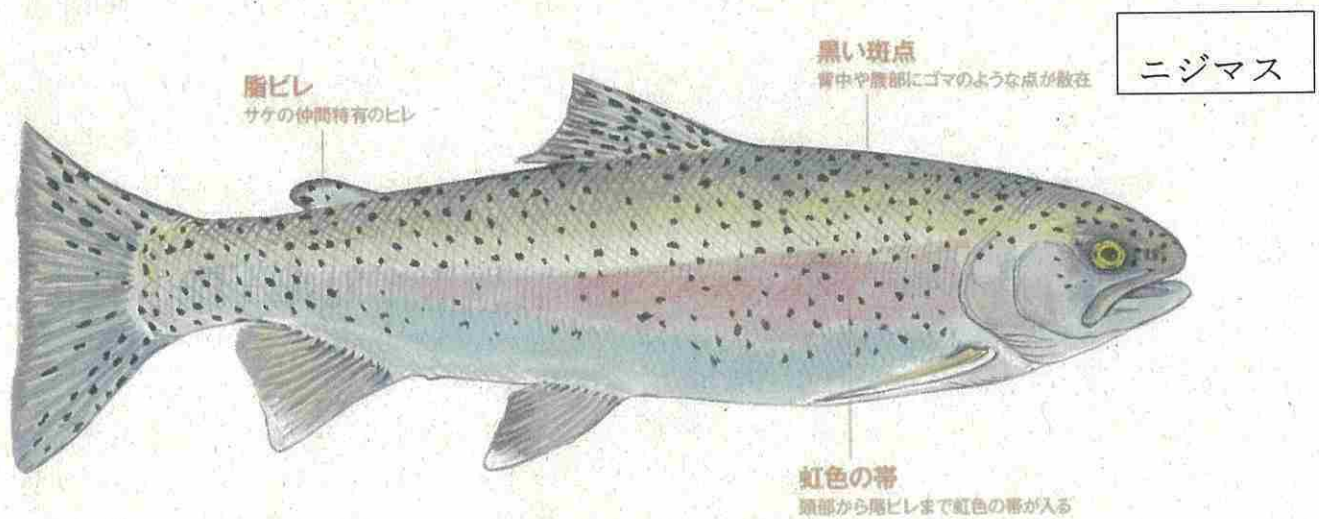
・ニッコウイワナ(地方名:イワナ) ・ヤマトイワナ

・ゴギ(中国地方の一部に生息)

がいらいしゅ  
○外来種 ・カワマス・レイクトラウト

イトウ属 タイセイヨウサケ属 ?タキタロウ属?





## イワナ以外の溪流にいる魚

### ウグイ

体色は全体にこげ茶色を帯びた銀色で、

体側に1本の黒い横帯が走る。各鰭、特に

腹鰭、尻鰭、及び尾鰭後端部は黄色味を帯

びる。春（3月上旬から5月中旬）になる

と雌雄ともに鮮やかな3本の朱色の条線を持つ独特の婚姻色へ変化する。河川の

上流域から下流域に幅広く生息する。群れを組んで泳ぎ回るので、橋の上などから

魚影を確認することができる。食性は雑食。水生昆虫、ミミズ、水に落ちた昆





虫、水底のコケ、小さな魚、魚の卵、<sup>こうかくるい</sup>甲殻類、<sup>ざんぱん</sup>残飯など何でも<sup>ほしょく</sup>捕食する。多くの地方でオイカワやカワムツなどと一括りに「ハヤ」と呼ばれる。

**オイカワ** コイ科に分類される<sup>たんすいぎよ</sup>淡水魚の一種。西日本と東アジアの一部に<sup>ぶんぷ</sup>分布

**ハヤ** 日本産のコイ科淡水魚のうち、中型で細長い体型をもつものの<sup>そうしょう</sup>総称

(ウグイ、アブラハヤ、タカハヤ、オイカワ、ヌマムツ、カワムツ)

## イワナの見分け方

<https://tsurihack.com/5509>

【イワナの種類】イワナ4亜種の見分け方や<sup>せいたい</sup>生態を詳しく紹介！

- ・大柄な白い斑点だけならば エゾイワナ
- ・白い<sup>はんでん</sup>斑点が全くなければ ヤマトイワナ(山形にはいません)
- ・頭まで白い<sup>もよう</sup>模様があれば ゴギ(山形にはいません)
- ・どれにも当てはまらなければ ニッコウイワナ(白い斑点と黄や橙色の斑点がある)





エゾイワナ

ニッコウイワナ

ヤマトイワナ

ゴギ

## エゾイワナ

日本では千葉県以北の太平洋側、山形県以北の日本海側に生息する。イワナ4  
 亜種の中では最も冷水を好みます。通常エゾイワナは生後約2年間の河川生活  
 の後に、海へ下るもの(アメマス)と河川に残るエゾイワナに分かれます

## ニッコウイワナ

生息域は、太平洋側では山梨県富士川、日本海側では鳥取県日野川以北の本  
 州各地と考えられていますが、古くからさまざまな河川に人為的に放流されて  
 いるため、正確な生息域は未だに明らかになっていません。

ニッコウイワナは、アメマスと同様に一部の地域で海や湖へ降りることが知  
 られています。

川を下り始めると、銀毛(ぎんけ・スモルト化) =(各ヒレが透き通った色

に変化し、体色もシルバーになります)になります。新潟県や山形県の一部の河川では、降海型のニッコウイワナを狙って釣ることができます。

## ・ヤマトイワナ

富士川から紀伊半島にかけての太平洋側の河川の源流域<sup>げんりゅう</sup>に生息しています。

## ・ゴギ

瀬戸内海に流出する岡山県吉井川から山口県錦川までの源流域と日本海側における島根県の斐伊川から高津川にかけて生息しています。

## \*イワナの名前

各地の地方名<sup>ちほうめい</sup>(イマナ、エノハ等)や地域変異種<sup>ちいきへんいしゅ</sup>(奈良十津川 ヤマトイワナ→キリクチ等)の呼び方が混在しています。

外形の模様等でも区別するので更に複雑(無斑イワナ、流れ紋イワナ等)

## \*混血・交雑イワナ

イワナ類の亜種間やヤマメと自然状態で交雑<sup>こうざつ</sup>する。外来種のカワマス、レイクトラウトとも交雑する。遊漁目的で主にニッコウイワナが養殖<sup>ようしよく</sup>・放流されており、他の川産のイワナと混血<sup>こんけつ</sup>し、純粋な地域型個体が残っている河川は少ないと考えられています。

## \*山形県のイワナ

ニッコウイワナとアメマス(エゾイワナの降海型)

外形や模様が変わっている 流れ紋イワナ、無班イワナ、カメクライワナがいます。

これまでに取れた最大のイワナは 58cm です。鶴岡市旧朝日村

\*公益財団法人 山形県水産振興協会が サクラマス・ヤマメ、イワナ、ニジマス等の養殖を行っています。

## イワナを釣るポイント

### ① どこに住んでいるの

○冷たい水を好み 0～15° C くらい、夏期で最高 20° C 位の水温の所に住んでいます。山岳部の溪流地帯に住んでいます。(ヤマメはもっと水温の高い中流～上流部を好みます)

○暗いところが好きなので川岸の林の木陰があるところが好きです。

### ② 何を食べてるの

いろんなものを食べますが、上流から流れてくる昆虫をよく食べます

#### ア 水生昆虫

水の中の石や葉の裏側、砂の中で暮らしている昆虫の幼虫です。秋から春に多くいます。夏に羽化して陸生昆虫になります。

水生昆虫			
チヨロム	ヒンチ	オニチ	砂虫
シ	ヨロ虫	ヨロ	
↓ 夏 に 羽 化 ↓			

#### イ 陸生昆虫

溪畔林の葉の裏側などにいます。

7～8月の夏期に多くいます。

ヒラタカ	フタオカ	カワ	モンカ
ゲロウ	ゲロウ	ゲラ	ゲロウ
陸生昆虫			



## ウ <sup>らっかせい</sup> 落下性昆虫

水面の上を飛んでいるトンボなどです。水に落ちてイワナのエサになります。

### ③ どんな性質なの

ア 溪流を流れるエサなら何でも食べる。

イ <sup>おくびょう</sup> 臆病なので人影に<sup>ひとかけ</sup>気づいて<sup>いわかけ</sup>岩陰に隠れてしまえば、ズーと出てこなくなる

ウ 前だけでなく後ろも見える

エ <sup>しゅうかく</sup> 臭覚が鋭いので川が<sup>にごって</sup>濁って見えなくなっても、臭いを出すミミズなどを食べる事が出来ます。

### ④ どこで釣れるの

○川の中の大きな石や岩陰、渦を巻いているところ、落差があるところなどでエサを待っていたり、休んでいます。

○フチやトロと言われる急に深くなって<sup>ながれ</sup>流れが<sup>ゆるやか</sup>緩やかになるところでエサを待っています。

## けいはんりん イワナと溪畔林について

### ① 溪畔林って何でしょう

川や沢の横にある森で、<sup>ひかけ</sup>日陰を作る、<sup>こうずい</sup>洪水を受けるなど川と森が<sup>そうご</sup>相互に影響を受ける<sup>はんい</sup>範囲にある森です。

洪水に強かったり、水分が多い土壌を好む、ヤナギ類、ハンノキ類、サワグ

ルミ、トチノキ、カツラ、ヤチダモ等が生えています。

## ② 溪畔林があるとイワナにいいことがあるの

森があると日陰が出来るので水温の上昇を抑え、暗いのでイワナが安心します。

森から葉が落ちると、水生昆虫の栄養、住みかになるのでイワナのエサが増えます。

様々な木が生えていると水生昆虫の種類が増えます。

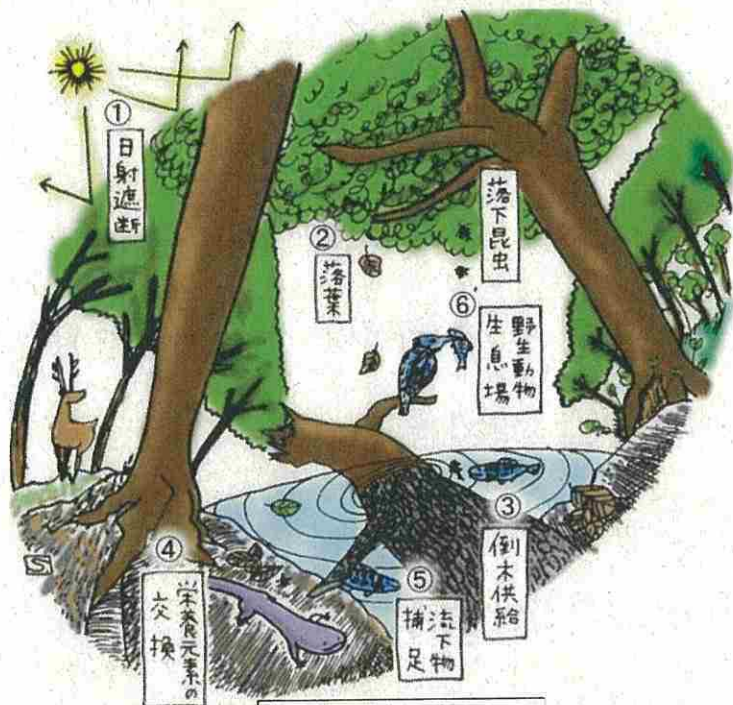
森が陸生昆虫や落下性昆虫の住みかとなるのでイワナのエサが増えます。

倒木や流れ木が、フチや隠れ場所、越冬場所などイワナが住む場所を作ります。

落ちた枝に砂が付いてトビケラ類の住みかになります。

森林の土壌が土砂や窒素、リンなどを補足・ろ過し水質をきれいにします。

∴ 溪畔林があるとエサが多くなり、住みかができ、水温や水質などイワナがより快適に暮らしていただけます。



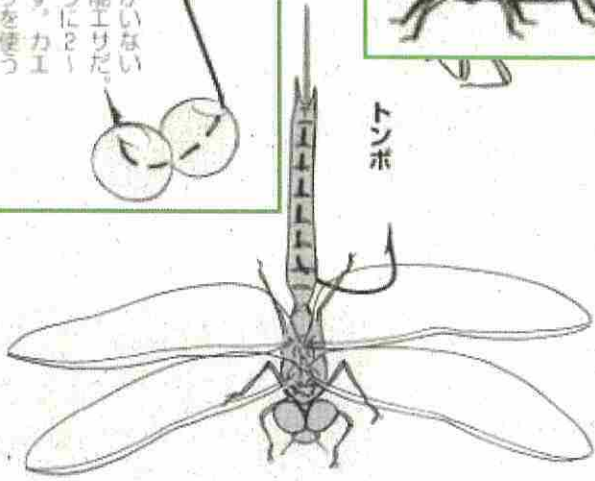
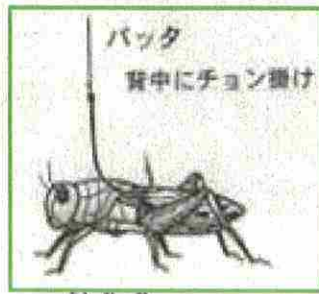
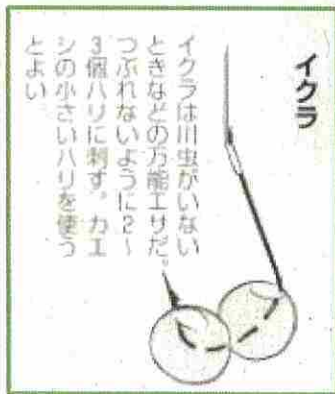
## イワナのエサ と付け方

### ① エサの付け方

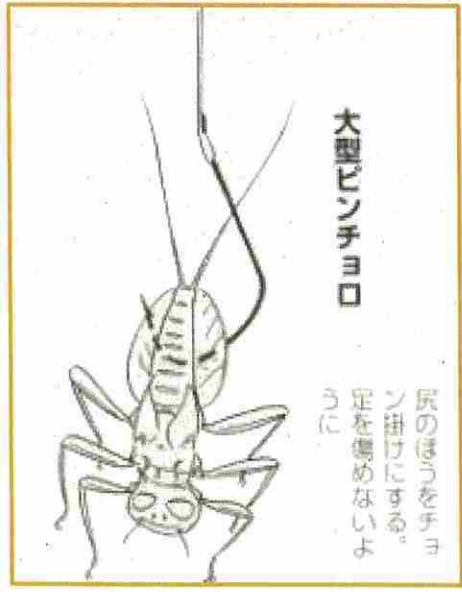
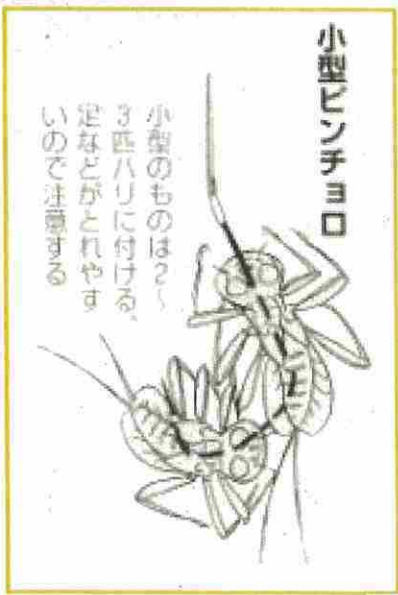
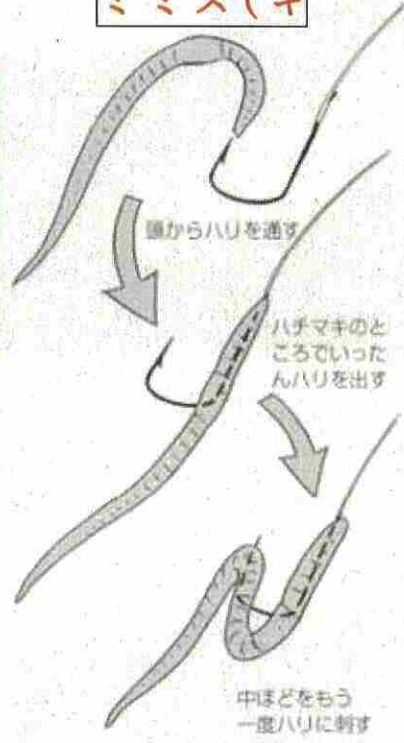
【ミミズ通しを使用した場合】







**ミミズ(キ)**





## ② イワナのエサ



ブドウムシ



ブドウスカシガ

バというガの幼虫。

ブドウムシ(釣り具店) ブド  
ウ等の枝の中を食い  
荒らすブドウスカシ

ハリの付け方は縫いサシ、チョンガケ。お尻から針を通し、頭で抜くのが基本

ミミズ(釣り具店など)



イクラ(釣り具店など)



針を掛けるだけのちょん掛けと、針をミ  
ミズの中に通す通し刺し。水中でも動い  
てアピールし、匂いによる効果もありま

ハリの付け方は通し掛け  
卵黄の部分に当たる色の濃  
い、切ハネ、腹は針に付けて

## 水生昆虫

チョロムシ(ヒラタカゲロウ)

チョロム

溪流のほぼ全流域に生息しています。

採取方法は瀬の石を裏返して水中か

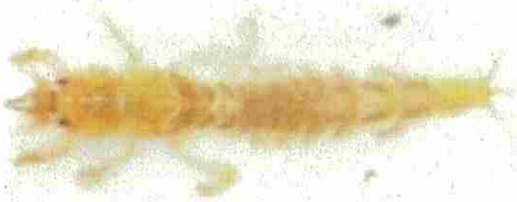


ナミヒラカゲロウ  
成虫♂



### 砂虫(モンカゲロウ)

溪流の中下流にいます。生息場所は流れの遅い土砂の溜まったところです。



モンカゲロウ  
亜成虫



### ピンチョロムシ (フタオカゲロウ)

ピンチョロ

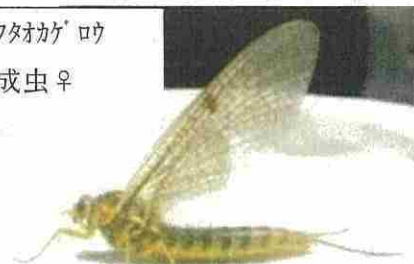
溪流の下流部の石の裏にいます。

川岸のタルミや溜まり水、葦際など

で採取できます。



オオフタオカゲロウ  
亜成虫♀



## オニチョロ(大型のカワゲラ)

オニチョロ



採取する場合、石を裏返すと逃げてしまうので、下流側に網を置き、上流側で石を転がすと効率よく採取できます。

カミムカゲラ

成虫



## キンパク(大型のカワゲラ)

キンパク



早春に有効なエサで、4月上旬から下旬にかけて羽化します。水の通りがいい小砂利床に多く生息。下流に網を置いて、上流から砂利底部まで掘り起こすように採取します。

## クロカワムシ(ヒゲナガカワトビケラ)



クロカワムシ



石裏に小石を固めて巣を作り、その中に生息しているため、巣を剥がすと中から出てきます。



## 陸生昆虫

小さいものは尻掛け、大きいものはハネを短く切って尻掛け

イタドリムシ

イタドリム



アズキノメイ蛾の幼虫で、ナスやあずき、イタドリなどの茎の中に生息しています。茎に小穴が空いているので、その部分の茎を割り捕まえます。溪流釣りのエサとしてはポピュラーで、扱いやすく、また、溪流に生息する大半の魚を

釣ることができます。

\*その他イナゴ(バッタ)、トンボ、甲虫類、クモもエサになります。

## イワナの知られざる世界

## \*安全に釣るために、絶対に守ってほしいこと

- ・愛情深いイワナの夫婦
- ・薄情なオスイワナ
- ・立って歩くイワナ
- ・砂に潜るイワナ
- ・縮むイワナ
- ・針も溶かすイワナの胃袋
- ・魚体のヌメリ
- ・葉と舌の構造
- ・イワナも川虫の生まれた場所までさかのぼり産卵する
- ・イワナの刺身は 20° C 以下の山岳溪流の魚なら食べられる。海から遡上したアメモスは食べられない
- ・多く釣る方法
- ・大物を釣る方法

令和3年度朝日自然塾 「プロが教えるイワナ釣り」

日時 令和3年7月22日(木・祝) 8:15~14:30  
 場所 鶴岡市大島(タキタロウ館前東大島川)

参加人数 27名  
 参加費 一人600円(傷害保険料、入館料含む)

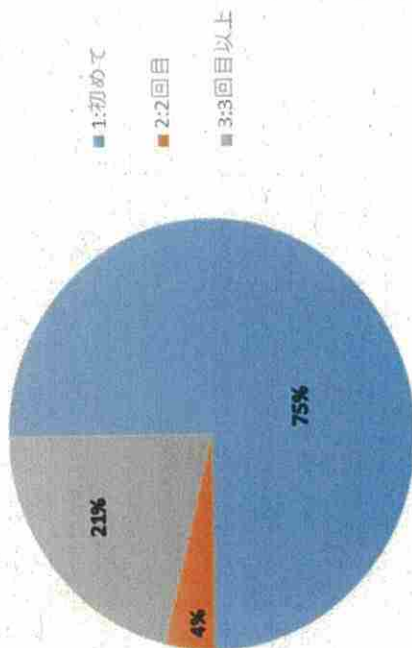
時間	場所	プログラム	主な内容	担当										備考						
				山形県溪流釣り協議会		朝日庁舎		庄内署							朝日センター					
				鈴木正	斎藤敏	斎藤篤	渡辺	長南	斎藤	齋藤	野馬	高橋	武内	菅原	鈴木	小林	所長	三上	赤澤	
7:45	タキタロウ館前	・打合わせ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
8:00	タキタロウ館前	・受付																		
8:15	タキタロウ館前	・開会式	・主催者挨拶等 ・講師・スタッフ紹介 ・4班に分かれ、餌の付け方や仕掛けと流し方を講師に教わりながら、溪流釣りをとおして生息場所や生態、森林との関係やイワナの生態に森林生態系が大切であることを学ぶ。	●																・鈴木会長から注意事項
8:25	東大島川	・溪流釣り体験		1班	2班	3班	4班													・セーター準備品 救急薬品 消毒液等 無線機4台(渡辺、中嶋、鈴木、赤澤)
10:30	タキタロウ館 釣り堀	・イワナ釣り体験	・釣り堀に放流したイワナ(ニジマス含む)の釣り																	4班 補佐 ▲
12:00		・昼食	・イワナの塩焼き					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	▲
13:00	タキタロウ館 及びその周辺	・イワナのさばき方体験、毛針作り体験ほか ・イワナに関するお話	・カッターを使ったイワナのさばき方班、毛針作り班、釣りなど自由行動班のローテーション	1班	2班 主査	3班	4班 毛針 主査	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	▲
13:50			・イワナの種類の不思議な生態等のお話を聞く	●																・さばき方が午前中で完了した場合は、二班に分かれて毛針作りとフライフィッシング体験をする。
14:20	タキタロウ館前	・記念撮影 ・閉会式	・講師・まとめ	●																▲
14:30		・解散																		●

流れと各スタッフの担当内容を確認。  
 合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。  
 と判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。  
 査、▲は副査を表す。

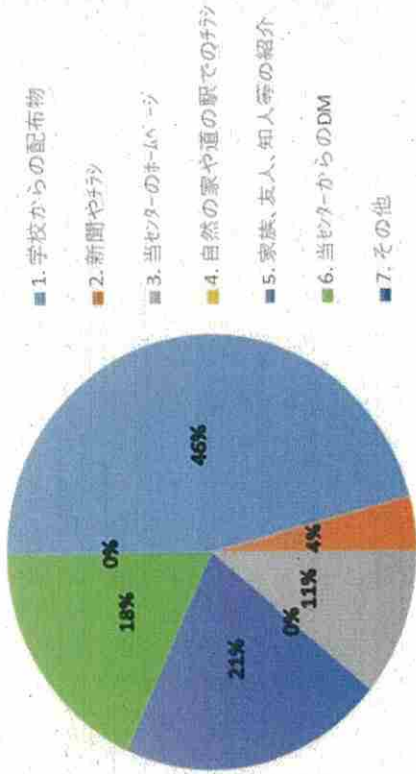


令和3年度 プロが教えるイワナ釣り

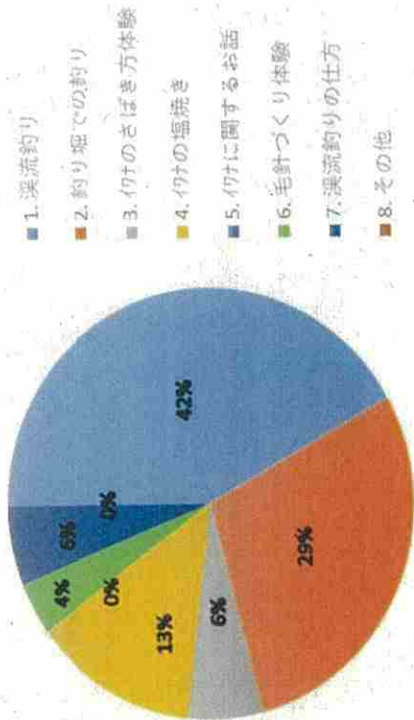
Q1.何回目の参加ですか？



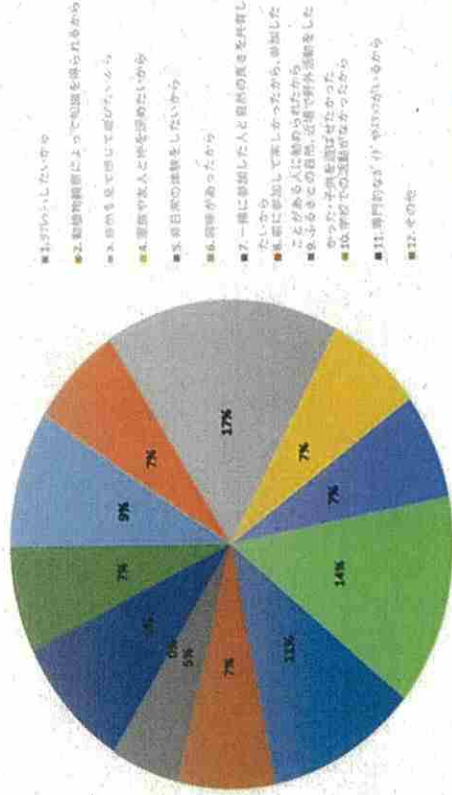
Q2.今回の自然塾をどのようにして知りましたか？



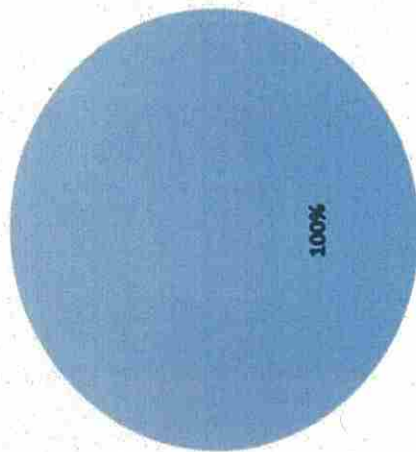
Q3.何を楽しみにしてきましたか？



Q4.どうして来たくなくなりましたか？



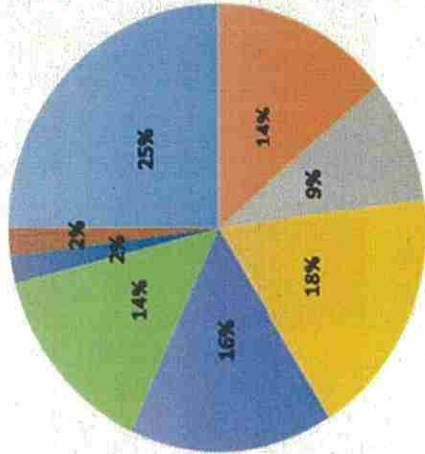
Q5.また、イベントに参加したいですか？



■ 1:はい

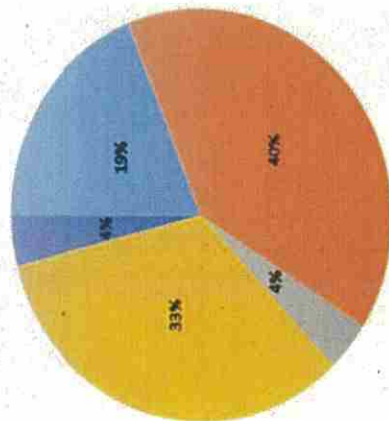
Q6.参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？

- 1.身近な自然や生き物を大切にしようと思った
- 2.03や04の期待通りだった
- 3.生き物のことや環境問題など色々知りたくなった
- 4.他のイベントにも参加しなくなった  
-朝日自然塾の他の活動
- 5.他のイベントにも参加しなくなった  
-自然の中でのイベント一般
- 6.将来(これから)自然を守る活動や仕事をしなくなった
- 7.今までよりも自然に中に出かけようと思った・子供を遊ばせようと思った



Q7.イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください

- 1.クガヤやアゲハの要素を入れてほしい
- 2.料理体験とか食事体験をしたい
- 3.もっと詳しい話を聞きたい
- 4.生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい
- 5.違うアゲハを入れて欲しい





## フロが教えるイワナ釣り

令和3年度朝日自然塾(※)が7月22日(木・祝)に、鶴岡市大鳥地区の、東大鳥川とタキタロウ館にて、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎、庄内森林管理署の協力を得て開催されました。当日は強力な日射しと暑さの中、10組25名が元気いっぱいに参加してくださいました。

参加者は4班に分かれ、講師の指導の下、まずは東大鳥川にて溪流釣りにチャレンジしました。



まずは溪流釣りにチャレンジ



砂熱い・・・

溪流の次は、釣り堀でイワナやニジマス釣りに挑戦。思った以上の強い竿の引きに、あちらこちらで大きな歓声が上がりました。

釣った魚は、講師の指導を受け、自分たちでさばき、食と命の厳粛な関係の一端を知ってもらいました。

さらに、午後にはフィッシングのデモンストレーション、毛針作り、イワナと森林の関係などの話を聴いたり、元気いっぱいに一日を楽しみました。

皆さん、暑い中、お疲れさまでした！



釣り堀でイワナ釣りにチャレンジ



午後は毛針作りにも挑戦

(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター



令和3年2月12日

令和2年度朝日自然塾「かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり」  
のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター 所長

春寒の候、皆さまにはご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和2年度朝日自然塾「かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり」を、  
別紙「参加者募集」により、令和3年3月6日(土)に実施いたします。

別紙「申込用紙」に必要事項を記載して、令和3年2月24日(水)までにFAX等  
にてお申し込みください(先着順(20名)・定員になり次第締め切らせていただきます)。

職員・スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者 : 自然再生指導官 赤澤 友光

## かんじきトレッキング&めのおうでアクセサリーブづくり

いつ  
どこで

令和3年3月6日(土) 9時30分～  
西川町大井沢「自然と匠の伝承館」  
山形県西村山郡西川町大字大井沢4110  
電話：0237-76-2112

募集人数  
申し込み

小中学生の親子等、一般の方20名(先着順)  
朝日庄内森林生態系保全センター  
電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731  
Eメール tomomitsu\_akasawa260@maff.go.jp (担当：赤澤)

締め切り

令和3年2月24日(水) 17時まで  
(先着順・定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費

1人 2,000円(障害保険料、入館料、アクセサリーブづくり体験料等)  
(参加費は参加人数により変更となる場合があります。)

持ち物

防寒着、帽子、手袋、長靴、タオル、着替え、飲み物、昼食(近隣に飲食店、コンビニ等はありません)  
※かんじきは当方で用意しています。



### ○感染症対策のお願い

- ・当日、発熱や咳等がある場合は参加を見合わせてください。
- ・受付時に検温、健康状態の聴き取りをさせていただきます。
- ・感染予防のため、マスクを着用して参加してください。
- ・プログラム中も随時、手洗いや備付けの消毒液により手指の消毒を行うよう心がけてください。

### プログラムの内容

- 9:30 開会式「自然と匠の伝承館」
- 9:45 ・メープルシロップの採り方と作り方
- 10:10 ・かんじきトレッキング  
かんじきで森を歩きながら、動物の足跡や木々の冬芽の観察、途中の斜面でそり遊びをしよう。
- 12:30 昼食
- 13:15 大井沢自然博物館見学・缶バッジづくり(当日の写真を使います)・標本観察と昆虫のおもしろい話  
・めのおうでアクセサリーブづくり体験(注)
- 15:30 まとめ・閉会式

※荒天時は屋内のみのプログラムに変更します。

(注)めのおうアクセサリーブは体験終了後、磨き作業があるため当日のお持ち帰りはできません。後日、郵送となります。

### 朝日自然塾 構成団体

山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会  
小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会  
山形県内水面漁業協同組合連合会、山形県猟友会  
西川町大井沢区、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館  
鶴岡市朝日庁舎、東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)



※当日のスナップ写真を資料等に使用させていただく場合がございます。

※新型コロナウイルス感染症について、実施日の2週間前程度に西川町で感染者が発生した際は中止とする場合があります。著しい荒天時も中止とする場合があります。実施時もプログラムを変更する場合があります。

令和 3 年 3 月 1 日

令和 2 年度朝日自然塾

「かんじきトレッキング&めのおうでアクセサリーづくり」

参加者の皆さんへ

朝日庄内森林生態系保全センター所長

このたびは、令和 2 年度朝日自然塾「かんじきトレッキング&めのおうでアクセサリーづくり」にご応募いただきありがとうございます。

実施に当たり、下記のとおりご留意いただきたい事項を連絡いたしますので、よろしく願いいたします。3月6日（土）自然と匠の伝承館にてお待ちしております。

記

- 1 開催日は 3 月 6 日（土）です。  
集合時間・場所は、9 時 3 0 分開会式開始（受付は 9 時 1 5 分より）  
「自然と匠の伝承館」です。  
山形県西村山郡西川町大字大井沢 4 1 1 0  
電話：0 2 3 7 - 7 6 - 2 1 1 2
- 2 持ち物は、防寒着、帽子、手袋、タオル、着替え、飲み物、昼食です。  
（近隣に飲食店、コンビニ等はありません。）  
かんじきは当方で用意いたします。
- 3 参加費は一人 2, 0 0 0 円です。当日受付にてお支払い願います。
- 4 悪天候などへの対応  
（1）小雨等の場合は予定どおり行います。ただし、開会後に天候が急変した場合は自然と匠の伝承館に移動し、室内中心のプログラムに変更する場合があります。  
（2）前日までの天気予報で暴風雪等により、安全な活動や車両の運転に支



障をきたすおそれがあると判断される場合は中止することとし、3月5日（金）午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大について、西川町に感染者が発生するなど、感染状況が悪化した場合には、直前であっても中止する場合があります。その場合は3月5日（金）午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

(4) 予定していたメープルシロップづくりと缶バッジづくりは諸般の事情により行わないこととなりましたのでご了承願います。

5 感染対策のため、マスクを着用し、発熱や咳等があり体調が思わしくない場合は参加を見合わせるようにしてください。また、受付時に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート」記入の協力をお願いいたします（検温と過去2週間の状況等）。

6 急な事由などでキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡をお願いいたします。

前日3月5日（金）午後5時までは、

0235-58-1730（朝日センター事務所）

当日3月6日（土）は、090-5778-3831

7 その他不明な点等については、以下にお問い合わせください。

朝日庄内森林生態系保全センター 担当：赤澤 友光

電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731

# 令和2年度朝日自然塾 「かんじぎトレッキング&めのでアクセサリーづくり」 (案)

(晴天時)

日時 令和3年3月6日(土) 9:30~15:30

参加人数 20名

※スタッフは9時集合(センター8時発)

場所 西川町自然と匠の伝承館集合・解散

参加費 一人2,000円(入館料・めのでアクセサリーづくり体験料・傷害保険料含む)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当							備考		
				西川町自然と匠の伝承館・自然博物館	西川町	朝日庄内森林生態系保全センター							
				福田	志田	高橋	前田	上野	秋山	三上	赤澤	鈴木	
9:00	伝承館	・打合せ	・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・センター準備品 衛星携帯電話: 1 無線機: 4 救急薬品: 1
		・参加車両誘導	・参加車両誘導									▼	
9:30		・受付	・受付										注意事項含む
		・開会式	・主催者挨拶 ・館長挨拶 ・講師・スタッフ紹介										
9:45		・移動	・移動										
10:00	旧小学校～ 瀬原～旧小 学校	・かんじぎトレッキング	・かんじぎのはき方・歩き方を学ぶ	●	●					●	●	●	
			・動物の足跡や冬芽を観察し、里山の森林環境(生態系)を学ぶ	●	●					●	●	●	
12:10		・昼食	・雪の斜面でそり遊び	●	●					●	●	●	
			・西川町の巧人より指導を受け体験			▼							
13:00		・昆虫標本とその他の説明等	・地域の自然を学習									●	・記念撮影
			・講評・まとめ										
15:00		・閉会式	・閉会式										

※打ち合わせは、全体の流れと各スタッフの担当内容を確認。

※イベントは小雨決行。但し、開会后、天候が急変した場合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。

※前日の天気予報で、吹雪や豪雪等、移動や活動の安全に支障を来す恐れがあると判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。

※トレッキングコースはスノーモービル借り上げにより圧雪をする予定(3月4日)。

※●は主査、▲は副査を表す。

令和2年度朝日自然塾 「かんじきトレッキング&めめのでアクセサリーづくり」(案) (荒天時)

日時 令和3年3月6日(土) 9:30~15:30  
 場所 西川町自然と匠の伝承館集合・解散  
 参加人数 17名  
 参加費 一人2,000円(入館料・めめのでアクセサリーづくり体験料・傷害保険料含む)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当										備考
				西川町自然と匠の伝承館・自然博物館			西川町			朝日庄内森林生態系保全センター				
				福田	志田	高橋	前田	上野	秋山	三上	赤澤	鈴木		
9:00	伝承館	・打合せ	・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・センター準備品 ・衛星携帯電話：1 ・無線機：4 ・救急薬品：1	
		・参加車両誘導	・参加車両誘導											
		・受付	・受付											
9:30		・開会式	・主催者挨拶 ・館長挨拶 ・講師・スタッフ紹介										注意事項含む	
		・めめのでアクセサリーづくり	・西川町の巧人より指導を受け体験			▼								
9:40		・昆虫標本とその説明等	・地域の自然を学習						●					
		・昼食												
11:50		・閉会式	・講師・まとめ										・記念撮影	
13:00											●			

※打ち合わせは、全体の流れと各スタッフの担当内容を確認。  
 ※イベントは小雨決行。但し、開会后、天候が急変した場合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。  
 ※前日の天気予報で、吹雪や豪雪等、移動や活動の安全に支障を来す恐れがあると判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。  
 ※天候の状況によってトレッキングが無理な場合でも、可能であれば小学校前でかんじき体験を行う。  
 ※●は主査、▲は副査を表す。



令和2年度朝日自然塾

かんじきトレッキング&

めのうアクセサリーづくり



令和3年3月6日(土)

西川町大井沢地区 カッチャバ湿原、自然と匠の伝承館



かんじきスノートレッキング



冬芽観察 動物の足跡探索



そり遊び



めのうアクセサリー作り

## 朝日自然塾連絡協議会

山形県溪流釣り協議会 山形県内水面漁業協同組合連合会 鶴岡市朝日庁舎

山形県山岳連盟 出羽三山の自然を守る会 小国の自然を守る会 山形県猟友会

西川町大井沢区 西川町自然と匠の伝承館大井沢自然博物館

東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

# プログラム

- 9:30 西川町 自然と匠の伝承館において開会式
- 9:45 移動
- 10:00 かんじキトレッキング
- 旧小学校からカッチャバ湿原しつげんに向かい冬の森の中を歩きます
- ・かんじきの履き方はきかたと歩き方あるきかた
  - ・樹木じゅもくの冬芽とうがを観察かんさつします
  - ・雪の上に残った動物どうぶつの足跡あしあとを観察かんさつします
  - ・肥料袋ひりょうぶくろなどでそりすべり
  - ・高台たかだいに登ってのぼ記念撮影きねんさつえい
- 12:10 昼食ちゆうしょく (自然と匠の伝承館しぜんたくみでんしやうかん)
- 13:00 午後は班に分かれて行動します。
- めのうアクセサリー作り
- ・自分で原石げんせきを選び、めのう巧人こうじんの手ほどきを受けてオリジナルなアクセサリー等を作ります
- 大井沢自然博物館見学おおいさわしぜんはくぶつかんけんがく
- ・自然しぜんの宝庫ほうこ 大井沢おおいさわの動物どうぶつ・植物しょくぶつ・鉱物こうぶつなどを見学けんがくします
- 昆虫博士の昆虫教室こんちゆうはかせ こんちゆうきょうしつ
- ・コレクションを見ながら昆虫こんちゆうの不思議ふしぎな世界せかいのお話を聞きます
- 15:00 閉会式へいかいしき・記念写真撮影きねんしゃしんさつえい

へいかいしきしゅうりょうごげんちかいさん  
閉会式終了後現地解散

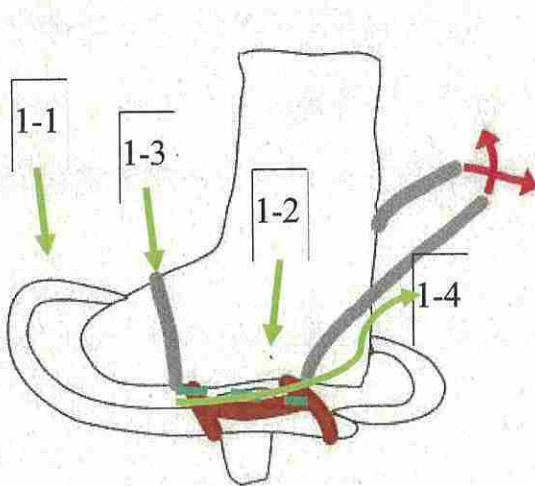
## ちゅういじこう 注意事項

- ① かんじきトレッキングでは雪原せつげんを歩きますので、防寒対策ぼうかんたいさくや長靴ながぐつなどに雪が入らないようにするなど対策たいさくをして下さい。
- ② 汗あせをかいて下着したぎが濡ぬれてしまうと体温たいおんが奪うばわれ、低体温症ていたいおんしょうになるおそれがあります。かんじきトレッキング体験たいけんご後ごすぐに用意よういした着替えきがに着替きがえて下さい。
- ③ 昼食時ちゅうしょくじにお湯よういを用意よういいたしますが、一度いちどには希望せんいんぶんする方ぶん全員分よういを用意よういできない場合があります。あらかじめ御了承ごりょうしょう下さい。
- ④ めのうアクセサリ作りではコロナウイルス感染症かんせんしょう予防よぼうの観点かんてんから班分けはんいたします。講師こうしの指示しじに従したがって行動こうどうして下さい。



# かんじき のはきかた

かんじきの元々の紐の組み方によって、履き方が変わってきますが、基本は下図のとおりです。紐を回したり、結ぶ時に靴に密着させましょう。

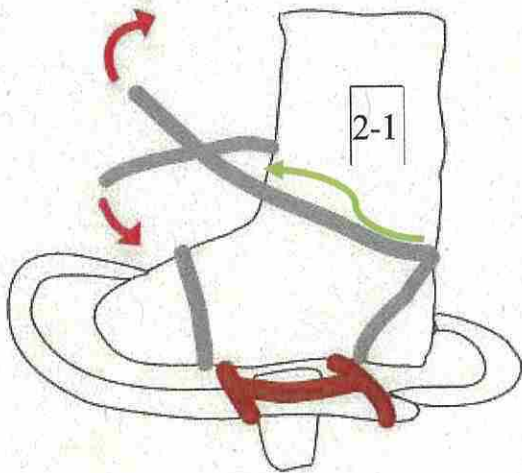


1-1 かんじきの広い方が前です

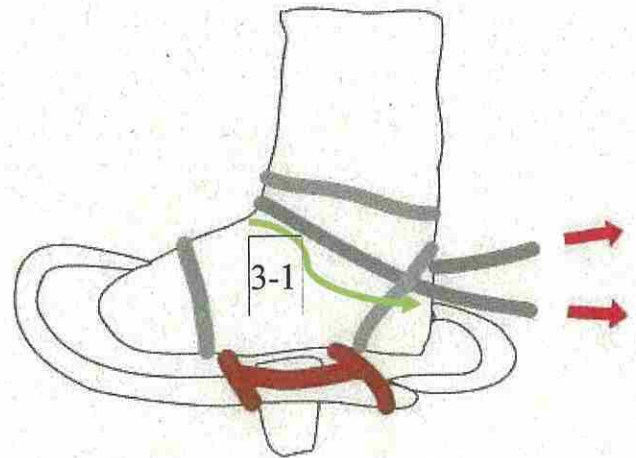
1-2 かんじき中央の横紐に土踏まずをのせます

1-3 つま先側で紐の輪を作り、足を入れます

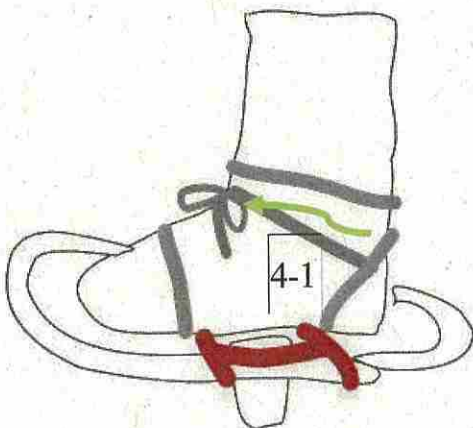
1-4 輪の紐を横紐の下を通してかかと側に持っていく交差させます



2-1 甲側にもっていき交差させます。  
(甲側で結んでしまってもよい→完成)



3-1 かかと側にひもをもっていく、すでにあるかかと側のひもの内側を通します

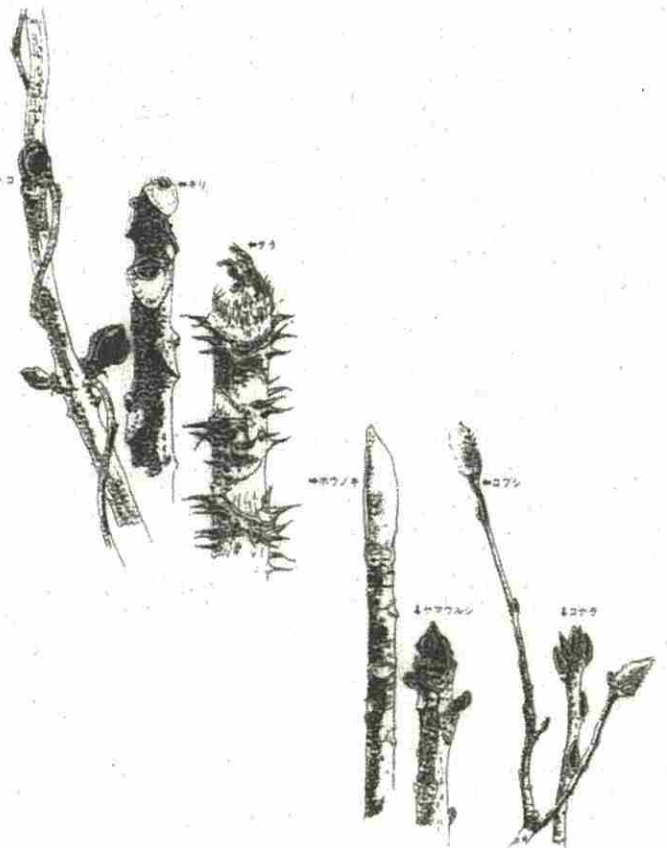
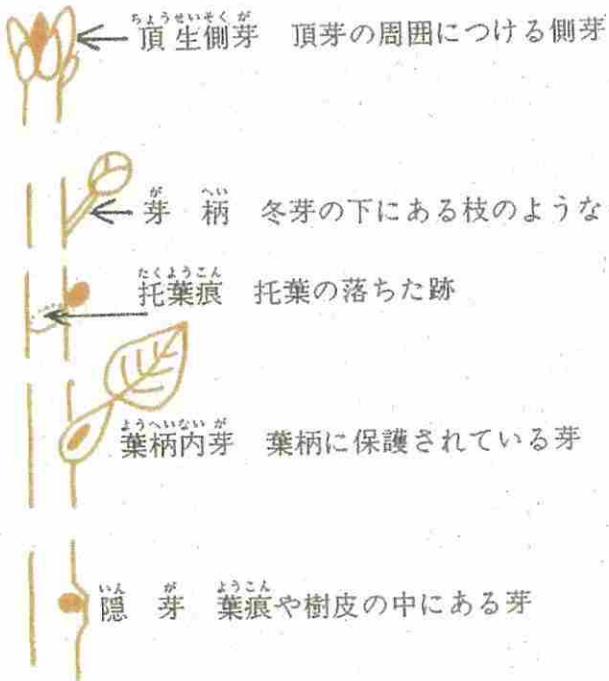
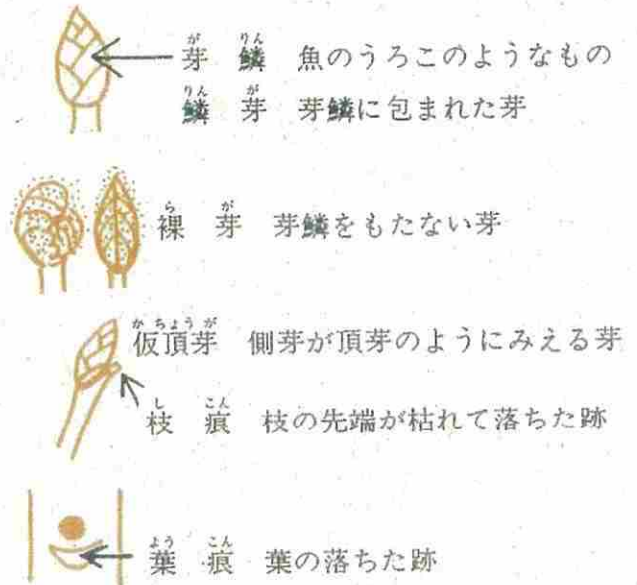
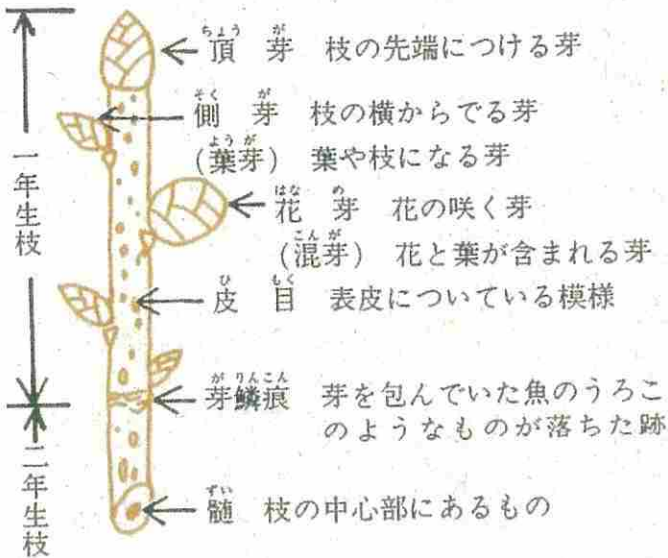


4-1 ギュッと引っ張り再び甲側にもっていき結びます。 完成

# いろいろな冬芽

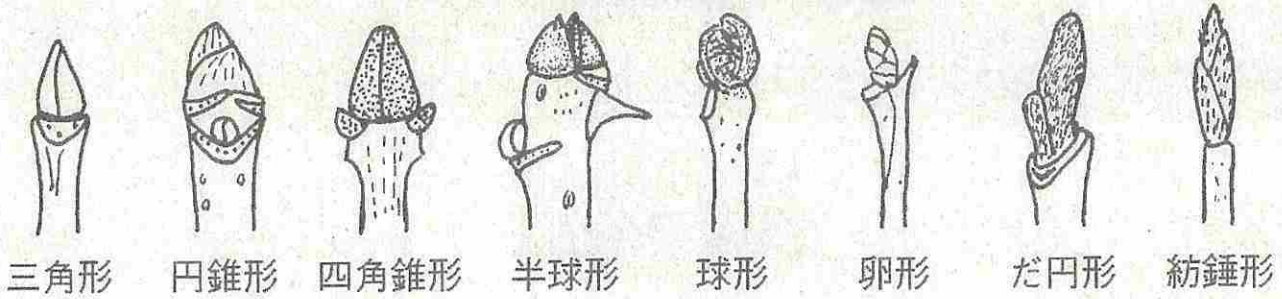
## 冬の木を識別するポイント

### 冬芽の名前

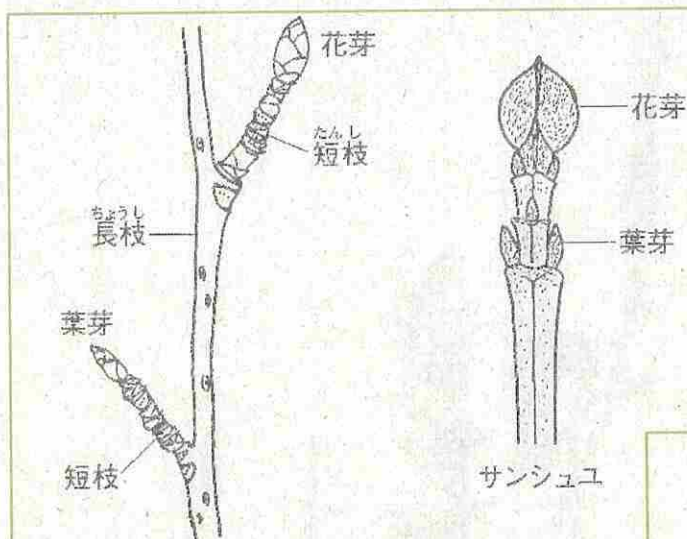
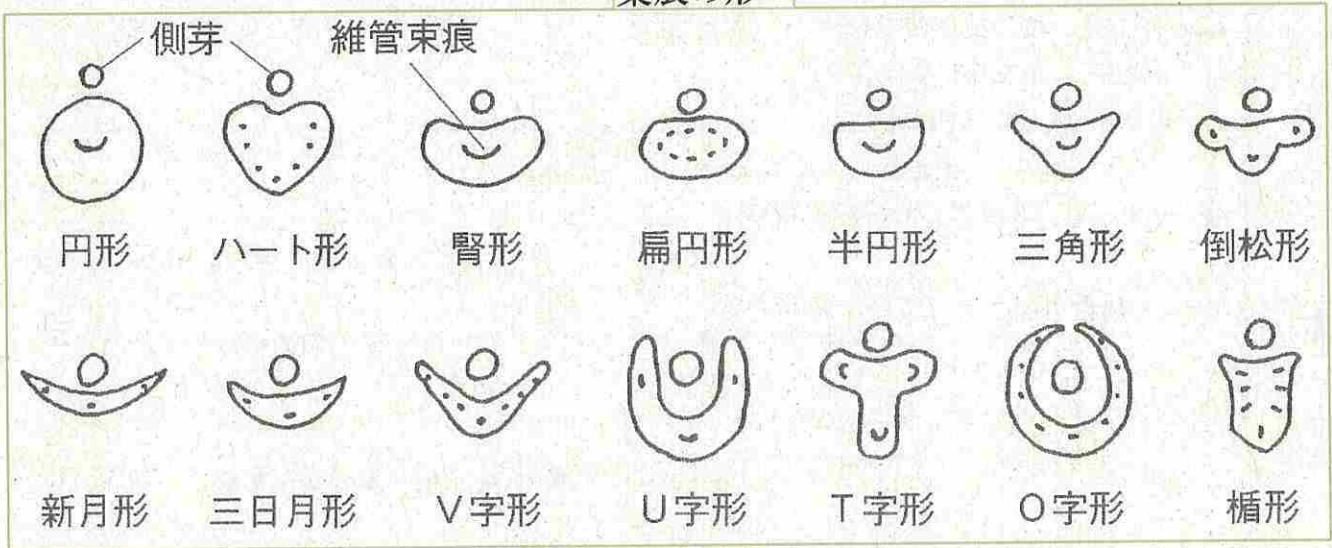




冬芽の形

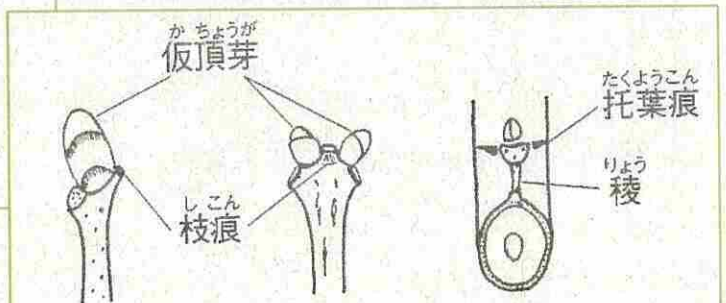


ようこん  
葉痕の形



混芽；花と葉が出る芽，形は花芽とよく似たものから，葉芽とよく似たものまである

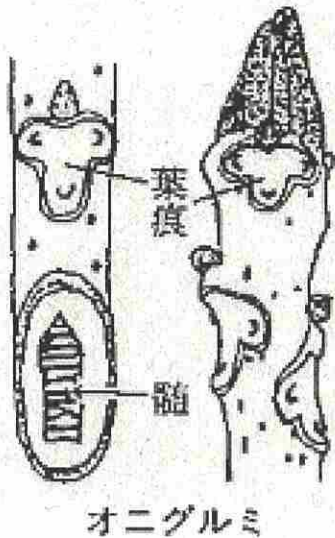
冬芽の付き方



枝痕；枝の先が枯れ落ちた痕  
仮頂芽；一番上の側芽(腋芽)が頂芽のように見



## オニグルミ



5. オニグルミ 109

## タラノキ

ウコギ科の特徴  
高木または低木、枝は緑色から灰褐色に変わる。トゲをつけるものがある。葉痕は互生しV字形～U字形で維管束痕は多く、1列に並ぶ。冬芽は葉柄から変わった芽鱗をもち、頂芽が発達する。頂芽は円錐形～半球形のものが多い。托葉痕はない。

### 6. タラノキ

ウコギ科

*Aralia elata* (Miq.) Seemann (原色図鑑 木本編1 p.184)

- ポイント 1. 枝は非常に太く、鋭いトゲが多い  
2. 葉痕は大きくV字形～U字形  
3. 冬芽の近くのトゲはねる

落葉低木で直立し、ほとんど枝分れしない。一年枝は淡い灰褐色。頂芽は大きく、円錐形で芽鱗はもろく、側芽は小さい。維管束痕は1列に並び30～40個ある。



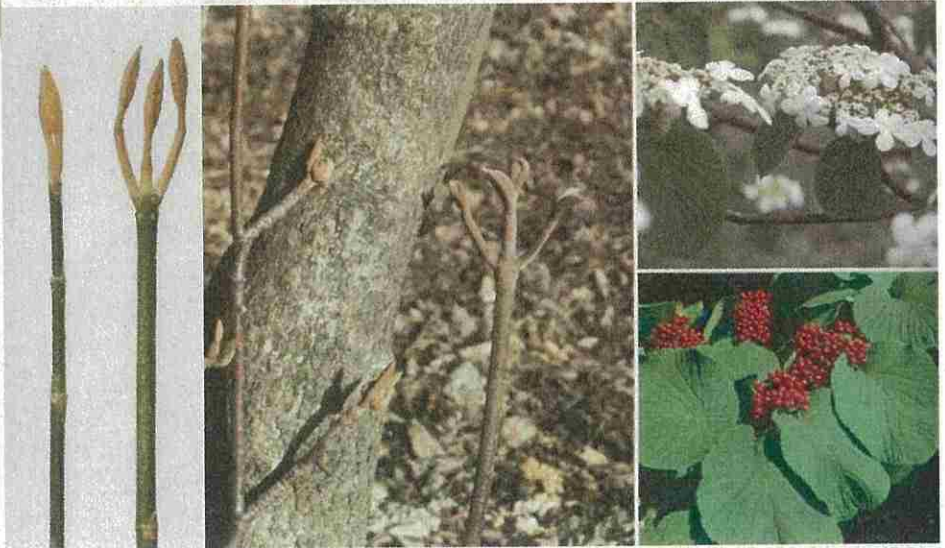
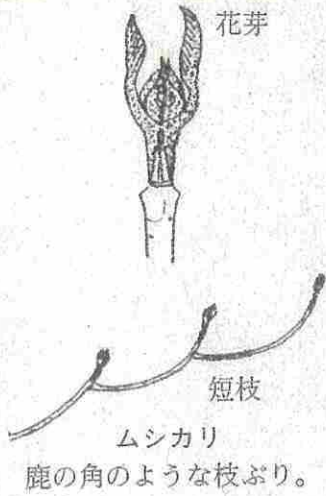
6. タラノキ

## コシアブラ

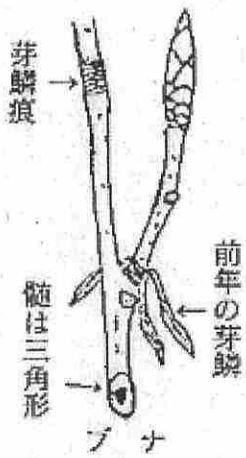




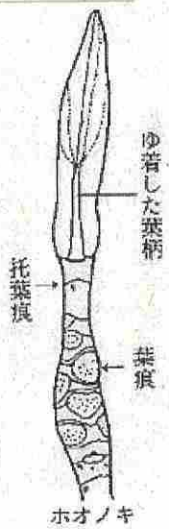
オオカメノキ (ムシカリ)



ブナ

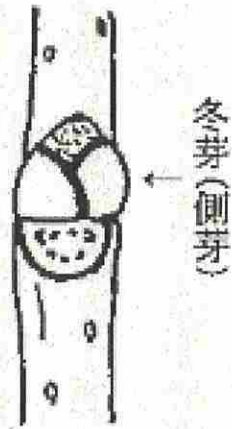


ホオノキ





クリ

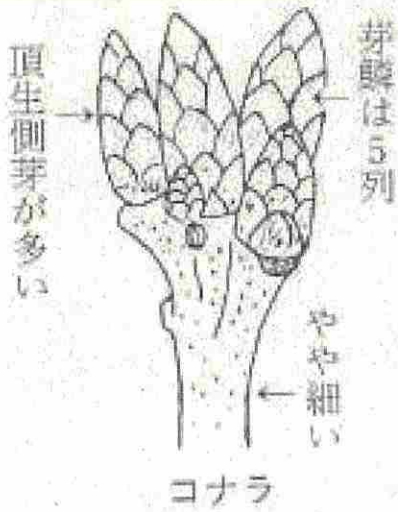


ク リ

冬芽はクリの実に似る。



コナラ・ミズナラ



コナラ



3. コナラ



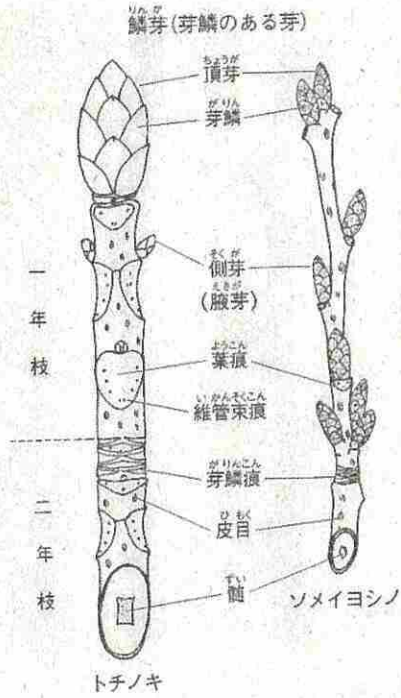
ミズナラ



4. ミズナラ



トチノキ

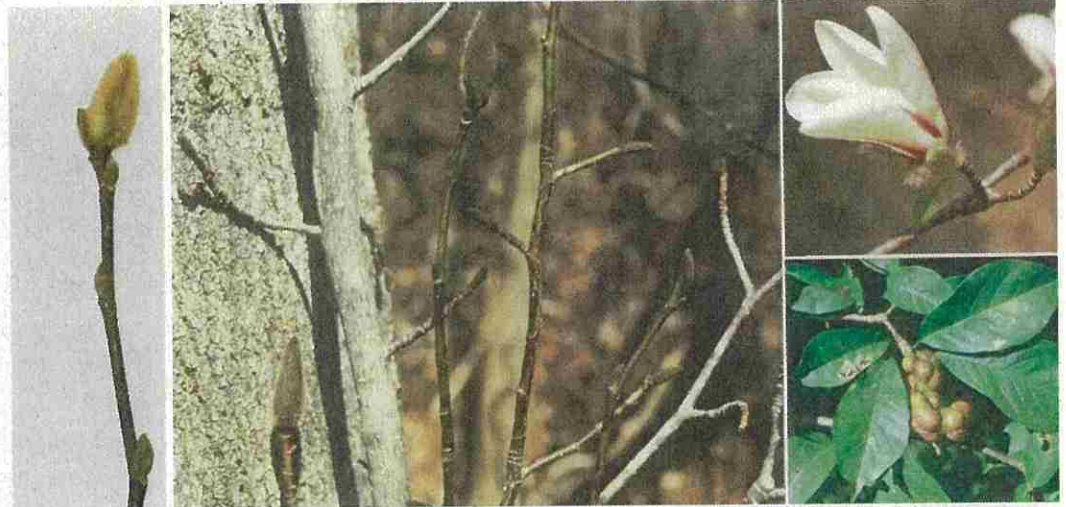


トチノキ

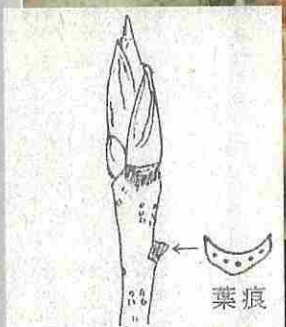
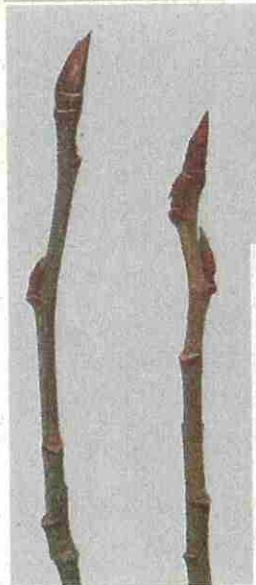
コブシ



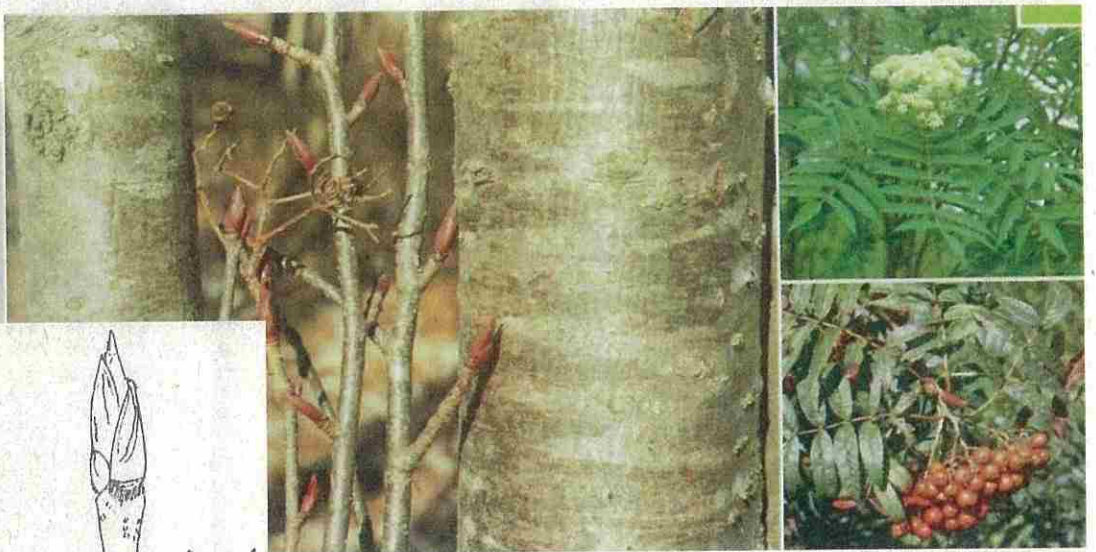
タムシバの葉芽は無毛でこん棒形である。(138頁)



ナナカマド

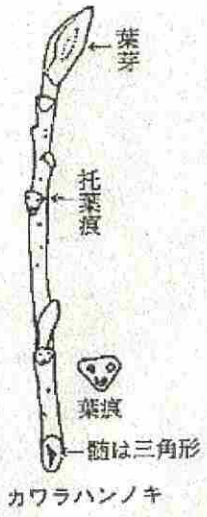


ナナカマド  
葉痕の基部は紅紫色。





ハンノキ

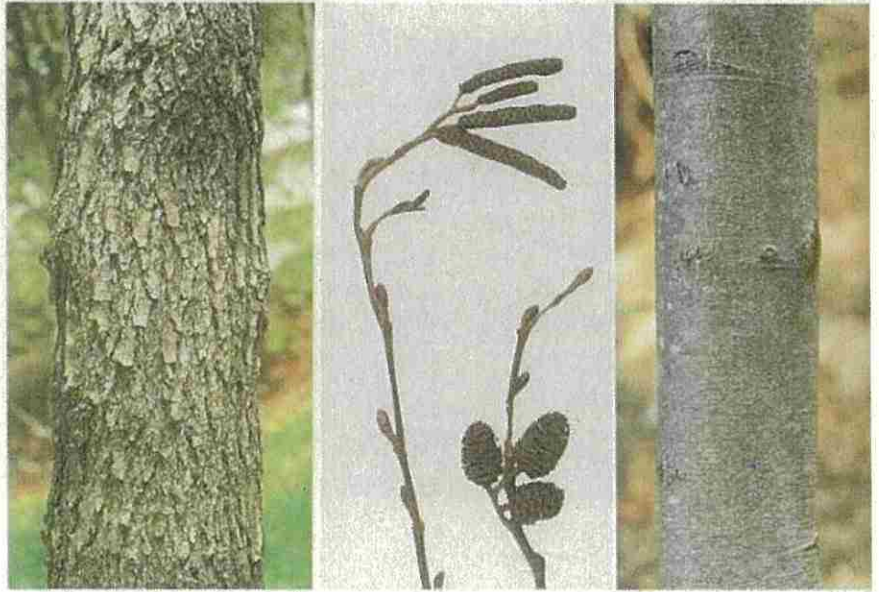


1. ハンノキ

ハンノキの仲間 (ハンノキ亜属) の特徴  
葉芽は裸芽で先は尖らず、樹脂で密着され、柄がある。雄花穂は枝先に数個つき細長く有柄、雌花穂は雄花穂の下の葉腋につき小さい。花穂は芽鱗に包まれない。若枝は粘り、断面は三角形。髓も三角形で緑色～褐色。葉序は1/3。維管束痕は3個または3か所。托葉痕がある。



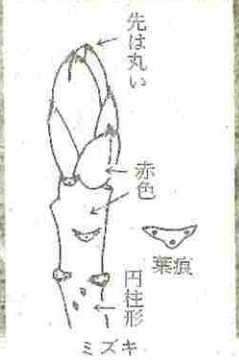
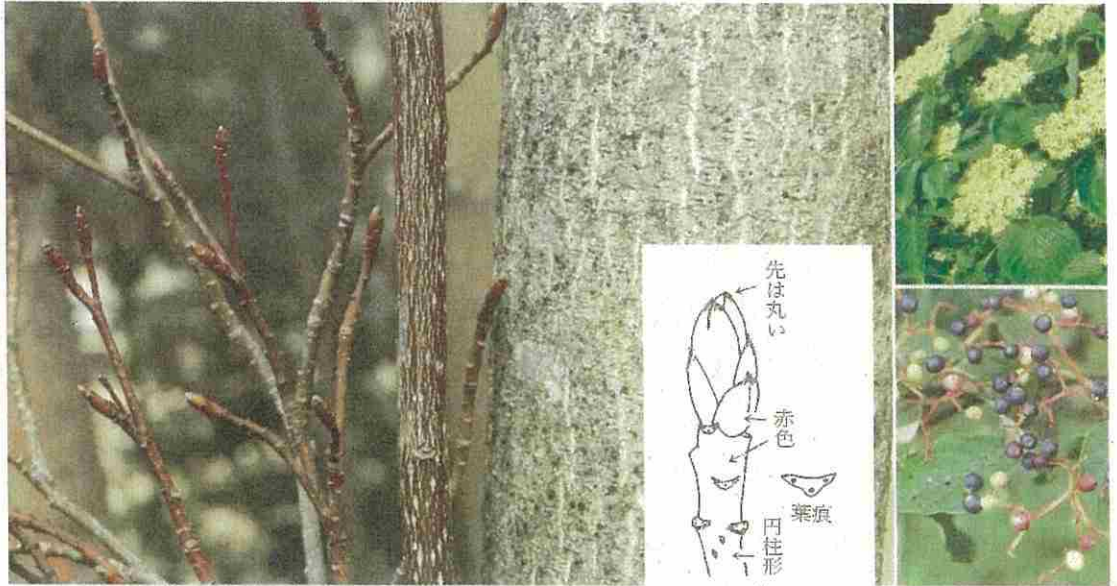
ケヤマハンノキ



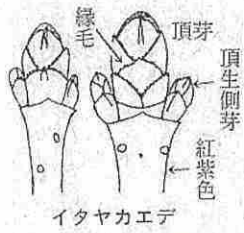
1. ハンノキ

2. ケヤマハンノキ

ミズキ







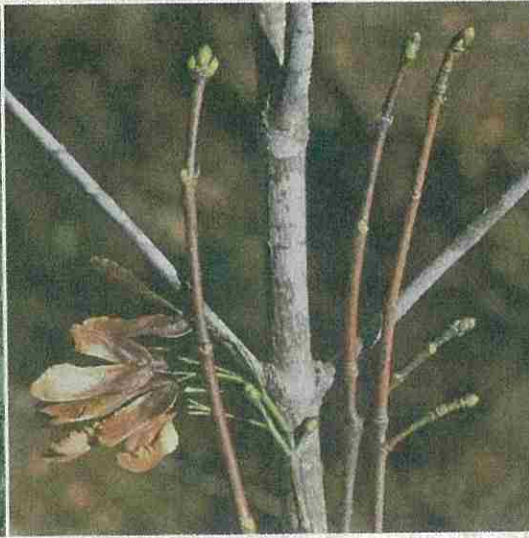
イタヤカエデ



イタヤカエデの仲間一年枝が紅紫色を帯びるのはイタヤカエデとアカイタヤだけである。アカイタヤの冬芽は黄褐色～紅紫色となる。エゾイタヤの一年枝は帯黄褐色で枝先に毛が残る。冬芽は暗紅紫色。ハナノキの枝の色や冬芽はイタヤカエデに似ているが、より美しい紅色を帯び、成木の樹皮は縦に深く裂ける。



アカイタヤ



ハウチワカエデ・コハウチワカエデ



3. コハウチワカエデ

4. ハウチワカエデ



# 動物のサイン

あしあと

## 1. 動物の足跡

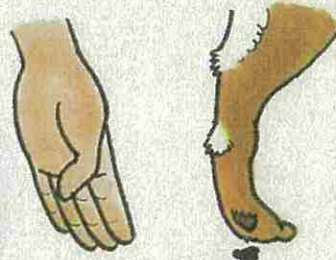
### 足跡のタイプ

動物の歩き方には大きく分けて、「指行性」「蹠行性」「蹄行性」の3つ

のタイプがある。それも踏まえて足跡を読み取ることが大切だ。

#### 指行性（4本の指跡）

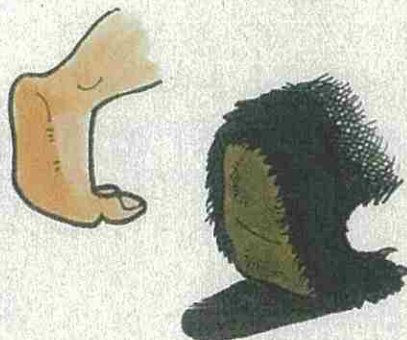
人間がつま先立ちで歩くように、肉球のある指先で歩くタヌキ (p.30) やヤマネコ (p.36) など、イヌ科動物やネコ科動物の歩き方。



人差し指から小指の指先で歩くタイプ

#### 蹠行性（5本の指跡）

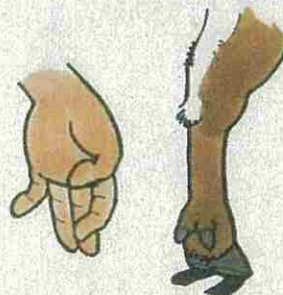
人間と同じように、かかとまでべったりつけて歩く、クマ (p.48)、イタチ (p.62)、ハクビシン (p.74) など多くの動物の歩き方。歩行時はかかとまで、走行時は指先だけを地面につけるものを「半蹠行性」と分ける文献もあるが、広い意味で蹠行性ということなので、本書では分けない。



かかとまでつけて歩くタイプ

#### 蹄行性（ヒツメの跡）

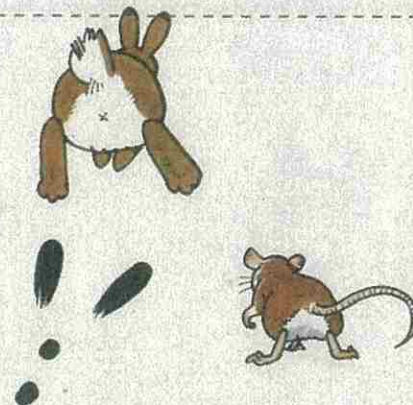
イノシシ (p.78)、シカ (p.84)、カモシカ (p.90) の歩き方。指先がつくので、指行性のひとつだが、ヒツメに特徴がある。日本の野生動物は2本か4本のヒツメの跡を残すが、ウマは1本だ。ウシやヒツジなどの偶蹄類やウマなどの奇蹄類が、このグループになる。



中指と薬指のツメで歩くタイプ

#### 跳躍性・小さい・見つけにくい

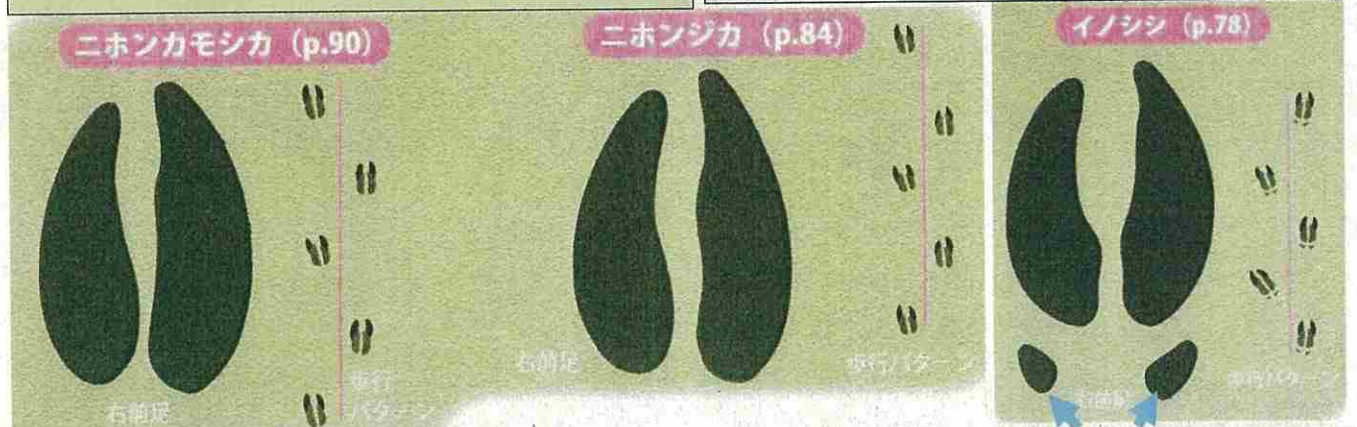
蹠行性のひとつだが、特徴的な足跡を残すノウサギ (p.104) やニホンリス (p.108) などの跳躍性のほか、モグラ (p.94) やムササビ (p.116) コウモリ類など、足跡が小さかったり、見つけにくかったりするものが含まれる。本書の図鑑ページは、以上4つのタイプ順で紹介している。





ほこう  
 \* 図の歩行パターンは歩いている時のものです  
 走っている時、<sup>がり</sup>狩りをしている時は<sup>まえあし</sup>前足と<sup>うしろあし</sup>後足の<sup>かさなりかた</sup>重なり方が<sup>か</sup>変わったり、<sup>かた</sup>雪の堅さで付き方が変わってきます

ていこう  
 蹄行性の動物－ひづめのある動物 外側の蹄が大きい → 右足・左足の区別



しこう  
 指行性の動物－4本指

イノシシだけ副蹄の跡がつきます





蹠行性の動物 - 5本指、かかとの跡が付く(走ると付かない場合も)



サルだけ親指の跡がつきます





# 跳躍性の動物—蹠行性の動物の内 飛んで歩いたり足跡が小さい動物

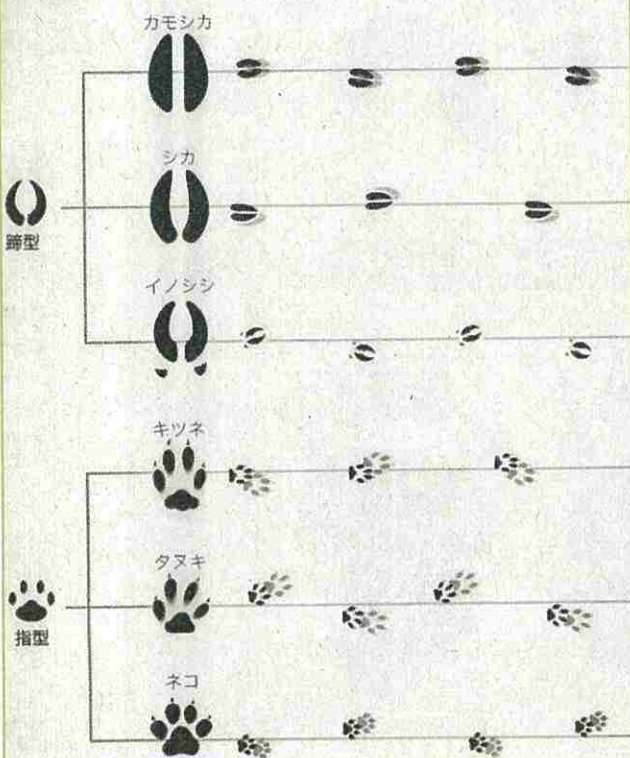


前足より後足の跡が前につきます

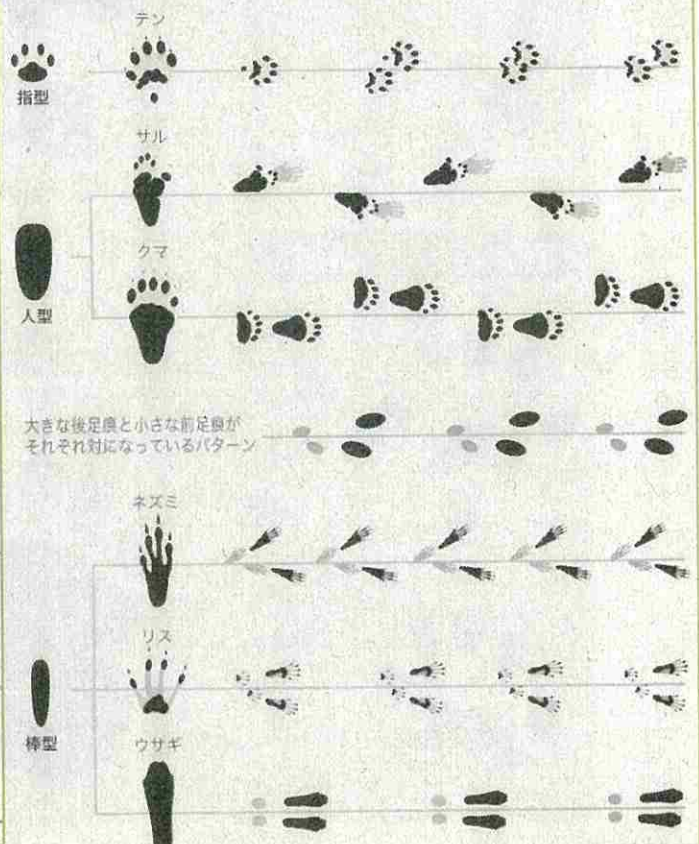
ネズミ等は大体線状の尻尾の跡も付きます

## 歩き方のパターン

足跡幅が狭く、ほぼ一直線に並ぶ単純なパターン



大小の足跡が対になっていたたり、不規則で複雑なパターン



大きな後足痕と小さな前足痕がそれぞれ対になっているパターン



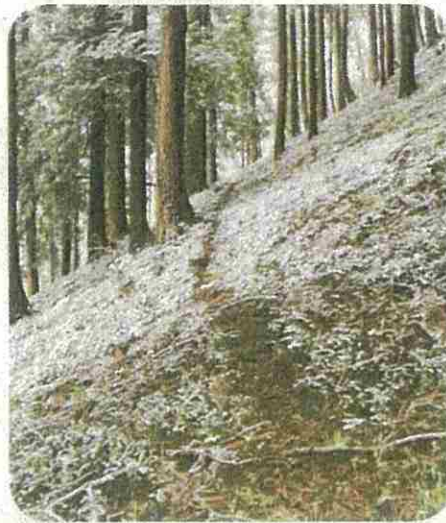
## 2. 足跡以外のサイン



### ケモノ道

野生動物が頻繁に通る道のことで、やぶの中に踏み固められた道が続いている。ケモノ道は腰をかかめ、彼らの目線になって探すのがコツだ。

野生動物は林道や登山道、ハイキングコースも利用するので、道脇を探索すると、ケモノ道が見つかる。



降雪直後のケモノ道

### ぬた場

イノシシやシカなどが泥浴びをした場所のこと。水の湧き出た湿地や休耕田などで見つかることが多い。

イノシシのぬた場は体についた寄生虫を除去するためであり、ダニが落ちているので、近づかないほうが無難だ。

シカの場合、初秋の繁殖期に多く見られる。これはハレム (p.142) をつくれなかった「はぐれオス」が、角でがんがん土を掘り返し、自分のオシッコを混ぜて泥場にして、その中で「ぬた打つ」のだ。



イノシシのぬた場



ねぐら



巣

地面に掘られた穴、樹洞、岩の割れ目などさまざまだ。

動物はいくつかの休み場をもち、それを順番に渡り歩きながら利用することもあり、そういう場所を「ねぐら」と呼ぶ。

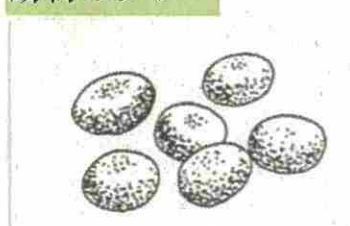
巣とは、基本的に「繁殖・子育て」をする場所で、ねぐらや休み場とは構造的に違っていたり、見つけにくい場所にある。



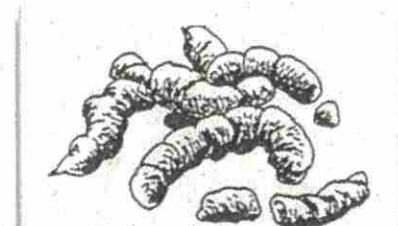
横長のアナグマ (左) と、縦長のキツネ (右) の巣穴。出入り口は体形に似る



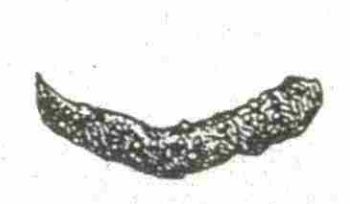
### 動物のフン



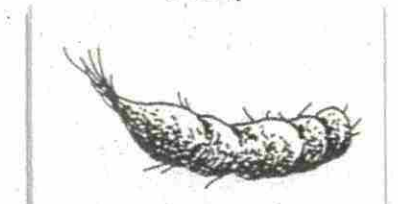
ノウサギ



タヌキ



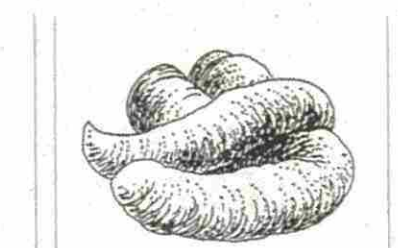
テン



キツネ



カモシカ



クマ



# 食痕

動物食の動物の場合、食痕そのものが残りにくく、また、残っていても食痕からだけでは、持ち主の特定が難しい場合が多い。それに比べて植物食の動物は、種の特定に

つながる特徴的な食痕がいくつかある。

また、残された食痕から植物の種類や部位がわかると、持ち主の重要な手がかりになる。

## オニグルミの果実（堅果）の食痕

主に山地の水辺に生えるオニグルミの果実は、多くの動物が採食する。特徴的な食痕を残すので、持ち主を特定しやすい。



ニホンリス (p.108)。殻が2つに別れ、合わせ目沿いには溝状の齧り痕が残る



アカネズミ (p.132)。両側に2つのほぼ丸い穴が空けられている



イノシシ (p.78)。かみ砕かれ、殻が破片と化している



ドブネズミ (p.140)。先端から齧り穴が空けられる



カモシカ、シカは引きちぎったような跡

## 植物の葉や茎、枝の食痕

ネズミ類、リス類、ウサギ類は、鋭い上下の門歯（切歯）でかみ切るため、切り口はすどい

ヌートリア (p.44)



ノウサギ (p.104)



ムササビ



ムササビ (p.116) の木の葉の食痕は、葉を2つ折り、4つ折りにして食べた場合、V字状や穴状に欠ける独特の食痕となる



シカ



カモシカ

シカ (p.84)、カモシカ (p.90) は上顎に門歯がなく、下の門歯と上の歯茎で挟んで引きちぎる食べ方となる。そのため切り口はきれいな直線とはならず、繊維が残りやすい

ウサギは刃物で切ったような綺麗な切口

## まつぼっくり（球果）の「エビフライ形」食痕

鱗片を剥がしながら種子を食べるので、軸が残りエビフライ形になる。ニホンリスのものが有名だが、台湾リス (p.114)、ムササビ、クマネズミ (p.138) も似たような食痕を残す。



ニホンリス



ムササビ



カモシカ、ニホンジカの食痕はDNA鑑定しないと区別ができません

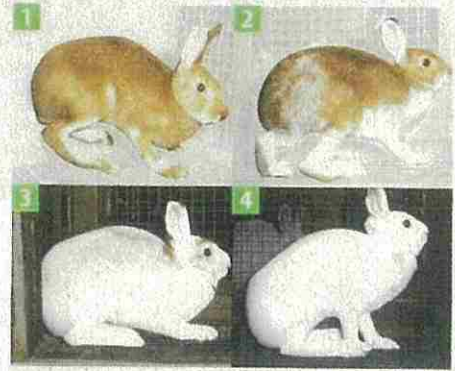


# ノウサギ

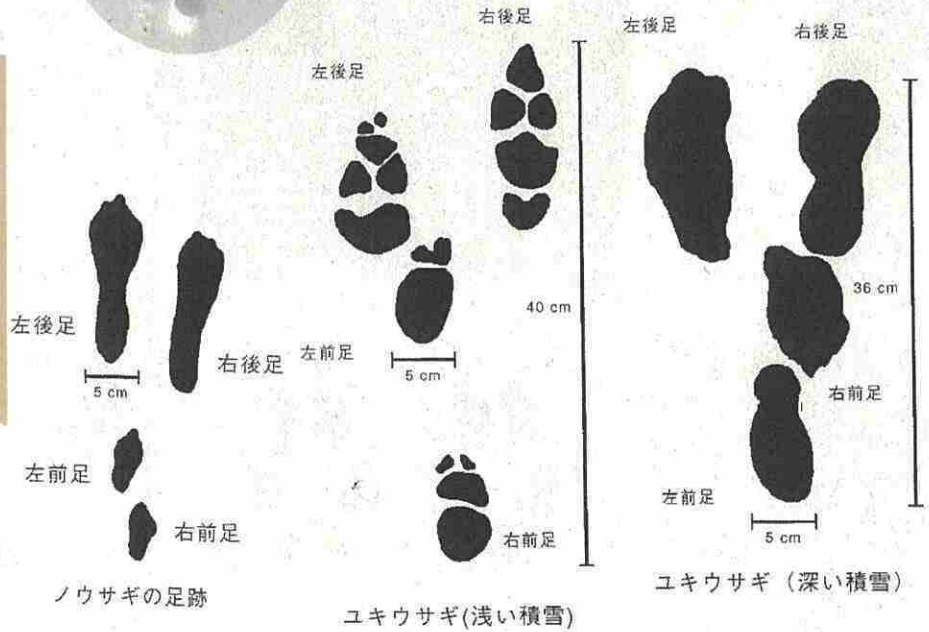


## ノウサギの毛換わり

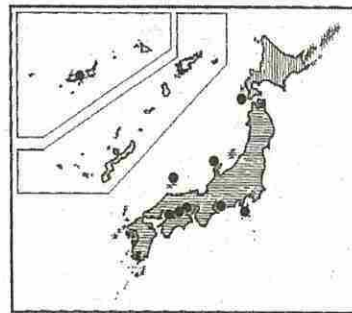
北海道にすむエゾユキウサギと、東北から日本海側に分布するトウホクノウサギは、冬になると隠蔽色として白い毛に換わる。西日本にすんでいるノウサギでも、雪の多い地方では換毛するものがある。



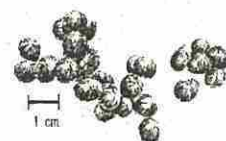
1～4の順に、夏毛から冬毛へ換わるトウホクノウサギ



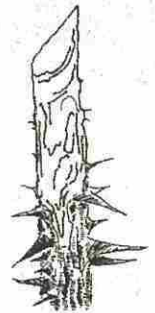
ノウサギの右後足の裏



■ ノウサギ    ▨ ユキウサギ    ● アノウサギ



ノウサギの糞



ノウサギの食痕



# キツネ



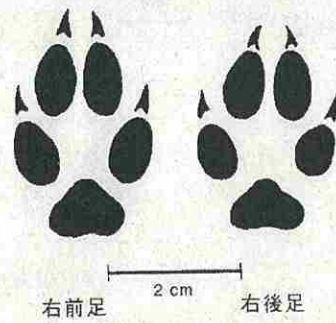
足跡図



泥上の前後足のプリント。上が右前足、下が右後ろ足。前足のほうが指が開く



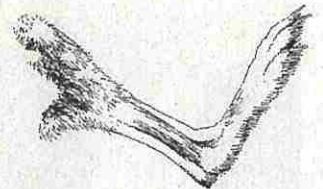
ハンター歩き  
前足と後足を重ねます



45-60 cm



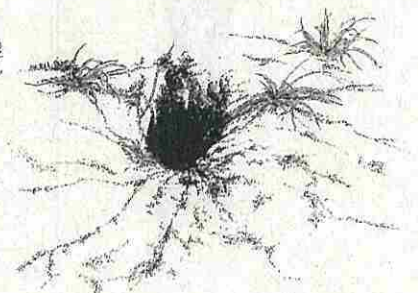
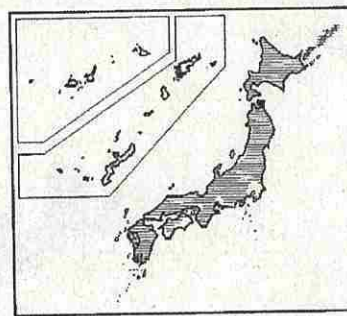
前足の足跡は後足の足跡によって隠されてしまう



食べ残し (ノウサギ)



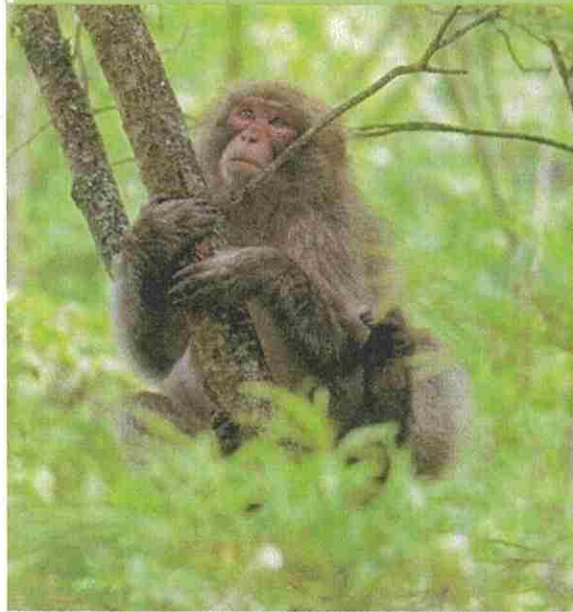
キツネの糞



巣穴



# ニホンサル



▲右後ろ足。5本指で、対向する第1指は大きく長い。人間とはかなり異なる。後足長13.5~17.2cm



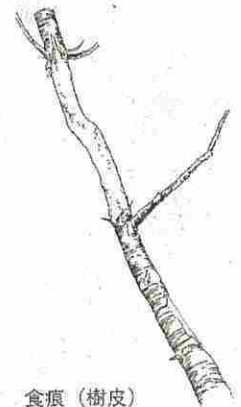
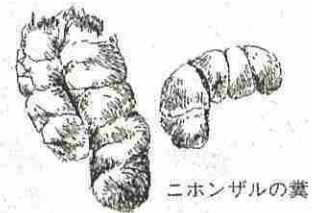
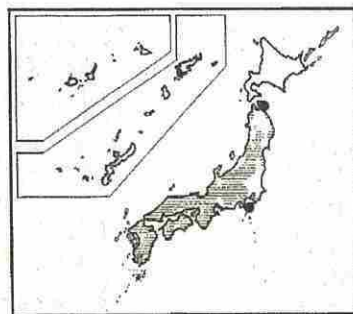
*uscata* <足跡データ p.97>



右前足の裏



右後足の裏





# ツキノワグマ



小熊

母熊

母熊はこのあとセンサーカメラを調べました

クマハギ被害 朝日町スギ  
食料の少ない6-8月に発生



樹皮を剥いで、樹液をなめま  
す。幹に歯形がつきます



被害を受けると赤くなり枯れ  
ます

令和2年9月 小国町の親子クマ 人家から200mの山林



くまだなクマ棚 実を取った枝を重ねて出来ます



60-90 cm



前足の爪。前後足とも5本指で、長くて鋭い爪をもつ

右後ろ足。人間の足裏とは逆の流れになる



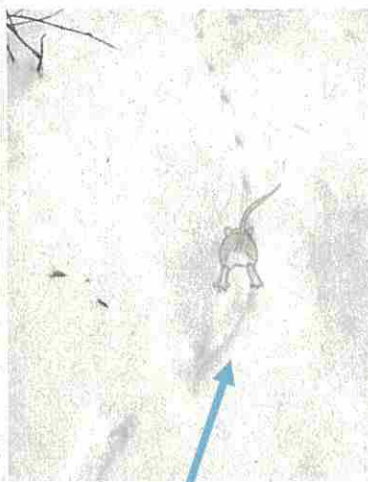
ツキノワグマの糞



ブナについた爪痕



# アカネズミ



×1.0

▶ 右前足。前足の指の数は4本



×1.0

▶ 後右後ろ足。後ろ足は5本指。後足長22~28mm

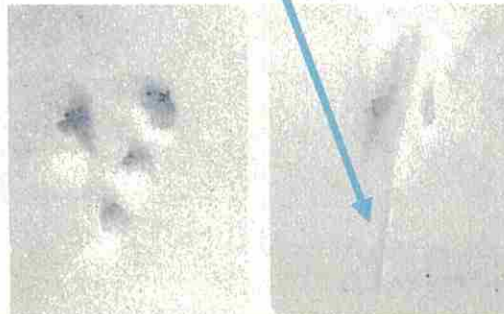


×1.0

アカネズミが食べたオニグルミの実

一両方から穴を空けます

しっぽあと 尻尾の跡がつきます



ネズミやリスはドングリなどの木の実を集めて蓄え<sup>たくわ</sup>ますが、食べるのを忘れてしまい、そこから芽<sup>め</sup>がでて幼<sup>ようびょう</sup>苗<sup>めい</sup>になることがあります。重<sup>しゅし</sup>い種子<sup>たね</sup>を作る樹木<sup>じゆ</sup>にとって、分<sup>ぶん</sup>布<sup>ぷ</sup>を広<sup>ひろ</sup>げてくれる大<sup>だい</sup>事<sup>じ</sup>な担<sup>に</sup>い<sup>い</sup>手<sup>て</sup>です。

# ニホンリス



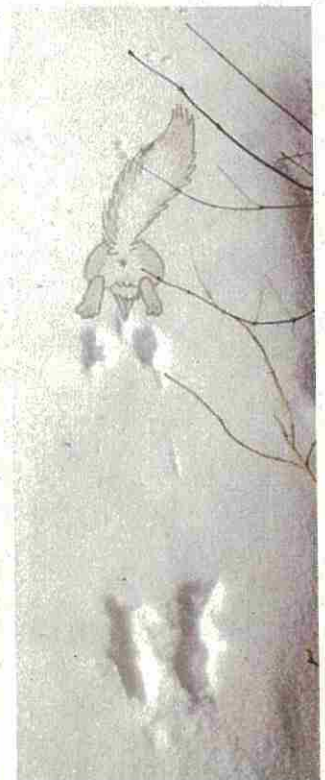
跳躍性・小さい・自立たない



◀ 夏毛は全体が赤茶色で、腹部の白い部分とのエッジがオレンジ色（写真は若い個体）



▲ 冬毛は灰褐色で、耳の先に長いふさ毛がある



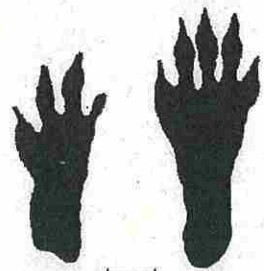


右前足。の指の数は4本。指と爪がとても長い



右後ろ足。5本指。後足長48~58mm

×10



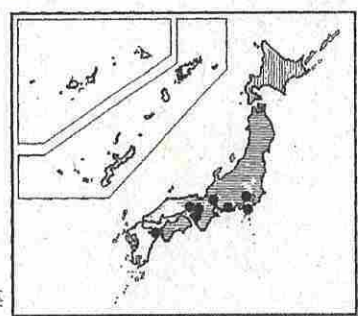
右前足 1cm 右後足



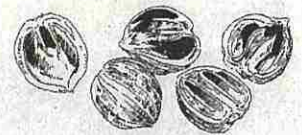
左前足の裏



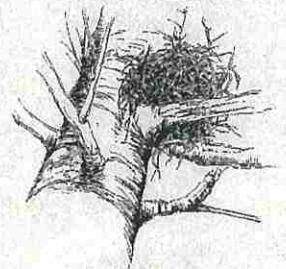
左後足の裏



■ニホンリス ■キタリス ●タイワンリス



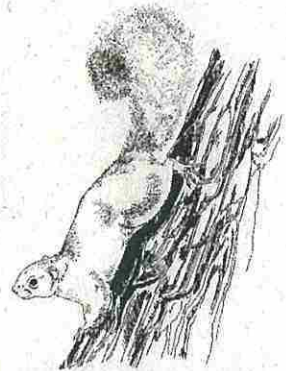
ニホンリスの食痕(クルミ)



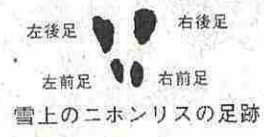
ニホンリスの巣



40-50 cm

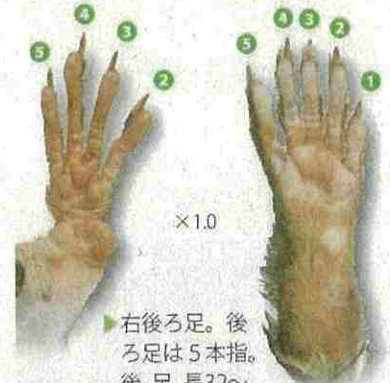


タイワンリス



雪上のニホンリスの足跡

## ニホンモモンガ



右後ろ足。後ろ足は5本指。後足長32~37mm

20~30m 滑空し、地上はあまり

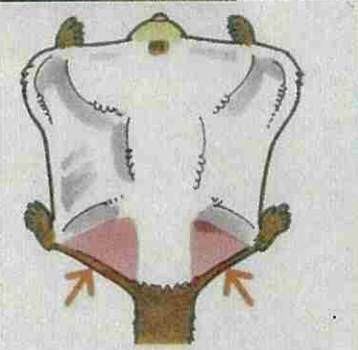
歩きません



スギの樹洞の巣



これはムササビ。体が大きい、目玉が前向き



ムササビの皮膚。モモンガの皮膚は、矢印の赤い部分がない



ムササビの滑空

鳥の巣箱も利用します



# イノシシ



鶴岡市大鳥地区のイノシシ (令和2年6月撮影) じゅうらい 従来よりも おくち 奥地で はっけん 発見されました

●ニホンイノシシ  
●リュウキュウイノシシ

副蹄の位置が地面に近い(右前足)  
▼泥場に残されたプリント。副蹄の跡がよくわかる

右前足  
右後足  
左前足  
左後足  
右前足  
右後足

副蹄

背こすり跡

イノシシの糞

40-80 cm

×0.4

副蹄

▲右前足。副蹄の発達するほうが外側になる

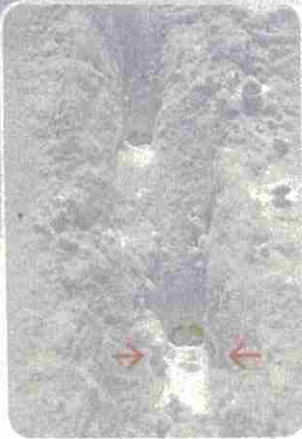
▲右後ろ足

りょうし  
猟師さんの話では、大人のイノシシが付けた道の子イノシシが通るので、多少雪が深くても平気だそうです。



▲深雪の歩行パターン。シカやカモシカと比べて足が短いので、腹がすれてトレチ状になっている。

▶開いた副蹄の跡が残る(矢印)



ぶたねつ \*豚熱 (CSF) は ようとんじょう 養豚場の豚を死滅させる ぶた しめつ ウィルス性の かんせんしょう 感染症です。野生イノシシも やせい 感染し かくだい 拡大させることが心配され しんぱい 監視体制が取られています。野生イノシシ かんしたせい の死体を発見した場合は、したい 触らずに はっけん 管轄の さわ 総合支庁に かんかつ 連絡して そうごうしちょう ください。

れんらく 連絡してください。



# ニホンジカ

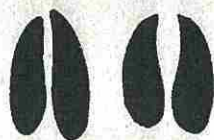
山形県でも目撃事例が急増しています。



シカは植物質のものなら何でも食べるので、  
森林を枯らしたり、農作物に被害をもたらしま  
す。急激に数が増えないように、個体数の管理が



右前足  
右後足



右前足 5 cm 右後足

が必要です。

山形県では

目撃情報を

収集してい

ますので、

各総合支庁

環境課に知ら

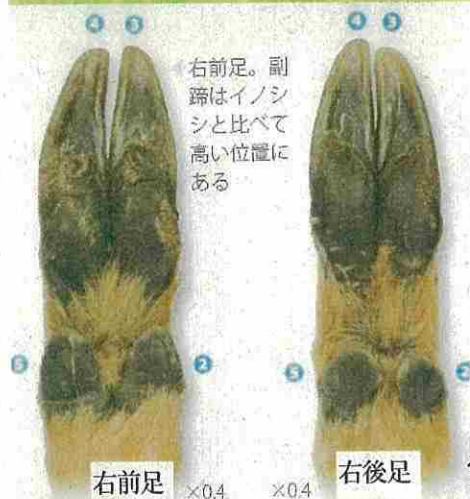
せてください。



左前足  
左後足

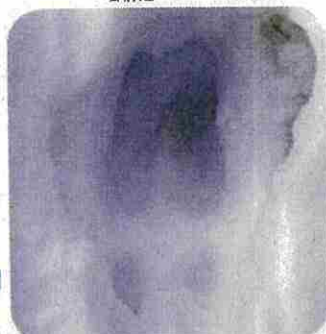
80-100 cm

右前足  
右後足



右前足。副蹄はイノシシと比べて高い位置にある

右前足 ×0.4 ×0.4 右後足



雪が深いと副蹄がつきます



雪面に残る歩行パターン



に残るパターン



樹皮を剥いで枯らしてしまいます。



浅い砂地のプリント。副蹄は残らない



深い砂地のプリント。副蹄の跡が残る



草も食べ尽くし土が流れやすくなります



**食痕**

シカは上顎に前歯がない。前歯があるのは下顎だけで、上顎には歯の代わりに板歯と呼ばれる硬い歯茎がある。いわば下顎が包丁なら、板歯はまな板の役目だ。そのため、

草や小枝を食いちぎった食痕は、ノウサギ(p.104)のようなスパツときれいに切った跡ではなく、食痕の一部に繊維が残ることが多い。試しに下の歯と上唇だけで、セロリをかみ切ってみるとわかる。



ササ類の食痕。スパツとした切り口にならず、一部繊維が長く残る ×0.4

×0.4

留りとられたウリハダカエデの樹皮の欠片

ウリカエデの冬芽の食痕。食べ物の少ない冬季は、樹木の冬芽もメニューに入る



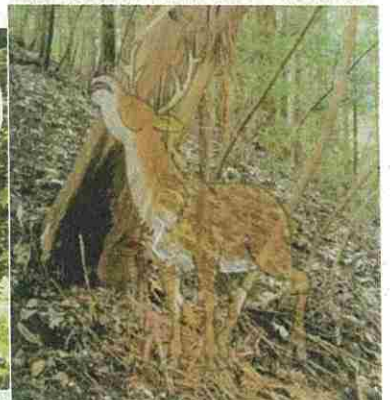
夜間、牧草地で採食する

鶴岡市大鳥地

このシカはミズキが大好きでした



春先の草地に落ちていた立派な角  
落ちたばかりの角は、血がにじんでいる



4~6月にかけて抜け落ちます

ぬた場 転げ回って寄生虫を落とします

角研ぎ中



# カモシカ



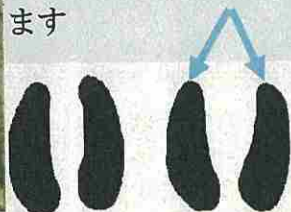
鶴岡市大鳥地区のカモシカ 左 R2.7月撮影 右 R2.11月撮影 毛色が変わっています

オス、メスとも角があり、落ちません



がんかせん ぶっしつ  
眼下腺からにおい物質を  
だし、木にこすりつけま  
す。シカにはありません

きゅうしゃめん  
急斜面を登るため、ニホ  
ンジカよりも大きく開き  
ます



右前足 5 cm 右後足



におい付け中



右前足  
右後足



左前足  
左後足

80 cm



角研ぎしますが、角が短いのでニホンジカより位置が低くなります



鶴岡市大鳥地区 あしあと しょっこん  
足跡と食痕



右前足  
右後足





# テン



上はイタチ です。 下はタヌキ



右前足。前後足とも5本指。第3指と第4指は中央に寄る

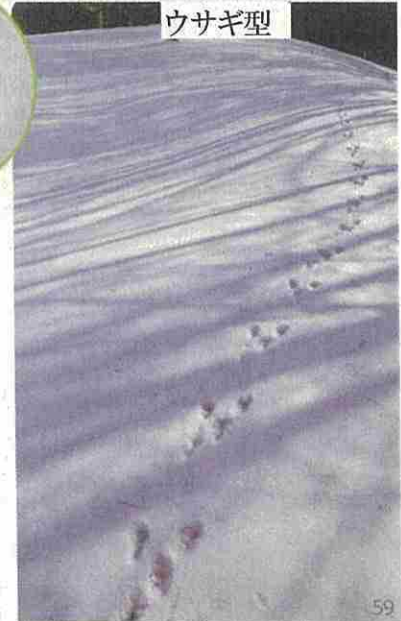
右後足。指は体の内側(第1指側)に流れる

地面の条件や歩くスピードによって歩行パターンが

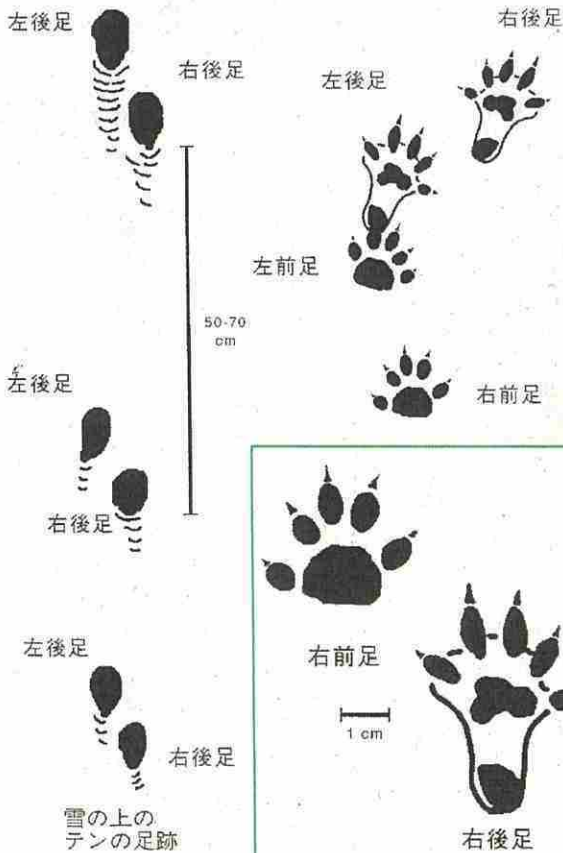
さまざまに変化します

シャクトリムシ型

ウサギ型

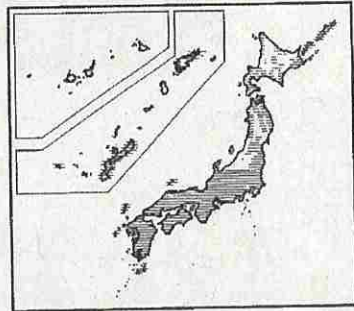


足裏に毛が生えていて4本指に見えがち

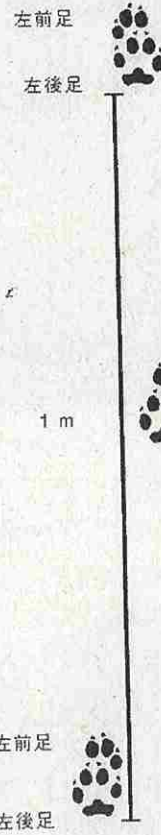




# イヌ

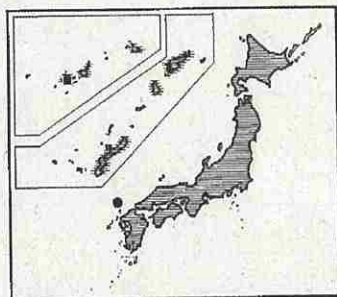


■ ノイヌ



右前の足跡に右後の足跡が重なっている状態

# ネコ



■ ノネコ ● ベンガル ヤマネコ ■ イリオモテ ヤマネコ



・爪のあとがつかない  
 ・蹠球が台形



## 森にはおもしろいものがいっぱい

森は野生動物たちが暮らしている場所です。雪の上に残る足あとは、動きまわった動物たちのものです。歩いたり、走ったり、逃げたり、追いかけたり、立ち止まったり、足あとを追いかけてただけでも楽しく1日が過ぎてしまいます。

## 面白いクマの話

▽クマは冬眠中<sup>どうみん</sup>に子供を出産<sup>しゅっさん</sup>します。そしてエサを取らずに子供をそだてます。

▽子グマは1匹または2匹生まれます。

▽親と一緒に生活するのは産まれてから 18ヶ月です。それ以降は親子別々に生活します。

▽クマの大好きな食べ物は、ハチミツ、ブナの実、ドングリなどです。時には虫の幼虫<sup>ようちゅう</sup>も食べます。

▽冬眠は半冬眠で、起こせば起きて動き出します。

○「ツキノワグマ」に出会わないために……

大きな声を出す、ラジオをつけて歩く、鈴を付けて歩く等、音を出して熊に人の存在を知らせ、熊との事故を未然に防ぐことが私たちの役目です。

## 代表的な森林の哺乳動物

▽ニホンザル(オナガザル科)

青森県<sup>しもきたはんとう</sup>下北半島<sup>ほくげん</sup>を北限として生息しています。下北のニホンザルは、世界で一番北に住むサルとして知られています。特徴は、①数十頭の群れで行動すること。②果物や昆虫、木の芽や葉などを食べますが、リスやネズミのように食糧を保存しないことです。

▽ニホンカモシカ(ウシ科)

2つの蹄を持ちます。草食です。食物を「反すう」する4つの胃があります。特徴は、①「ずんぐり」した体型で、首も足も短めです。メスもオスも短い角を持ちます。②積雪がある比較的高い山の岩場や森に住んでいます。木の幹などにカモシカの眼の下から出る分泌物をつけ



てなわばりを作ります。③なわばりの中で、草や小枝、常緑樹の葉や果実を主に食べます。

#### ▽ノウサギ(ウサギ科)

ノウサギはキツネ、テン、イタチ、イヌワシなどの重要なエサとなっています。かつては人間にとっても重要な食料となっていました。特徴は、①夜行性で夜に活動します。②長い耳で危険をいち早くキャッチします。③保護色として夏の毛は茶色ですが、冬になると毛を白くさせます。

#### ▽モモンガ、ムササビ(リス科)

どちらも夜行性です。ドングリのほかに植物の葉、芽、花、実などを主に食べます。

飛膜を利用し、木と木の間を飛ぶようにして移動します。

天敵はイタチやテン、フクロウなどです。

#### ▽キツネ、タヌキ(イヌ科)、イタチ、テン、オコジョ(イタチ科)

肉食性で夜行性のため、いろんな小動物をエサにします。

高い山に生息するオコジョは、冬は毛を白くして身を守ります。

#### ▽モグラ、ヒミズ(モグラ科)

土の中で生活しています。ミミズや昆虫の幼虫を主に食べています。ほかにもトカゲやカエルなども食べます。

# メープルシロップを作ろう

## メープルシロップって何？

メープルシロップ：サトウカエデの樹液を濃縮した甘味料。

サトウカエデ：カナダを代表する木で国旗にもなっており、  
日本のカエデより大きい。



カナダ国旗

日本に生えているカエデでも樹液をとって、煮詰めるとシロップになるよ。

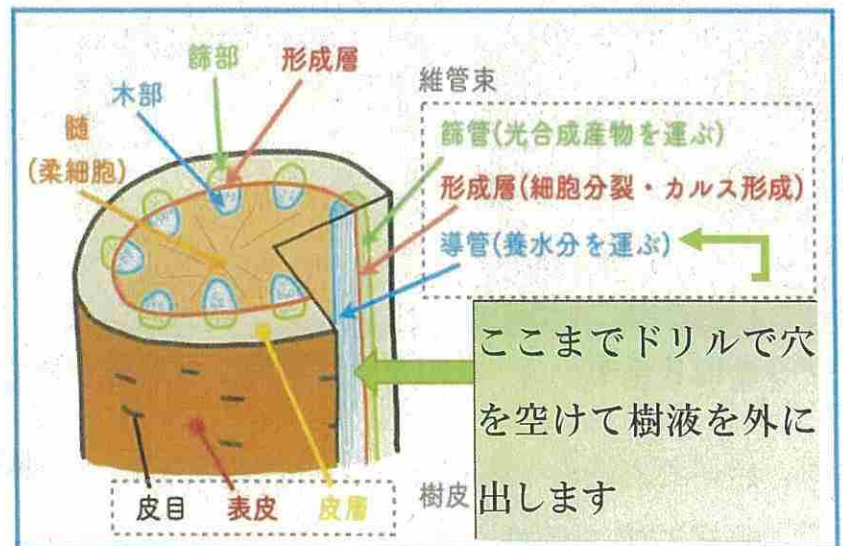
## どんな木から取れるの？

日本に生えている木では、イタヤカエデ、アカイタヤ、オオモミジ、ウリハダカエデ、ヒナウチワカエデから取れるよ。大井沢の木はイタヤカエデだよ。

太さが20cm以上の木を対象に、50cm以上の木は3箇所、これより細い木は2箇所穴を空けて樹液をとります。

## 樹液って何？

木の中には養分を含んだ水が通っていて、この水が樹液になります。サトウカエデだと3%、日本のカエデだと1.5%以下の糖分が含まれています。



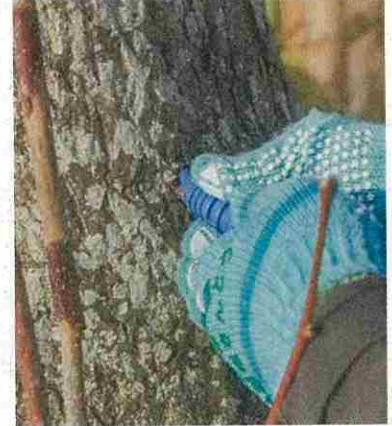
## いつとるの？

気温が昼は7.5~10℃で、夜は-4℃くらいまで下がる時期が最もよくとれるそうです。1年のうち10~20日間くらいしかありません。



# どうやってとるの？

1 ドリルなどで直径1cm程度、深さ3~5cm程度(導管まで届けばいい)の穴をあけます。



2 ホース用のジョイント等を穴に差し込み、ホースと容器をつなぎます。



ジョイントは液が漏れないよう密着させます。  
樹液の量により容器の大きさを変えます。



穴は自然に塞がりま  
すが、雑菌が入らない  
ように薬を塗ると  
安心

樹液を煮詰めてシロップにします ー容積で 1/40 以下まで煮詰めます



アクを取ります



泡が吹く程度まで煮詰めます



シュガーサンドが出来ます



糖度 66%になるとシュ  
ガーサンドが沈殿する  
ので、こうなると完成

シュガーサンド



シュガーサン  
ドはジャリジ  
ヤリするので  
ろ過します



## 大井沢自然博物館

自然博物館は、昭和26年の大井沢小中学校の自然研究が始まりとなり、小中学生と地域が作り上げた手作りの博物館です。

朝日連峰をはじめ大井沢を中心とした貴重な動植物の標本が展示されています。



### 展示コーナー

#### 植物

大井沢博物館や月山・朝日連峰で見られる四季の植物を紹介しています。

#### 哺乳類

大井沢を中心に生息する哺乳類26種のはく製標本を展示しています。ツキノワグマやカモシカのような大型動物からホンドオコジョ、ヤマネのような小動物までそろっています。

#### 魚類

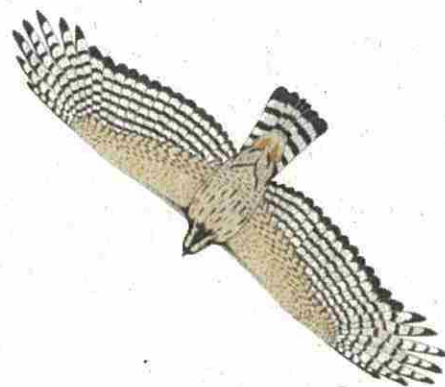
月山・朝日連峰を源とする寒河江川やその上流に位置する大井沢は、昔から豊かな水を育む森が、多くの魚たちの営みを支えてきた上流地域となっています。

大井沢博物館では、寒河江川上流や寒河江ダム(月山湖)に生息する魚類標本や川をテーマとした様々な活動を見ることが出来ます。博物館内には、昭和40年代の石膏法による体長55センチのイワナのはく製が展示されています。

#### 鳥類

大井沢周辺にはミソサザイのような小型の鳥から、ワシやタカなどの大型の鳥まで生息しています。

博物館内には昭和30年代から地域の人々が収集してきた約115種のはく製標本を展示しております。特に猛禽類に関しては、県内トップレベルの充実ぶりで、イヌワシとクマタカの剥製がそろっています。





## 自然と匠の伝承館

自然と匠の伝承館は、農山村の生活文化や伝承技術を伝承する体験型の生涯学習施設です。巧人の工房見学のほか、予約に応じ、メノウ細工、月山和紙、土鈴絵付け、草木染、機織、リース作り、木の実細工、こけし絵付け、あけび蔓細工などが体験できます。

### 月山和紙

出羽三山信仰で賑わった江戸時代より月山和紙づくりが始まりました。明治時代には200戸以上が冬期間の貴重な現金収入源として紙漉を行っていましたが、現在は、僅か数人が月山和紙を引き継いでいます。草花を入れて漉くこともできます。きれいで楽しい作品を作ってみてください。



### 土鈴絵付け

土鈴は、古代より伝わる土を固め焼いて作った鈴で、音色は素朴な音がします。干支を描いてある鈴もご用意しておりますが、自分でオリジナルの絵を描いて楽しむことができます。

### メノウ細工

月山メノウは、ブナの原生林を源とする朝日山麓の根子沢上流で発見されました。土地の人達は昔からこの石を飾り石として床の間や玄関先に飾っていました。特に大井沢は赤褐色をした品質の良いジャスパーがとれます。体験では、地球がつくった石の切断から研磨して自分だけのオリジナルの作品が作れます。



### こけし絵付け

大井沢の木地業は明治32年に、志田五郎八氏が集落の振興のために、秋田県川連より木地職人を招いて始まりました。はめ込み中央胴細菊くずし胴模様の大正時代の復元こけしは“菊麻呂こけし”として親しまれています。個性あふれる「こけし絵付け」にチャレンジしてみたいかがでしょうか。





## 草木染め

紅花・藍・紫根・茜などの植物染料のほとんどが漢方薬です。布を染めるという事は生命力のあふれた植物のエネルギーを布に移し、身を守るという自然とともに生きた先人の知恵だったようです。四季折々の植物により本来の意味を考えながら、健康的で楽しい草木染めの体験です。簡単な絞りから、縫い絞り、板締め絞りなどが体験できます。



## つる細工(あけび・山ブドウ)

山ブドウのつるで編んだ籠は弾力性に富み、色と感触が良く、使えば使うほど艶が出てきます。体験では簡単にできる小作品が作れます。



## リース作り

大井沢周辺の木の実や草花、自家栽培の花やハーブを使ってリースやトピアリーを作っています。大井沢を流れる寒河江川の流木を使ったり、素材を求めて散策するのも楽しみのひとつです。伝承館での体験の他、出張教室もあります。



## 木の実細工・絵手紙

冬の豪雪と吹雪に耐え、春には可憐な花々で山を彩り、秋には実りの時を迎えてたくさんの種子を作ります。そんな木の実たちと会話するように、大小の様々な形・大きさの材料を使って、ブローチやペンダント、キーホルダー、短冊などを作ってみましょう。





# かんじぎトレッキング 散策ルート

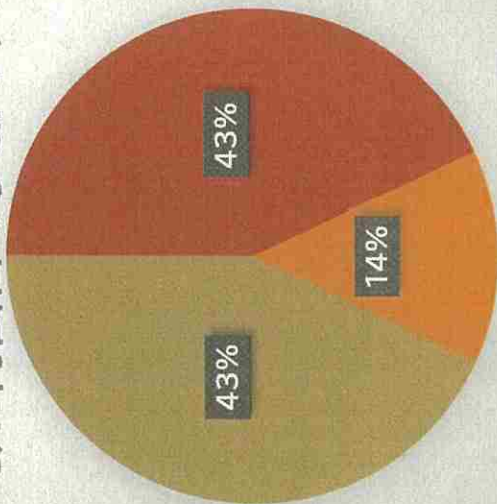
冬芽の観察・アニマルトレッキング





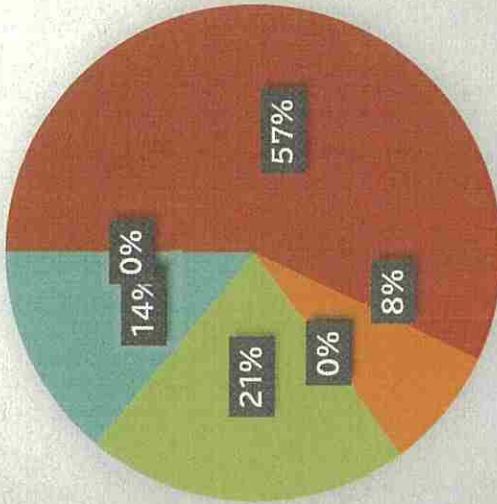
令和2年度 めのうでアクセサリーづくり&かんじきトレッキング

Q1.何回目の参加ですか？



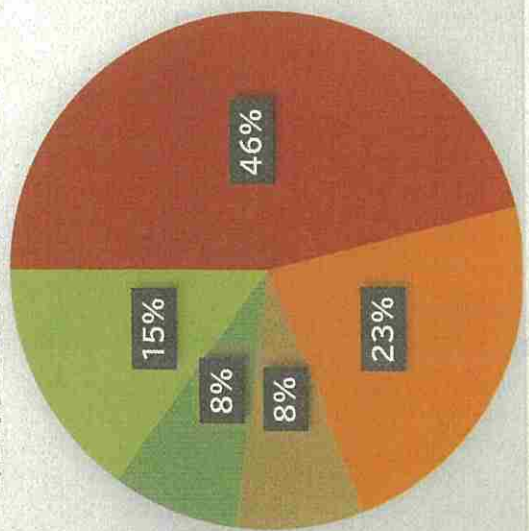
- 1:初めて
- 2:2回目
- 3:3回目以上

Q2.今回の自然塾をどのようにしてしましたか？



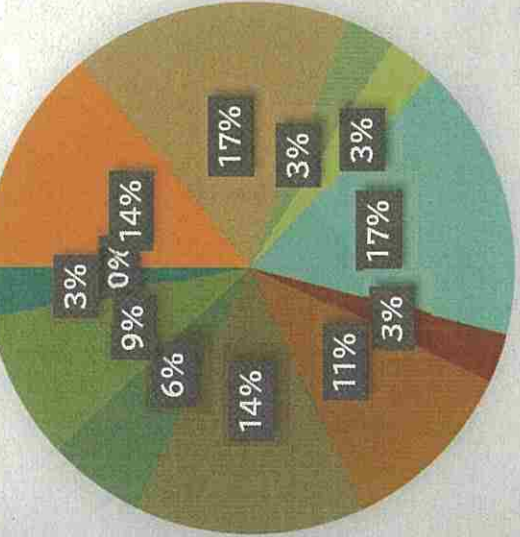
- 1. 学校からの配布物
- 2. 新聞やチラシ
- 3. 当センターのホームページ
- 4. 自然の家や道の駅でのチラシ
- 5. 家族、友人、知人等の紹介
- 6. 当センターからのDM
- 7. その他

Q3.何を楽しみに来ましたか？



- 1. めのうでアクセサリーづくり
- 2. かんじきトレッキング
- 3. そりすべり
- 4. 昆虫の話
- 5. その他

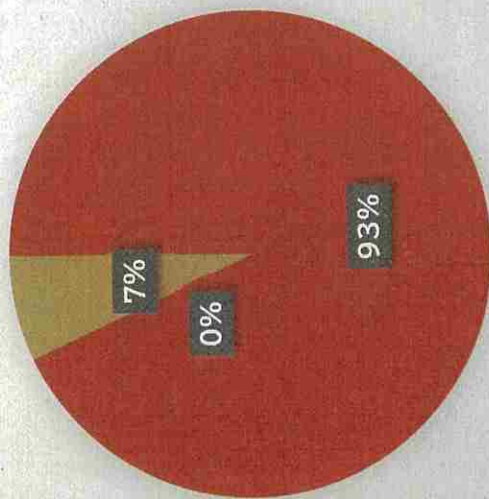
Q4.どうして来たくなくなりました？



- 1. 興味がないから
- 2. 動物植物観察によって知識を得られるから
- 3. 自然を見て感じて遊びたいから
- 4. 家族や友人と仲を深めたいから
- 5. 非日常の体験をしたいから
- 6. 興味がなかったから
- 7. 一緒に参加した人と自然の良さを共有したいから
- 8. 前に参加して楽しかったから、参加したことが人に勧められたから
- 9. かるごとの自然、近場で野外活動をしたかった子供を遊ばせたいから
- 10. 学校での活動がなかったから
- 11. 専門的な知識やノウハウがあるから
- 12. その他



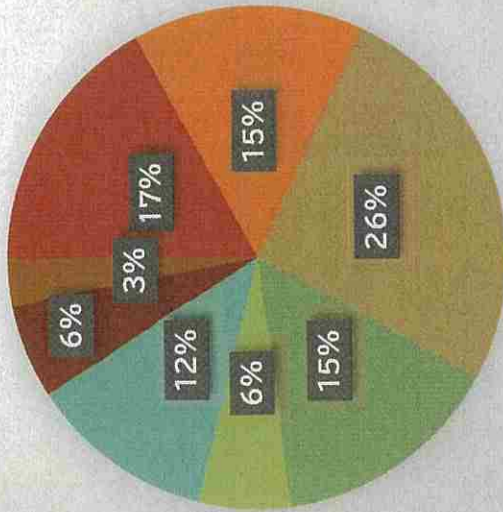
### Q5. また、イベントに参加したいですか？



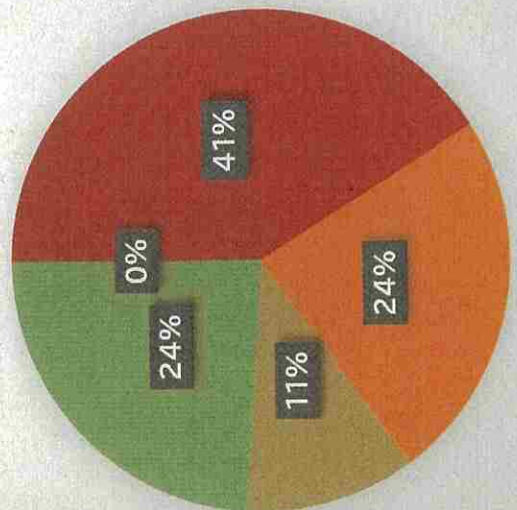
- 1: はい
- 2: いいえ
- 3: 分からない

### Q6. 参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？

- 1. 身近な自然や生き物を大切にしようと思った
- 2. Q3やQ4の期待通りだった
- 3. 生き物のことや環境問題など色々知りたくなった
- 4. 他のイベントにも参加したくなった  
-朝日自然塾の他の活動
- 5. 他のイベントにも参加したくなった  
-自然の中でイベント一般
- 6. 将来(これから)自然を守る活動や仕事をしたくなった
- 7. 今までよりも自然の中に出かけようと思った、子供を遊ばせようと思った
- 8. その他



### Q7. イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください？



- 1. クイズやゲームの要素を入れてほしい
- 2. 料理体験とか食事体験をしたい
- 3. もっと詳しい話を聞きたい
- 4. 生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい
- 5. 違うアトラクションを入れたい



# かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり

令和2年度朝日自然塾(※)を、3月6日(土)に西村山郡西川町大井沢にて、朝日自然塾連絡協議会の西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館の協力を得て開催しました。

当日はやや雲が多いものの、風もなく穏やかな天気のもと、小学生の親子6組14人の参加をいただきました。



トレッキング中に冬芽の説明



途中の斜面でそり遊び

かつての雪国の生活に欠かすことのできなかったかんじきを履いて雪に埋もれた里山をみんなでトレッキング。

途中、講師の説明を聞きながら、春を待つてふくらんだ木々の冬芽を観察したり、キツネやウサギの足跡を見つけながら歩きました。

途中の少し開けた斜面では、スタッフが用意した肥料用のビニール袋を使ったそり遊びで歓声をあげました。

午後からは2班に分かれ、西川町匠の伝承館・大井沢自然博物館において、「めのうでアクセサリーづくり体験」と「昆虫博士によるおもしろい昆虫の話」を楽しみました。

「めのうでアクセサリーづくり体験」は職人さんが一人一人に丁寧に作業方法を教えてくれ、それぞれ思い思いの自分だけのアクセサリーをつくりました。



めのうでアクセサリーづくり





昆虫のおもしろい話に聞き入る

アクセサリーをつくっている間、もう一つの班は昆虫博士による「おもしろい昆虫の話」を聴きました。世界中の珍しいカブトムシやクワガタムシ、それに美しい蝶や蛾を中心としたさまざまな標本に、みんな釘付けになりました。

最後の、生きた昆虫に触れる体験では、歓声を上げる子、おっかなびっくりの子、反応はさまざまでしたが、みんな興味津々の様子でした。

屋外のかんじきトレッキング、屋内のアクセサリーづくりと昆虫の話、1日を遊び尽くし、学び尽くして、少しお疲れの中、閉会式と記念撮影をしてお開きとなりました。

参加いただいた皆さん、講師の皆さん、たいへんお疲れさまでした。ありがとうございました。



参加者全員で記念撮影

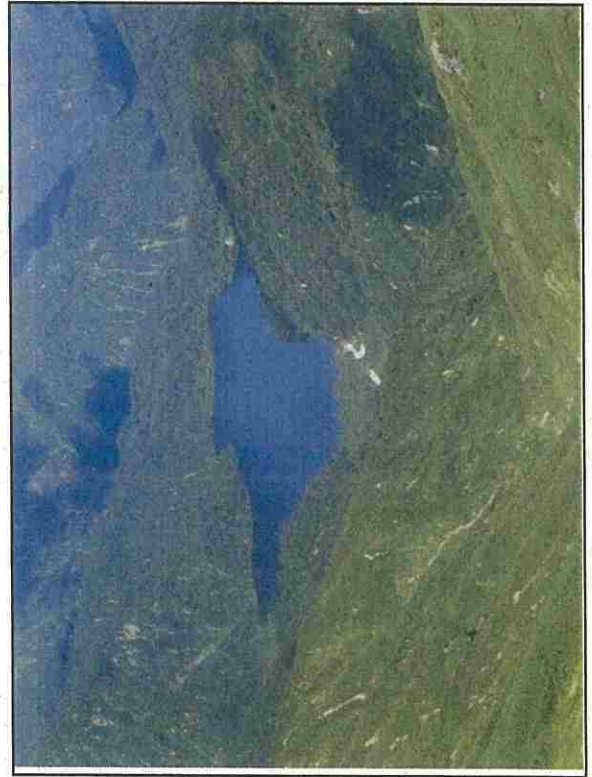
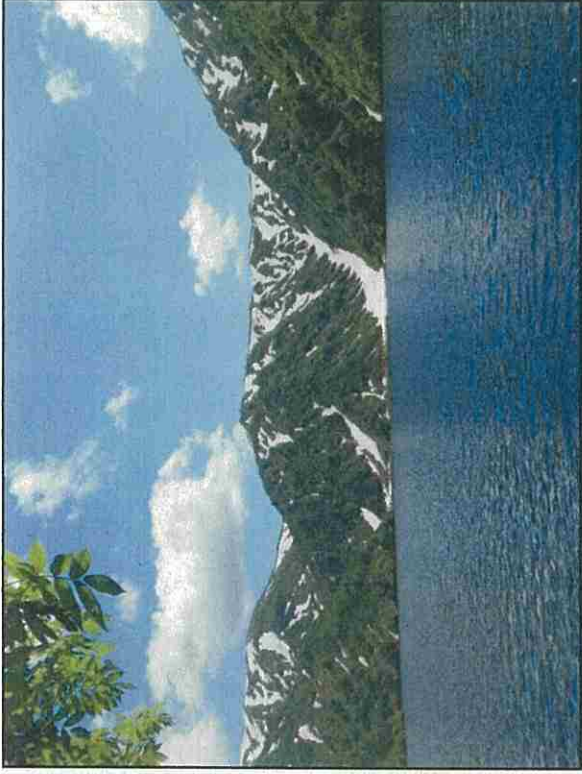
(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局  
朝日庄内森林生態系保全センター



# 朝日自然塾「みんなで歩こう タキタロウへの道」

・朝日庄内森林生態系保全センター  
・自然再生指導官 赤澤 友光



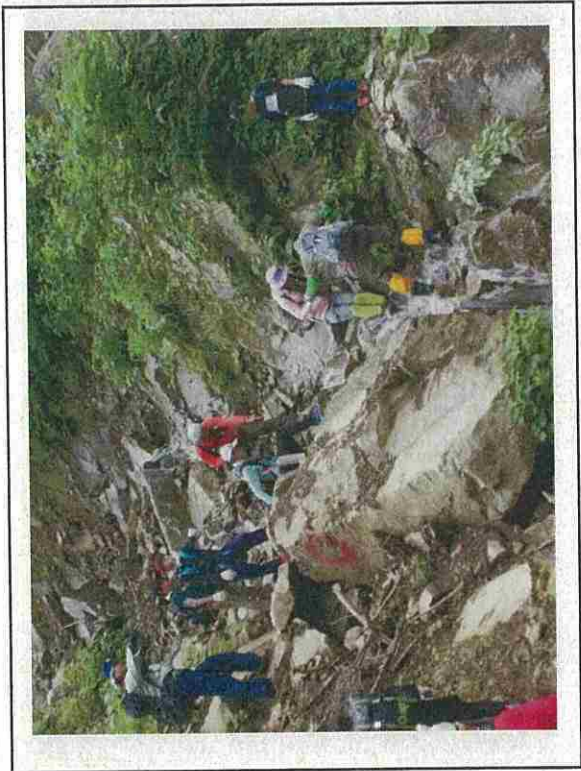
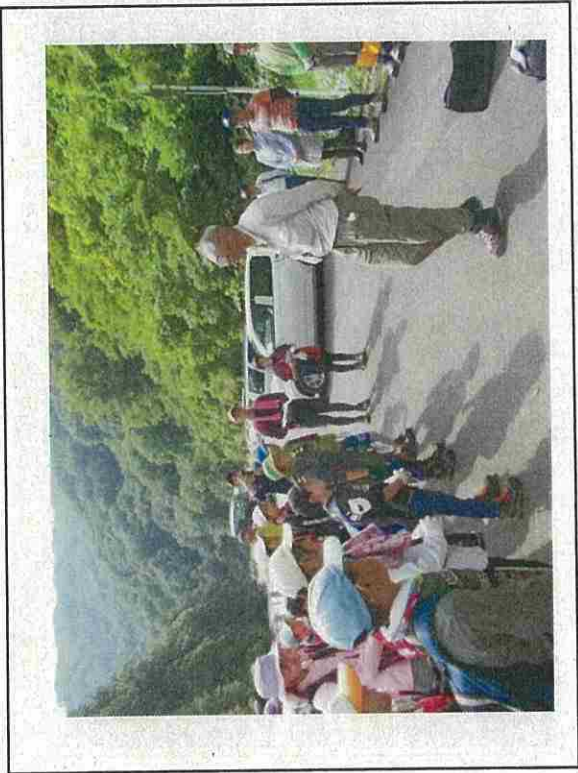
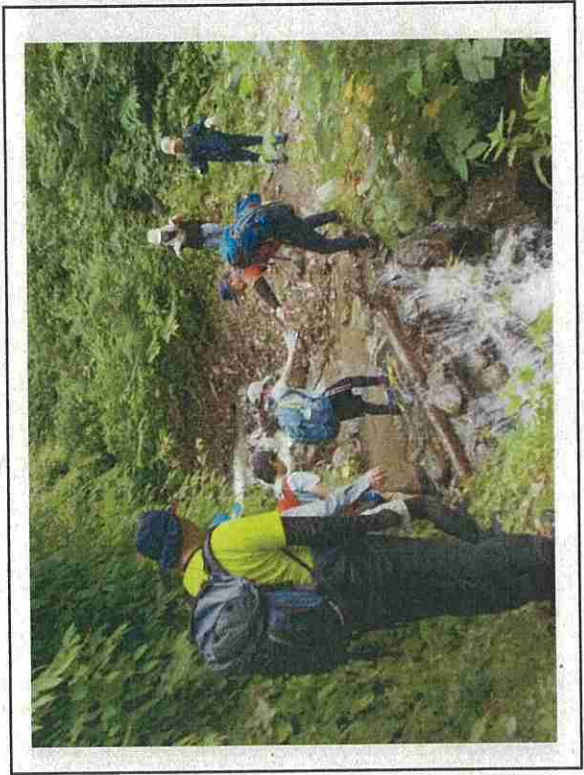
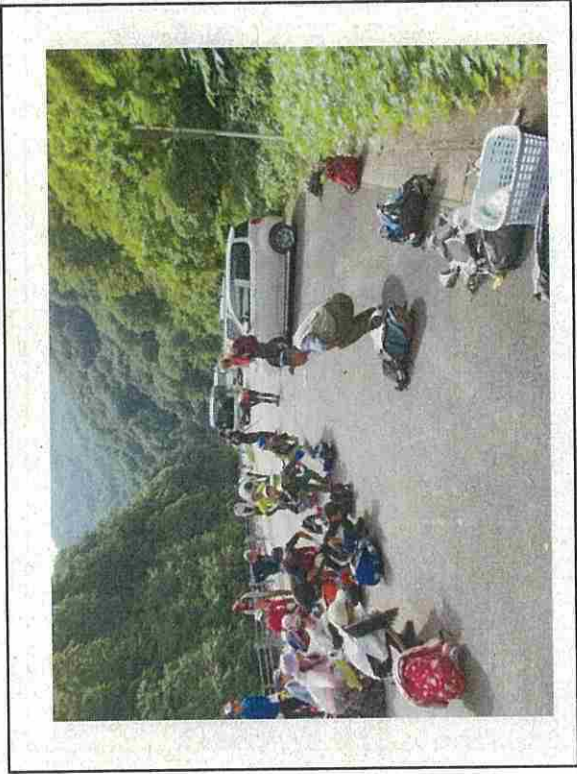
大島池にはタキタロウが棲んでいるという伝説があります。

- 昭和57年7月「以東岳登山」の時、直登コースの尾根から、タキタロウらしい巨大魚が複数目撃され、詳しい調査の未捕獲された謎の生物。

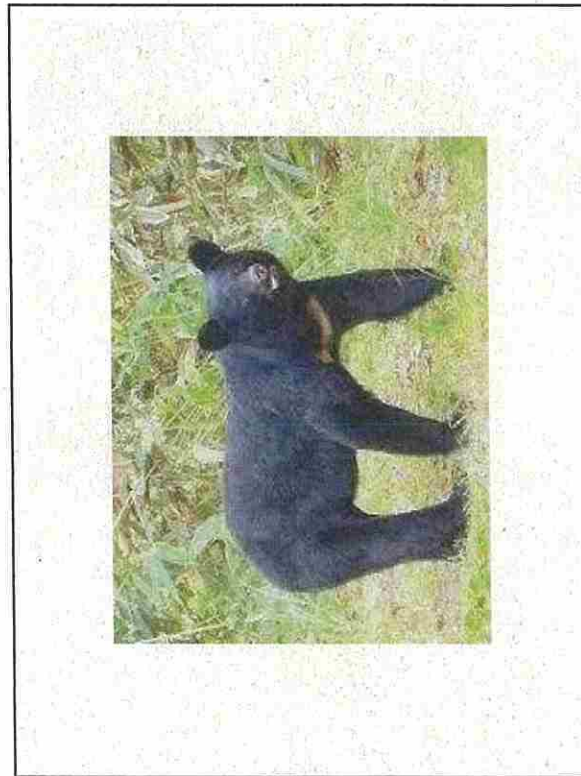
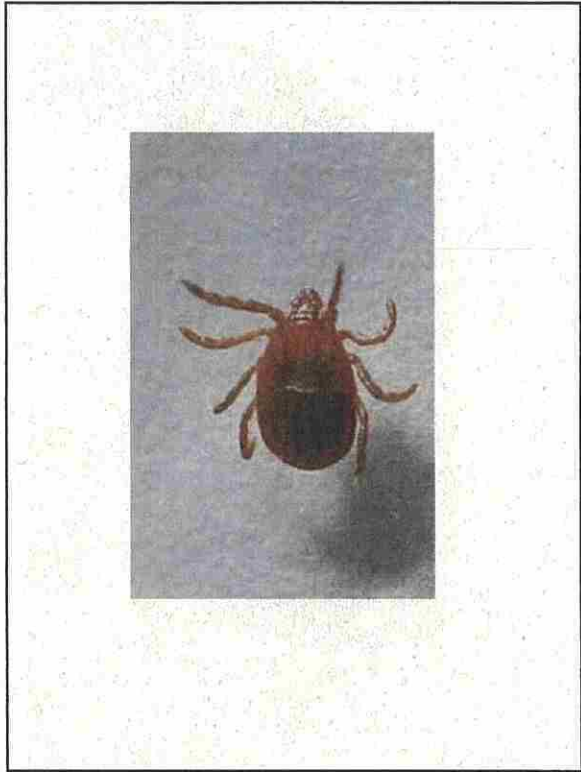
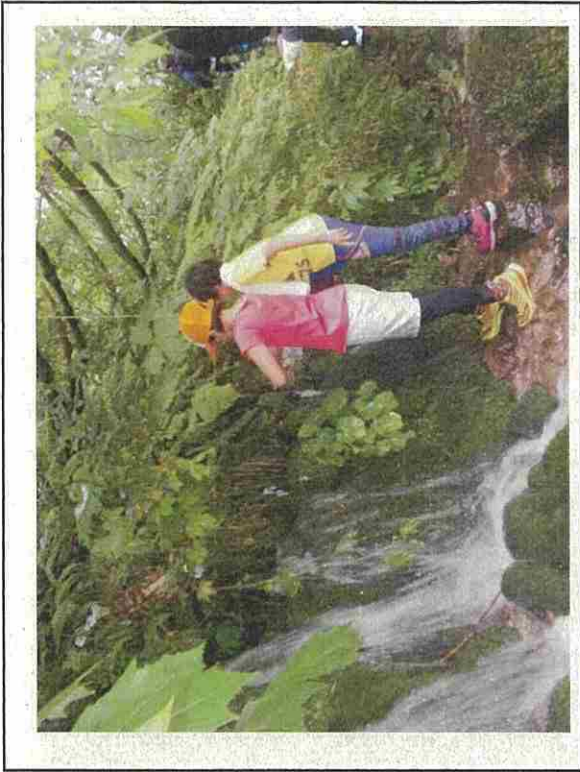


昭和60年に捕獲された謎の生物  
(大島 タキタロウ館)

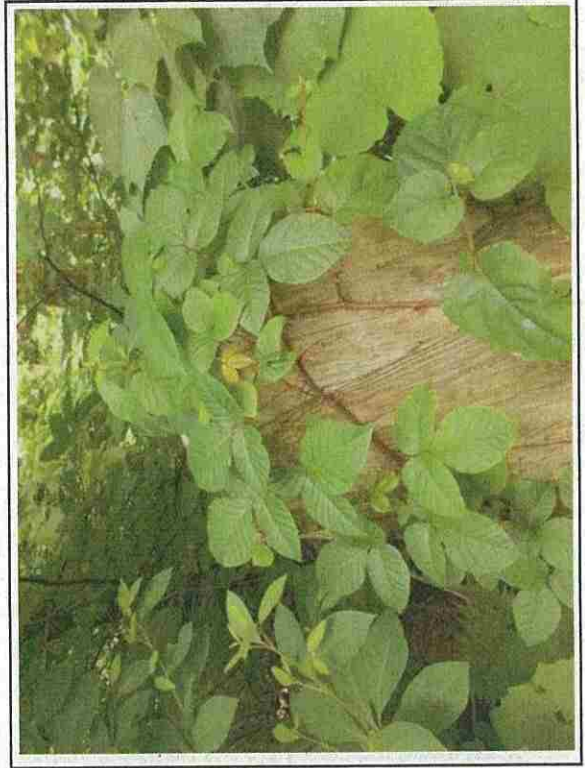
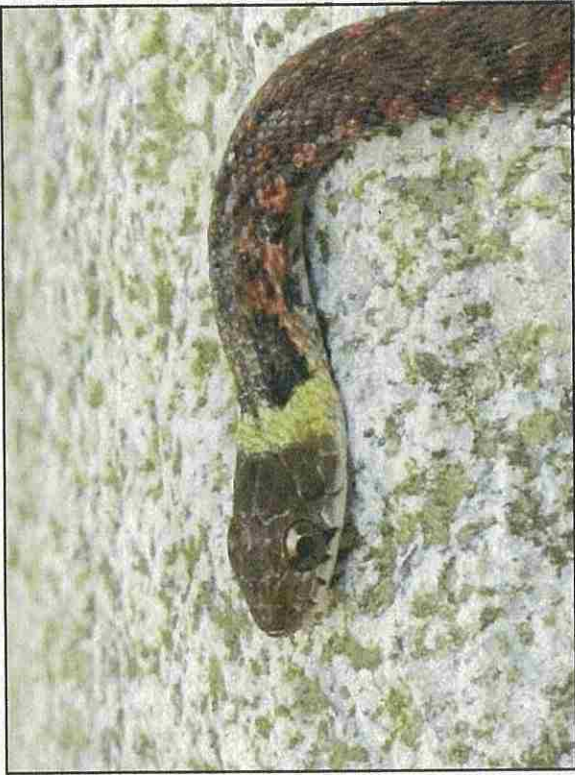




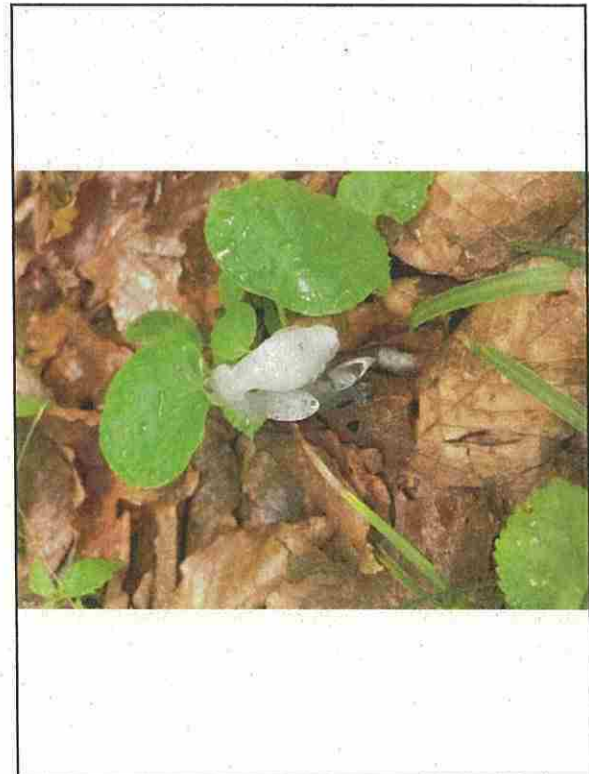
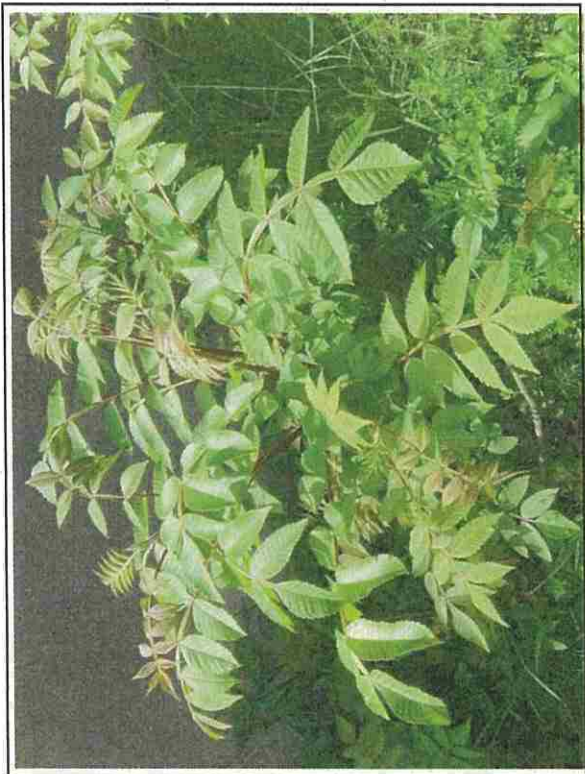
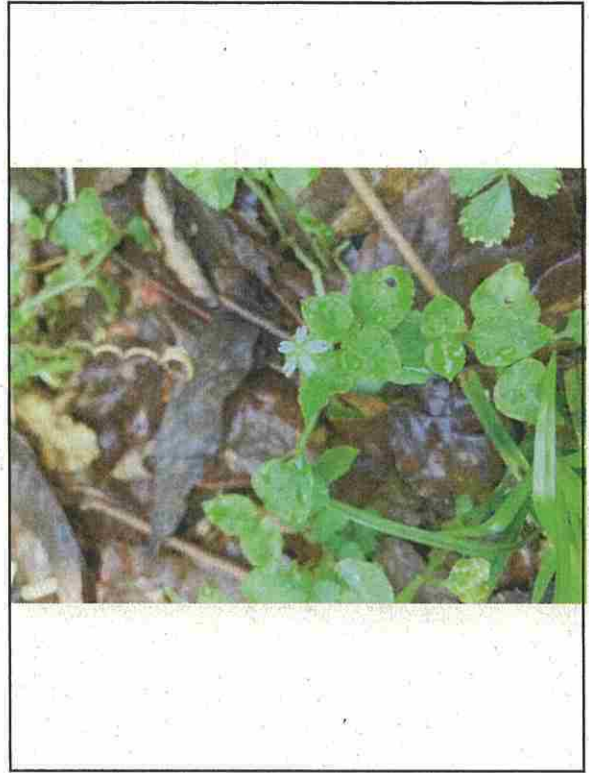




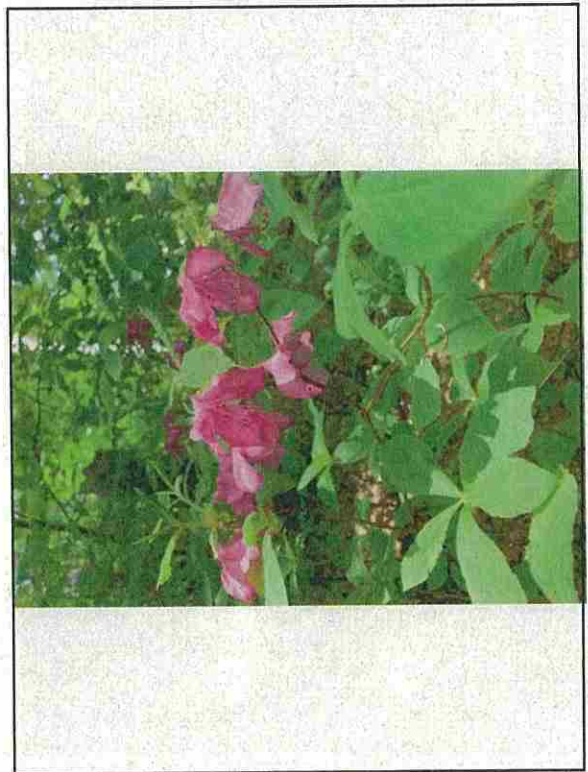
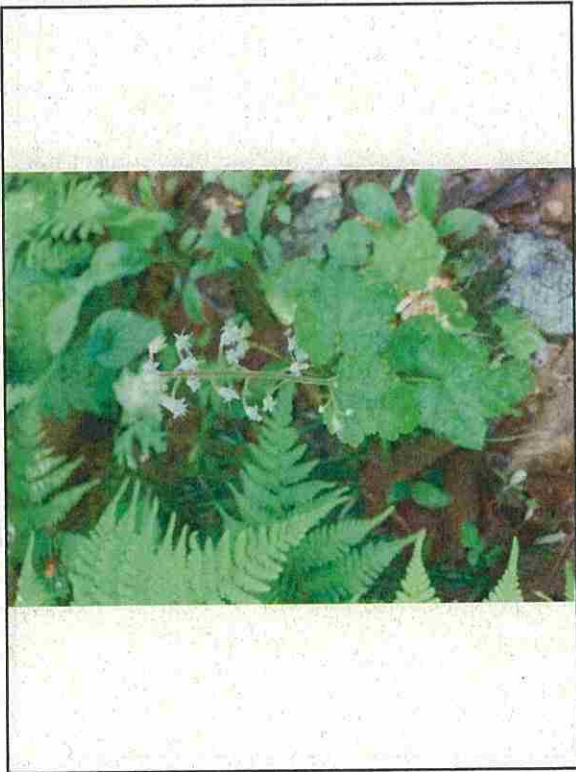
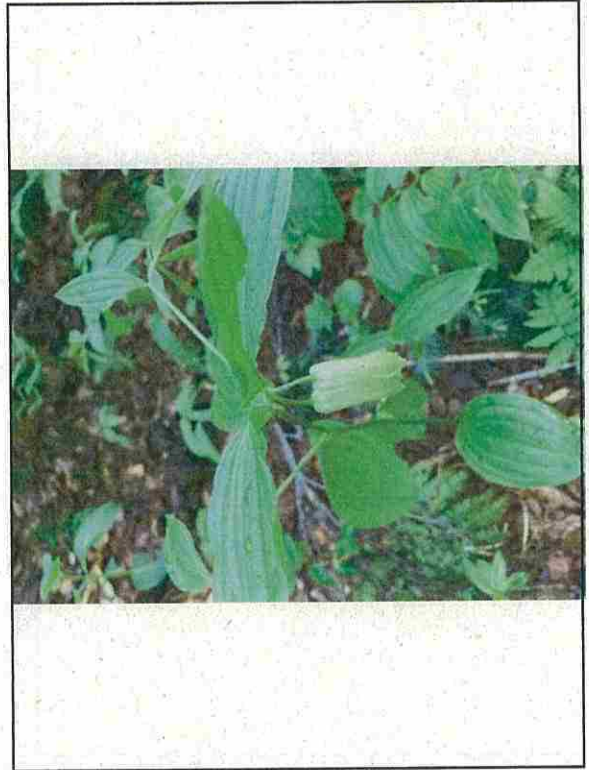
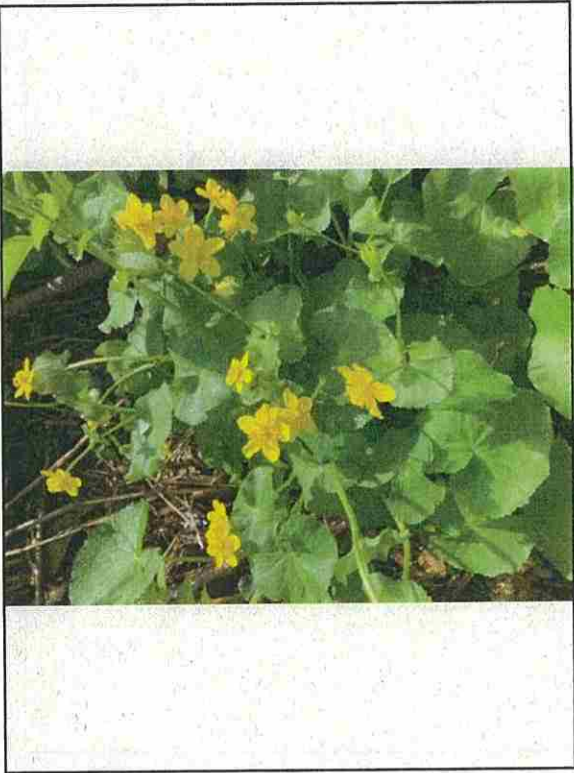




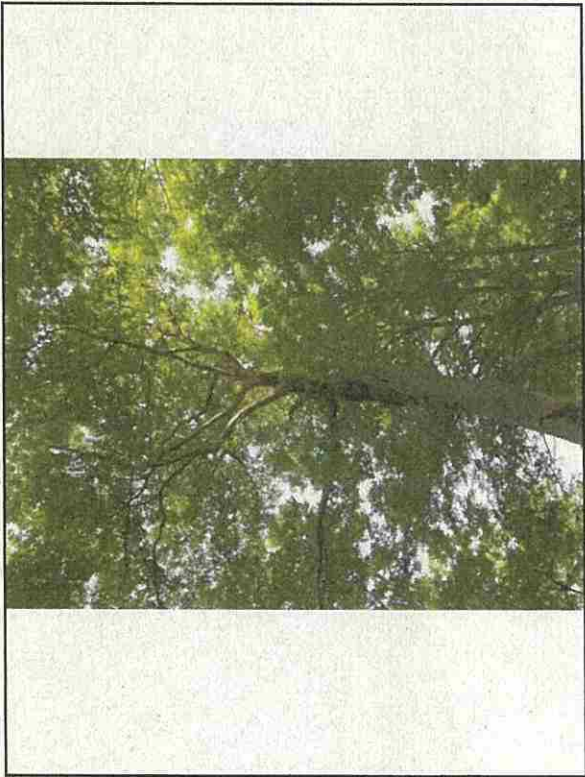








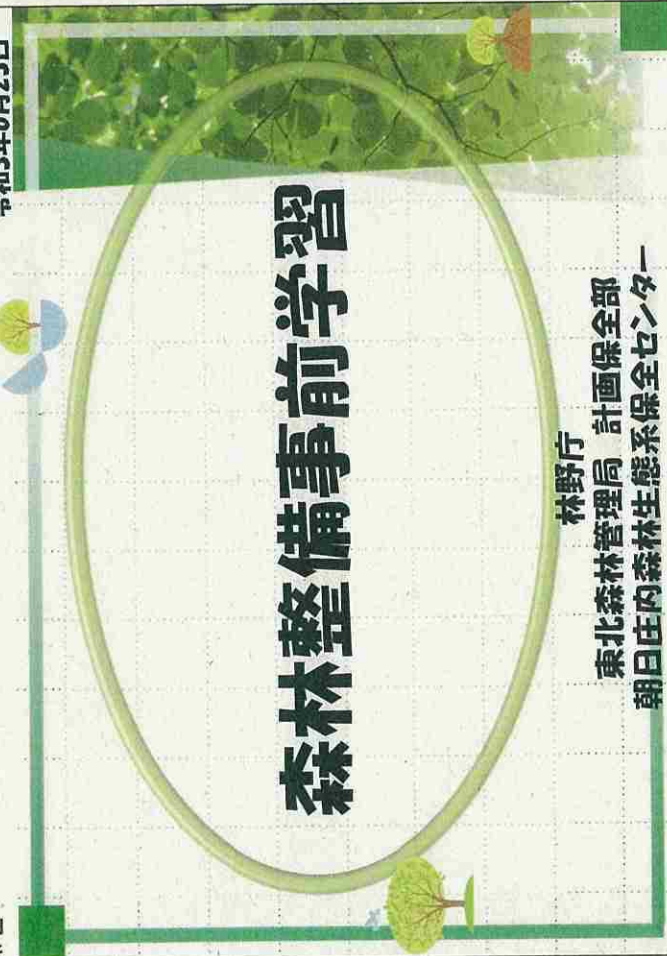






# 森林整備事前学習

林野庁  
東北森林管理局 計画保全部  
朝日庄内森林生態系保全センター



# 目次

森林の分布

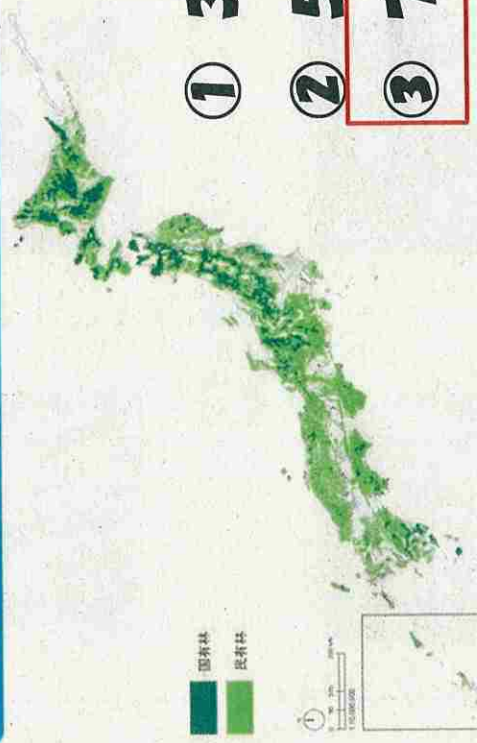
森林の働き

森林の整備

# 森林の分布

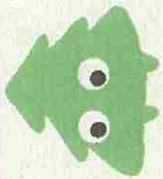


# 日本では陸地の何%が森林なの？





## 山形県内では陸地の何%が森林なの？



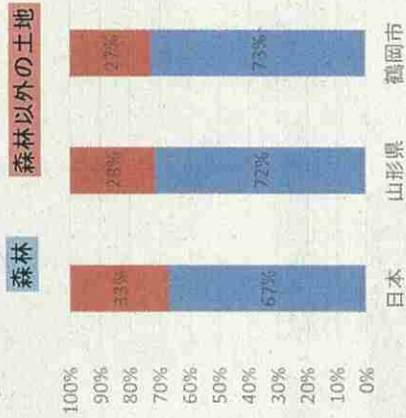
① 30%

② 50%

③ 70%

## 森林率

森林率:土地の面積の内森林の面積が占める割合  
日本は世界有数の森林国です



森林率上位10か国(2015)

順位	国名	森林率 (%)	森林面積 (千ha)
1	フィンランド	73.1	22,218
2	日本	68.5	24,958
3	スウェーデン	68.4	28,073
4	韓国	63.7	6,184
5	スロベニア	62.0	1,248
6	エストニア	52.7	2,232
7	オーストリア	46.9	3,869
8	スロバキア	40.3	1,940
9	ノルウェー	39.8	12,112
10	ニュージーランド	38.6	10,152

出典:世界森林資源評価書(2015)

## 鶴岡市の木は？

① スト

② サクラ

③ クロマツ



## 森林の働き



## 森林の機能って何？

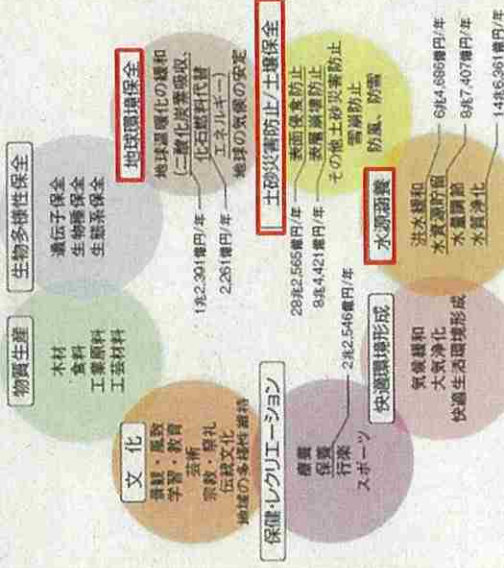
**全部正解！！**

- ① 災害を防ぐ機能
- ② 水源を育む機能
- ③ 温暖化を防ぐ機能



## こんなにもあるよ森林の機能

貨幣評価できる一部の機能だけでも年間 70兆円



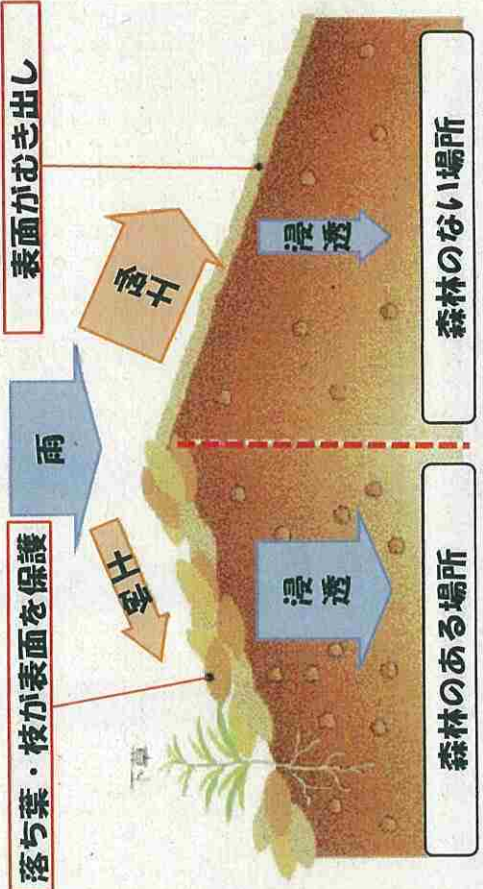
## 1. 災害を防ぐ機能

森林がある場所はない場所に比べて土が...

- ① 流れやすい
- ② 流れにくい

## 1. 災害を防ぐ機能

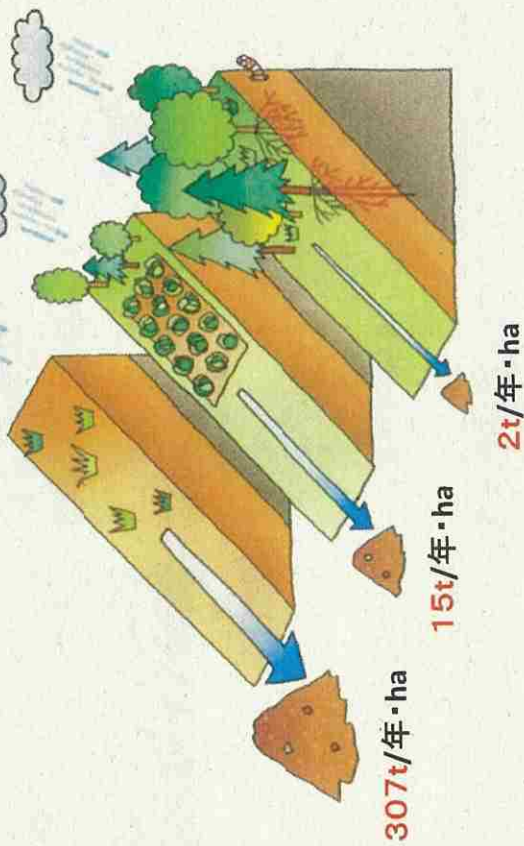
### ② 流れにくい



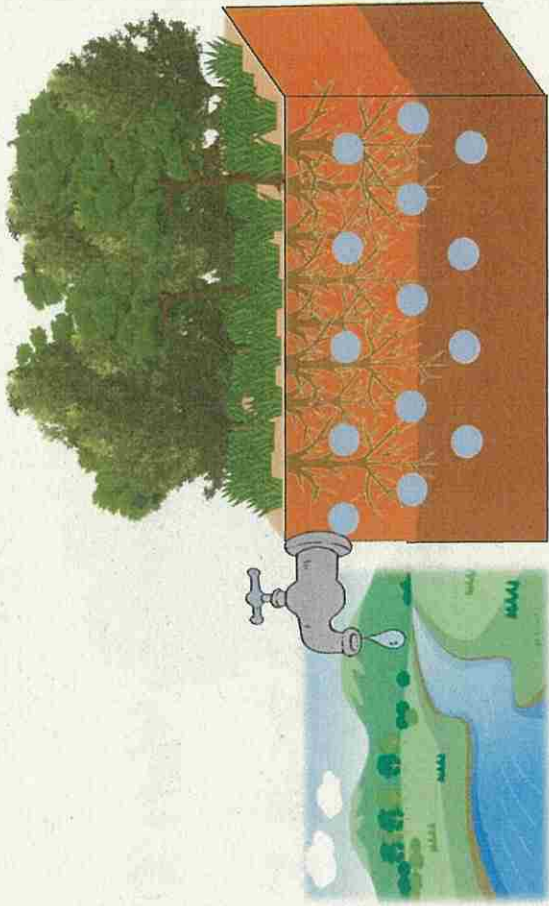


# 1. 災害を防ぐ機能

## ②流れにくい

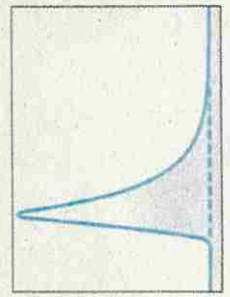
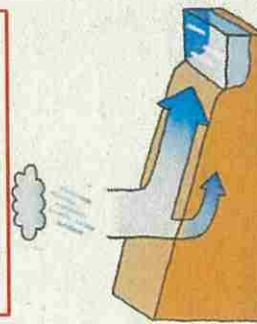


# 2. 水源を育む機能

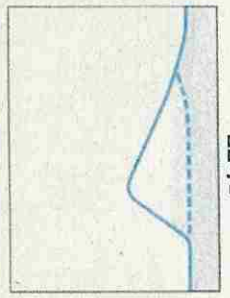
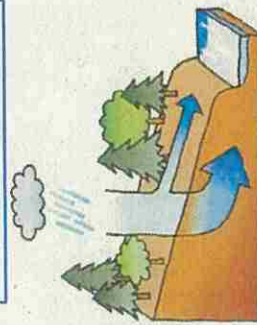


# 2. 水源を育む機能

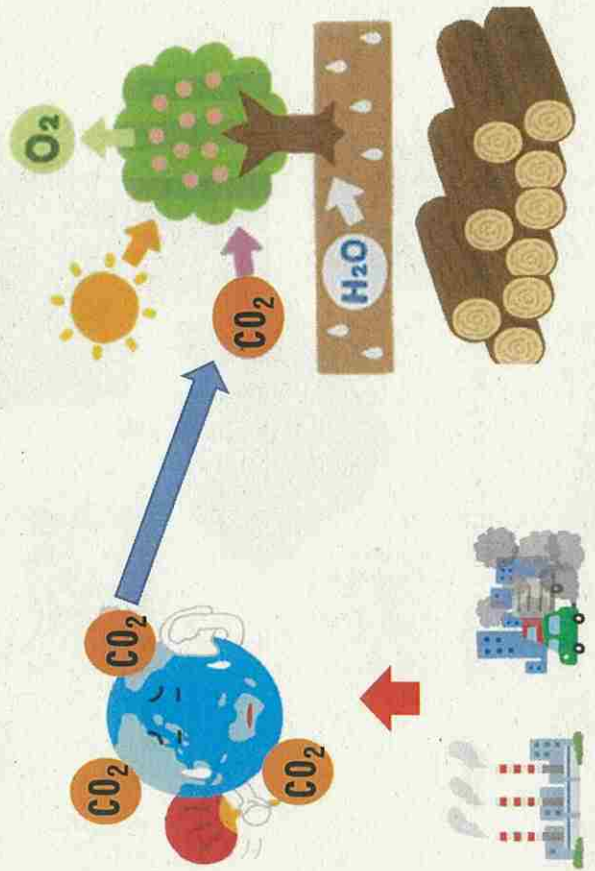
## 森林がない土



## 森林がある土



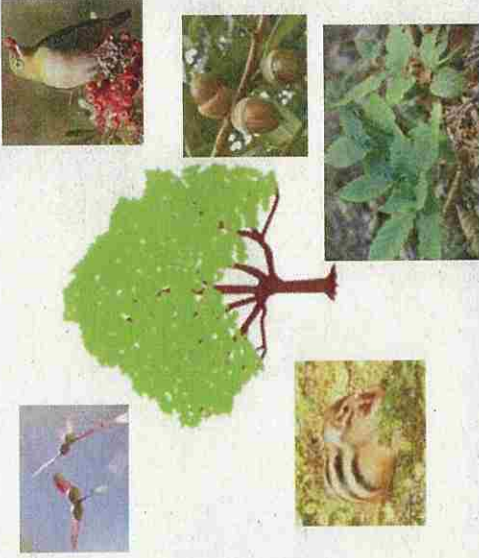
# 3. 温暖化を防ぐ機能





## 森林の種類

ア 天然林:人間の力を借りず、木が自分で木を増やしていく森林



## 森林の整備



木を使うとどんな良いことがあるの？

- ① 温暖化を防ぐ機能を高める
- ② 使ってもなくならない
- ③ リラックスする



## 森林の種類

イ 人工林:人間が手をかけて育てた森林

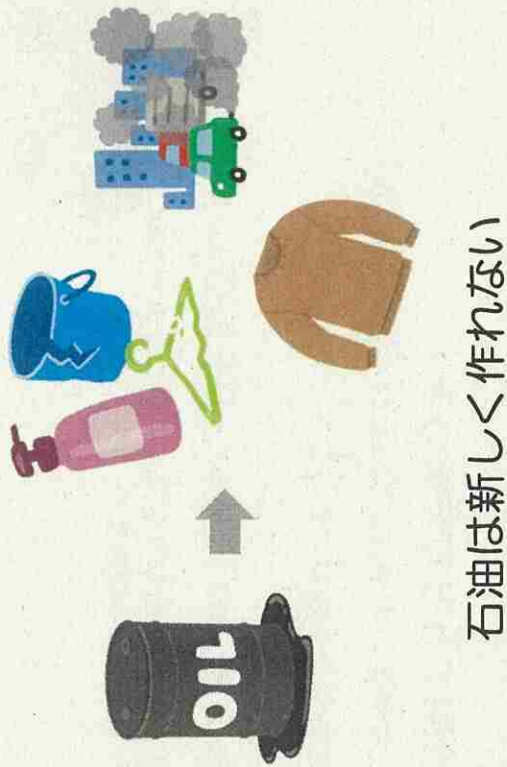




## ①. 温暖化を防ぐ機能を高める



## ②. 使ってもなくならない

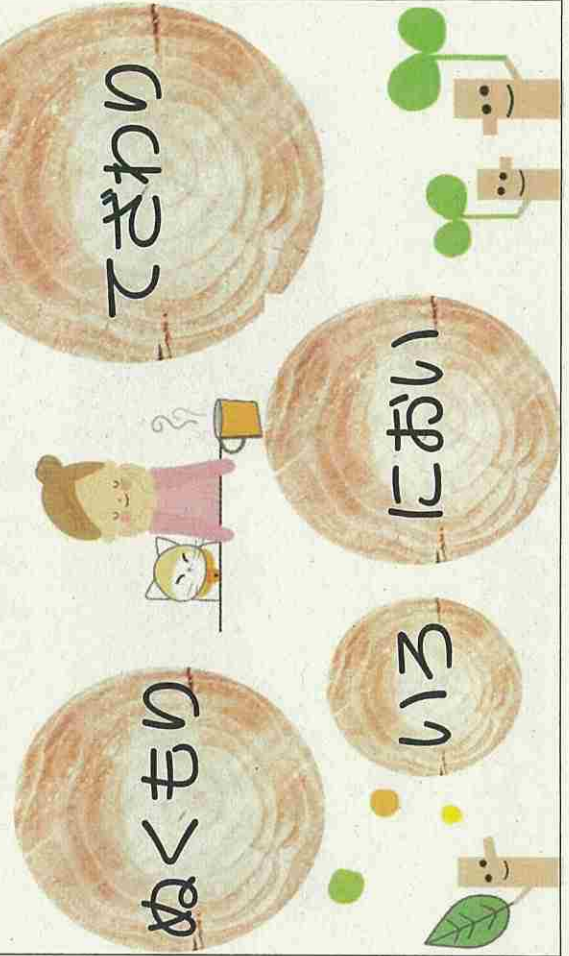


## ②. 使ってもなくならない



木は新たに生み出せる

## ③. リラックスする





## なぜ森林整備が必要なのか

水源を守り、土砂崩れなどの災害を防ぐ  
 海の風・塩分・砂から農作物や家等を守る  
 ニホンジカ等の害獣から森林を守る

人工林を天然林(広葉樹林)へもどす



## 人工林を天然林へもどすことは

人工林・針葉樹  
スギやカラマツ等

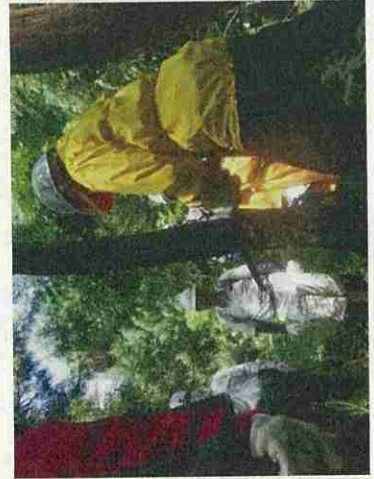


天然林・広葉樹  
ブナ・ナラ・トチノキ等



より多くの生物が暮らしやすくなる  
 (生物多様性の増加)

あさひ小学校5年生みなさんには天然林へもどす森林整備として、のこぎりでスギの木を伐採(間伐)してもらいます。

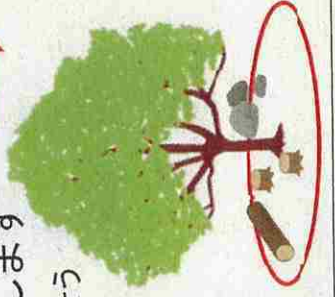


令和2年度の5年生

## 木のきり方

- 1 伐倒する方向を決めます  
倒した木が他の木や枝に引っかからない方向に倒します  
倒す木の傾きや枝の付き方も考えます
- 2 木の周りの邪魔なものを除去します  
作業の邪魔になるものや歩いて引っかかりそうなのは先に取り除きます

倒す方向





## 木のきり方

### 3 受け口を作ります

木を倒す側に三角形のすきまを作ります

#### ① 受け口を木の根元付近にとる

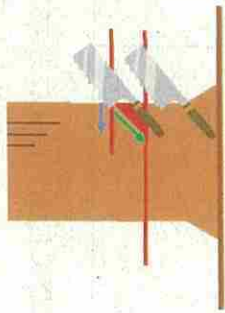
#### ② 水平に切れ目を入れます

水平方向：直径の3分の1

#### ③ 斜めに切れ目を入れます

斜め方向：30度から45度

倒す方向  
→



## 木のきり方

### 4 追い口を入れます

#### ① 高さ：受け口の高さ3分の2くらい

#### ② 水平：直径の2分の1に切れ目を入れ、ツルが残るようにします

#### ③ 木が倒れそうになってきたら他の人は木の後ろに避難します

#### ④ 木を押し倒します

倒す方向  
→

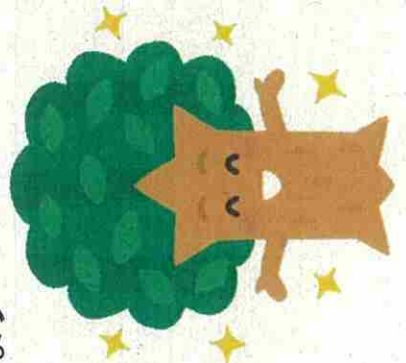


## さいごに

森林整備は大変な作業です  
熱中症や脱水症状に注意しましょう

飲み物・長靴・タオル等を用意  
してください

体調に気をつけて、当日を迎え  
ましょう





参加者用

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート

イベント名	朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」					
開催月日	令和3年6月19日(土)					
参加者	代表者電話番号					
	今朝の体温	体調は悪くありませんか？(発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)	過去2週間以内に、新型コロナウイルス陽性と診断された方が身近にいませんか？	過去2週間以内に、地域や外国を訪問していませんか？	住所	連絡先(電話番号)
氏名	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ		
1						
2						
3						
4						

※ 取得した個人情報、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外の利用は致しません。

参加者用

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート

イベント名	朝日自然塾「みんなでこうたきタロウへの道」					
開催日	令和3年7月8日(木)					
参加者	代表者電話番号					
氏名	今朝の体温	体調は悪くありませんか？ (発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)	過去2週間以内に、新型コロナウイルス陽性と診断された方が身近にいませんか？		過去2週間以内に、地域や外国を訪問していませんか？	
			はい	いいえ	はい	いいえ
1						
2						
3						
4						

※ 取得した個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外的利用は致しません。



参加者用

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート

イベント名	朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」							
開催月日	令和3年7月22日(木・祝日)							
参加者	代表者電話番号							
氏名	今朝の体温	体調は悪くありませんか？(発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)		過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された方が身近にいませんか？		過去2週間以内に、感染拡大している地域や外国を訪問していませんか？	住所	連絡先 (電話番号)
		はい	いいえ	はい	いいえ			
1								
2								
3								
4								

※ 取得した個人情報、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外の利用は致しません。

(別紙2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート 参加者用

イベント名	朝日自然塾「かんじきトレッキング&めものでアクセサリーづくり」					
開催日	令和3年3月6日(土)					
参加者	代表者電話番号					
	今朝の体温	体調は悪くありませんか？(発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)	過去2週間以内に、新型コロナウイルス陽性と診断された方が身近にいませんか？	過去2週間以内に、感染拡大している地域や外国を訪問していませんか？	住所	連絡先(電話番号)
氏名	はい	いいえ	はい	いいえ		
1						
2						
3						
4						

※ 取得した個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外的利用は致しません。



